

令和2年度

山梨県立博物館年報

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum



はじめに

令和2年度は、今後の博物館活動に不安と焦りを感じながら幕を開けました。このような感染症の社会活動への影響は、歴史を振り返れば過去にも繰り返されてまいりました。しかし、医療や衛生・科学が発達した現代においてなお、長期的かつ多大な影響が生じることは、多くの人が予想しなかったことでしょう。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当館は令和2年2月28日（金）から5月22日（金）まで、常設展の観覧をはじめとする博物館業務を休止しました。開館15周年記念特別展「浦上コレクション 北斎漫画―驚異の眼・驚異の筆―」は、開館が可能となればすぐにご覧いただけるよう、休館中に一般公開の準備を進め、インターネットを通じた展示紹介なども行いましたが、残念ながら、ついに実物資料をご覧いただく機会は得られませんでした。また、シンボル展「生誕200年 若尾逸平」と、開館15周年記念特別展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」は、状況の不透明さや来館者の集中回避のため、当初の予定での開催を中止し、次年度の開催に希望をつなぐ決断をしました。

夏期には、企画展の代替として、拡大常設展示「かいじあむ^{ぶらす}+」を開催しました。当館の収蔵品の魅力の再発見や、歴史資料や美術作品から危機を乗り越える知恵や力を得ていただくことを目的として、公開の機会が少ない資料や、過去の感染症関連資料を中心に展示しました。展示を介した皆様との交流の再開は、博物館職員にとって大きな喜びでした。

調査研究活動では、日本学術振興会科学研究費による研究や、県費による総合・共同研究を継続して推進しております。また、新型コロナウイルス感染症に関連する現代資料の収集活動の開始や、twitterでご紹介した、安政年間のコレラ流行に関わる予言獣「ヨゲンノトリ」は、大きな話題となりました。「ヨゲンノトリ」自体は過去の展示でもご紹介してきた事例でしたが、今回は社会的危機や不安のなかで注目を浴び、図案として商品化されて新たな感染症関連資料を生み出すことにも繋がっていきました。このような一連の機会を得たことで、私たちは、調査研究の長期的蓄積の必要性だけでなく、地域や社会のなかでの博物館の果たすべき使命や役割について思いを新たに、博物館活動についての多くの気づきを得ることができました。

図らずもむかえることとなった試練により、社会は大きな転換期を迎えています。博物館もまた、次の一步を踏み出していかなければなりません。変化する社会のなかで新たな価値を発信し、活動の歩みを止めることのないよう、皆様とのコミュニケーションを絶やさず、館員一同、力を合わせて努めてまいります。今後とも、皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 守屋 正彦

目次

はじめに

第Ⅰ編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度	1
(1) 県立博物館の使命	1
(2) 県立博物館の評価制度の策定	1
第2章 通信簿ツアーの実施	6
(1) 通信簿ツアーの内容	6
(2) 通信簿ツアーの結果	8

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス	24
(1) 運営・ミュージアムサービスの方針	24
(2) 令和2年度利用者状況一覧	24
第2章 調査・研究	28
(1) 外部資金による調査・研究	28
(2) 県費による調査・研究	29
(3) 個別調査・研究	30
(4) 調査・研究成果の公表	32
第3章 資料の収集・保管・活用	34
(1) 資料収集の方針	34
(2) 資料の収集	35
(3) 資料の整理・目録（データ）化	36
(4) 資料の修復・管理	36
(5) 資料の活用	37
第4章 展示	38
(1) 常設展示	38
(2) 企画展・シンボル展	55
(3) 展覧会関係刊行物	65
第5章 企画交流事業	66
(1) 生涯学習サービス事業	66
(2) 博学連携	68
(3) 博物館同士のネットワーク	73
(4) 広報	74

第6章 施設の整備・管理	75
(1) 安全快適な施設づくり	75
(2) 施設開放	75
第7章 情報の発信と公開	76
(1) 資料閲覧室の利用状況	76
(2) 博物館総合情報システム	77
(3) 博物館ホームページ	77
第8章 県民参画	79
(1) NPOとの連携	79
(2) 博物館協力会（ボランティア）との連携	80
第9章 組織・人員	81
(1) 職員の資質向上	81
(2) 第三者委員会	81
第10章 外部支援と連携	83
(1) 外部支援	83
(2) 外部との連携	83
(3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの展示協力	83
第11章 新型コロナウイルス感染症と博物館活動	84
(1) 感染症対策日誌	85
(2) 施設の整備と来館者対応	86
(3) 情報発信と収蔵資料の活用・資料収集	86
(4) 展示・公開	88
(5) 博学連携	89
(6) 県民参画（NPO・協力会）	90
(7) イベント	90
(8) その他	91

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿	93
2 令和2年度予算額	95
3 年間日誌	95

凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については『平成17年度 山梨県立博物館年報』を参照されたい。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、全て令和2年度におけるものである。
- ・原則として、各種名簿の順序は順不同である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て山梨県立博物館のことを指す。

（表紙）常設展示「城下町の賑わい」のジオラマの人形

第Ⅰ編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度

(1) 県立博物館の使命

使命1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わり歴史」を学ぶ場を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わり歴史」を学ぶことは、現在よりもより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

使命2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。

こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館は、県内各地の様々な文化施設、史跡・自然をはじめ、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

使命3

■山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。

山梨県立博物館は、最新の調査・研究成果を展示やイベント内容等に反映させ、絶えず新しい情報の発信に努めます。

また、社会情勢の変化や、利用者の知的関心、学習意欲の高まりに対応して、歴史・文化の視点に立った新たな価値観や未来像を、展示等をとおして考えてもらう場となることを目指します。

特に、山梨県の県立博物館として、農林業・伝統産業・観光や水資源・過疎化等、現在の山梨が抱える様々な課題を乗り越えていくために、県民の皆様とともに未来の山梨のあり方を考え、連携を進めます。

これらをとおして、山梨県立博物館は、その事業・活動等が広く県民の皆様とともに成長して、全国の目標となるような博物館を目指します。

(2) 県立博物館の評価制度の策定

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、県民の代表から構成される第三者委員会「みんなでつくる博物館協議会」（以下「みんつく」、第Ⅱ編第9章参照）において、県立博物館の評価制度の検討を行い、運営委員会にも諮った上で、平成19年10月10日（水）に開館5周年目までの評価制度（以下「第1期評価制度」という）を策定、さらに平成24年12月25日（火）に開館6周年目から10周年目までの新たな評価制度（以下「第2期評価制度」という）を策定した。

第2期評価制度では、県立博物館の事業・活動等が現状で停滞することなく、将来に向け、利用者ニーズや調査・研究の進展に応じて成長していくことをめざし、第1期評価制度で掲げた使命1・使命2という県立博物館の使命に使命3を新たに加えた。また、それぞれの使命に対応して別表「平成23年度から平成27年度までの評価項目」に掲げた評価項目を設けるとともに、別表「平成23年度から平成27年度までの各活動分野における数値評価の目標値」に掲げた数値目標を定めた。平成28年度には、第2期評価制度に基づき平成23年度から平成27年度までの運営実績の検証を行い、『山梨県立博物館総合評価報告書—開館10周年目までにおける評価結果—』を刊行した。

平成30年度から令和元年度にかけて、開館15周年目までの評価制度（以下「第Ⅲ期評価制度」という）について「みんつく」で検討を行った。その結果、第Ⅱ期評価制度を踏襲しつつ、既存の評価項目のなかから第Ⅱ期評価において課題とされた「展示と調査研究」「情報発信」「博学連携」3つの重点項目を設けることとなった。今後、この評価制度に基づき平成30年度から令和元年度までの運営実績の検証を行い、令和3年度に第Ⅲ期の総合評価報告書を刊行する予定である。

令和2年度には第Ⅳ期評価制度の策定に向け、利用者評価のあり方について検討を行った。利用者評価については、アンケート調査以外の直接意見聴取の機会の設定や、年2回実施する「通信簿ツアー」における質問項目の精査が課題となってきた。これに対し、令和2年10月2日の会議において、通信簿ツアーの質問数の絞り込みと実施回数の削減、意見聴取会の実施による利用者評価の実施を事務局から提案し、第Ⅳ期評価制度から利用者評価を一部変更することについての承認を得た。また、3月には書面会議により「通信簿」の具体的な質問項目に対する「みんつく」委員からの意見聴取を行った。令和3年度早々にも新「通信簿」のサンプルを作成して承認を得るとともに、一部変更を加えた利用者評価を実施する予定である。

■平成28年度から令和2年度までの評価項目

※評価方法Aは数値評価、評価方法Bは自己診断、評価方法Cは通信簿ツアーをそれぞれ指す。

※評価A、B、Cをふまえて、平成28年度に運営委員会において総合評価を実施し、総合評価報告書を刊行した。

使命1	使命2	使命3
使命1に対応した活動目標	使命2に対応した活動目標	使命3に対応した活動目標
活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて	- 山梨県立博物館が整備されて良かったと思い、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに1,050,000人の総利用者数を目指します。 - 山梨県立博物館がどのような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員・利用者ともに共通の理解を得られるように努めます。 - 博物館の使命がどの程度達成できたのかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。 - 博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が一丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の側からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。 - NPOとの協働などとおして、広く県民が参画できる事業活動を推進し、県立博物館及び山梨県への親しみや関心が深められるように努めます。		
(2) 調査・研究について	「山梨の自然と人との関わりの歴史」をテーマとした調査・研究を精力的に実施し続けます。	調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をととして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。	学術研究機関としての博物館の魅力を高めるために、外部資金の導入などによって積極的に調査・研究を行い、その成果を論文や研究発表などとおして、広く社会に還元します。また、その実現に向けて県内外の人々との共同調査・研究を積極的に推進します。
(3) 資料の収集、保存及び活用について	資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人との関わりの歴史」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存に努めます。	収集及び保管・調査資料の利用体制の充実化をはかります。これら資料の目録化（データベース化）を進め、館内外の人々にとって共に積極的な活用が可能となるように努めます。	収集した資料の活用を図り、展示やホームページなどとおして、新たな資料情報を積極的に公開します。
(4) 展示について	展示をとおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館6周年目から開館10周年目までに502,000人の利用者数を目指します。	学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館6周年目から開館10周年目までに41,000人の学校利用者数を目指します。	利用者のニーズや調査・研究の進展に対応して、企画展の開催や、年間をとおした常設展示の展示替えを行います。

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(4) 展示について	- 常設展示の利用者数（評価方法A） - 企画展利用者数（評価方法A）	- 博物館への学校利用件数及び参加者数（評価方法A） - 展示をわかりやすく解説するワークシートなどを作成しているか？（評価方法CまたはB）	- 常設展示の印象に関わるアンケート調査（評価方法CまたはB） - 企画内容や展示手法の満足度に関するアンケート調査（評価方法CまたはB） - 常設展示における年間の展示資料点数（どれだけ展示替えを行っているのか？）（評価方法A） - 常設展示の来館者数増加に向けた取り組み（評価方法B）
(5) 企画交流活動について	県内外に対し、「山梨の自然と人との関わりの歴史」像の浸透に資する効果的な企画交流活動の立案・実行に努めます。	- 学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。 - 県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。	- 利用者のニーズに応じて、企画交流活動の内容の見直しや新規の立案に努めます。 - 大学や図書館、研究団体など、新たな施設・団体との連携の強化に努めます。
	年間における企画交流活動数及びその参加者数（評価方法A）	- 博学連携に関わる取り組み（評価方法B） - 出前授業等の件数及び参加者数（評価方法A） - 貸出用キットの利用件数（評価方法A）	- 企画交流活動に関わる取り組み（評価方法B） - 各種連携事業を実施するにあたりどのような工夫を行っているか？（例えば、大学・図書館との連携やミュージアム甲斐ネットワークなど）（評価方法B） - 地域インデックスの活用策を企画・実行したか？（評価方法B）
(6) 施設の整備・管理について	- 山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。 - 魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。	利用者への施設開放（例えば生涯学習室の貸し出しなど）を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館6周年目から開館10周年目までに69,750人の利用者数を目指します。	利用者のニーズに応じ、未来に向けた新たな博物館のあり方について検討します。
	- 地震・火災等の緊急事態に対して、職員の研修をはじめとした対応を行っているのか？（評価方法B） - 緊急の傷病者への対応に関して、職員の研修をはじめとした対応を行っているのか？（評価方法B） - バリアフリー対策を行っているか？（評価方法B） - 資料保存について措置を講じているか？（評価方法B）	利用者に対する施設開放件数及び利用者数（例えば、生涯学習室の貸し出しなど）（評価方法A）	- 国宝・重要文化財を展示する公開承認施設に指定されているか？（評価方法B） - 展示施設の新規整備やその活用が図られているか？（例えば、体験型展示の充実など）（評価方法B）
(7) 情報の発信と公開について	利用者が「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶ」ことについて支援することに努め、レファランスをとおし開館6周年目から開館10周年目までに3,000人が知的好奇心を満足できるように努めます。	山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的にPR活動をするように努め、例えばHPをとおした場合では開館6周年目から開館10周年目までに400,000件のアクセス数を目指します。	インターネットを使用した博物館通信の送信や館外におけるPRなど、新たな広報活動の取り組みに努めます。
	レファランス対応件数（評価方法A）	- HPアクセス数（評価方法A） - HPの更新や利用者ニーズに応じた内容の検討を行っているのか？（評価方法B）	どのような情報をどのような媒体で情報発信しているのか一覧表化がなされているか？（評価方法B）
(8) 市民参画について	NPOやボランティアなどとの協力を得た事業活動を実施し、共同事業では開館6周年目から開館10周年目までに4,500人と交流できるように努めます。	利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の成長や運営改善に向けて反映するよう努めます。	
	- NPOや協力会（ボランティア）との協働事業開催件数及び参加者数（評価方法A） - 協力会（ボランティア）の登録者数（評価方法A） - 協力会（ボランティア）ではどのような活動を実施したのか一覧表化がなされているか？（評価方法B）	利用者による博物館評価を実施し、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法BまたはC）	
(9) 組織・人員について	職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。	第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。	- 職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 - 第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。
	職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B）	第三者機関（運営委員会、みんなでつくる博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）	- 職員各自の資質向上に関わる研修を実施したか？（評価方法B） - 第三者機関（運営委員会、みんなでつくる博物館協議会、資料情報委員会など）の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？（評価方法B）
(10) 外部支援と連携について	継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めるとともに、地域連携を図ります。		
	- 館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか？（評価方法B） - 山梨県内外における歴史・民俗系博物館等との連携を図っているか？（評価方法B） - 文化財レスキューなど、県立博物館が地域社会を支援する体制の整備に努めたか？（評価方法B）		

重点項目の具体的評価内容と評価方法

◎…最優先課題

○…努力目標

①. 展示と調査研究

評価項目	・自主展覧会やシンボル展は、開催の前後5年間に、学会発表、学会誌、紀要などにおいて、内容と関連する調査研究成果（資料紹介等を含む）の研究成果の公表が行われたか◎ ・会場における文字解説では、平易な文章表現を用いるよう心掛けられていたか◎ ・展覧会は、博物館の基本テーマに沿い、かつ時代に合った視点を持った内容の提供に努めたか○
評価方法	いずれも主として評価方法B（自己評価）

②. 情報発信

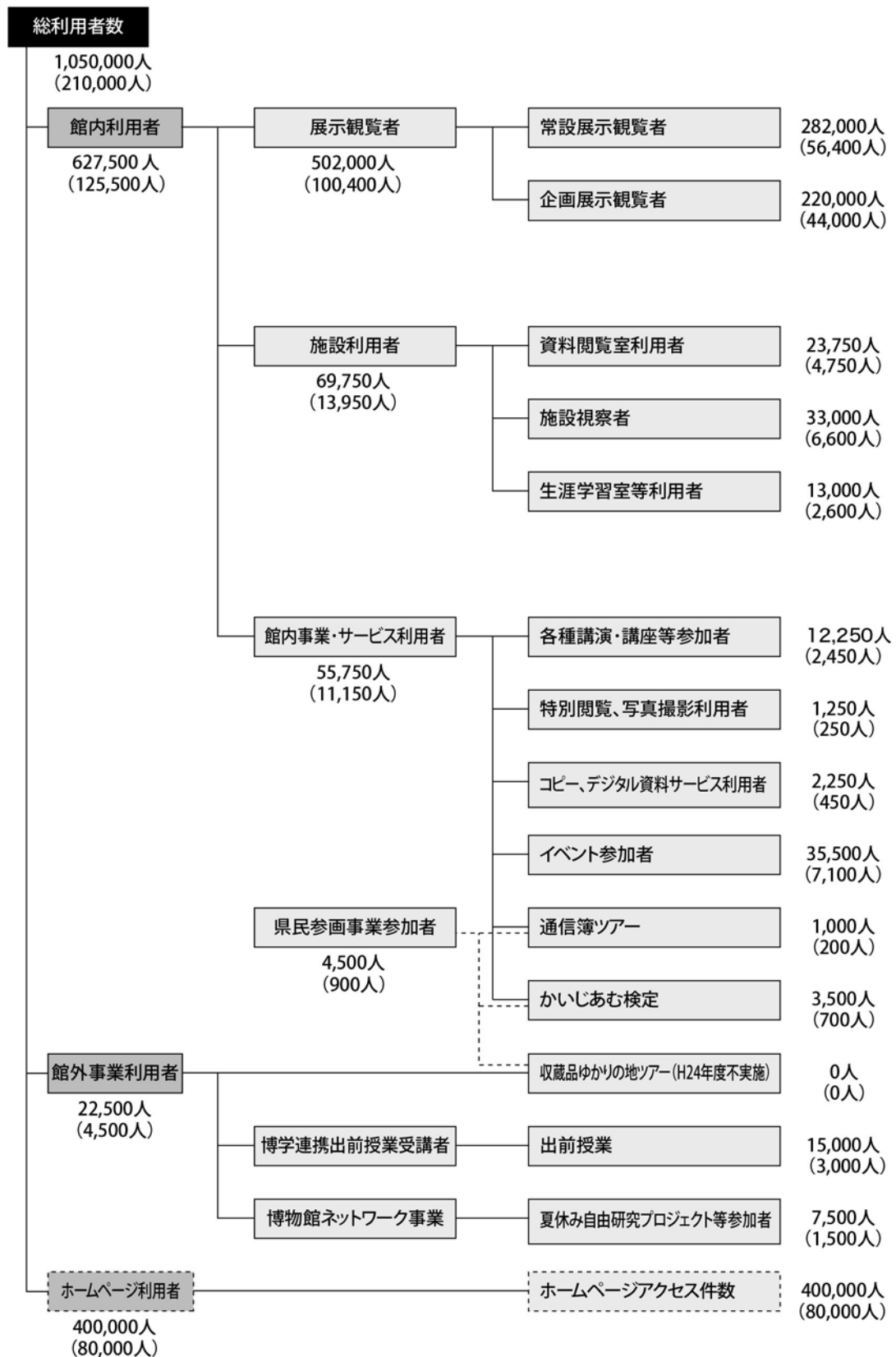
評価項目	・展示替えや企画展、館内イベントの情報は告知されているか◎ ・新聞、雑誌、講座、講演会において、一般向けに研究成果の発信が行われたか◎ ・各展覧会における情報発信の方法や発信先は適切であったか。また、来館者がSNS等で発信したくなる環境づくりにも努めたか○
評価方法	いずれも主として評価方法B（自己評価）

③. 博学連携

評価項目	・出前授業や学校見学では、学校教育の授業の枠組みに囚われすぎず、地域にまつわる話題に触れ、山梨の歴史・文化の魅力を伝え、興味をひき出そうと努めているか◎ ・出前授業、学校見学等を利用した児童生徒や教員の感想（出前授業の内容について）○
評価方法	いずれも主として評価方法B（自己評価）

■山梨県立博物館 平成23年度から平成27年度までの各活動分野における数値評価の目標値（参考）

○「総利用者数」とは、当館の施設、提供するサービスを利用した者および当館の事業活動に参加した全ての利用者の統計である。



※1 数字…平成23年度（開館6周年年度）から平成27年度（開館10周年年度）までの目標値

※2 太字の数字…平成23年度から平成27年度までの5年間における単年度の目標値

第 2 章 通信簿ツアーの実施

(1) 通信簿ツアーの内容

■令和 2 年度における通信簿ツアーの特徴

令和 2 年 10 月 25 日（日）～ 11 月 14 日（土）の期間に、県民参画事業（第 II 編第 8 章参照）の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者ととも県立博物館を評価する（県立博物館の「通信簿」を付ける）という利用者参加型の評価方法である（本事業の概要は平成 18 年度県立博物館年報第 I 編第 2 章参照）。

令和 2 年度の通信簿は、次のような内容とした。参加者人数についても次に記す。

- ・年度当初新型コロナウイルス感染症の影響により、休館を余儀なくされ、予定されていた夏期企画展や館内イベントも中止になった。そこで、再開後の来館者数の推移から、通信簿ツアーの日程も例年のように夏期に 1 日、異なる時期に 1 日の計 2 日実施ではなく、一定期間実施日を設けることで、幅広い年齢層の来館者に意見を伺えると考え、10 月 25 日（日）の秋期企画展開催後に通信簿ツアーを実施した。
- ・質問内容が多すぎるという参加者からの声を踏まえ、平成 24 年度からは、はい・いいえ方式の設問を導入して記載の簡素化を図っている。
- ・休止中の館内レストランや運用開始した SNS に関する設問を追加している。
- ・あわせて、はい・いいえ方式による回答の理由などを把握するために記述式の設問も残し、多様な利用者からの声を反映する仕組みとした。
- ・通信簿ツアーの参加者（参加同意者）数は 278 名であった。

■通信簿ツアー評価項目

A 山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？

1. 博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？
2. 最寄り駅の JR 石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですか？

B いよいよ館内に入ります。

1. チケット売り場はすぐにわかりましたか？
2. 受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？
3. かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？
4. 入場料が必要なところと、そうでないところの区別はすぐにわかりましたか？
5. 途中で館外に出ても、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？
6. 館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？
7. エントランス（入り口）にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？（複数回答可）

ご意見もあればお聞かせください。

- ・次回企画展とイベントの案内
- ・エントランス中庭（石舞台）の説明案内
- ・開催中の常設展のテーマ
- ・館内の禁止事項の案内
- ・気がつかなかった

8. 広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。

C 館内は快適ですか？

1. 資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？
2. 小さなお子さんが楽しめそうなおところやサービスはありましたか？ ○をつけていただけますか？（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。
 - ・企画展ワークシート
 - ・かいじあむチャレンジクルーズ（パンフレット裏）
 - ・積み木広場
 - ・キッズライブラリー
 - ・映像コーナー
 - ・ない
 - ・その他
3. 障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？
4. 外国人の方に対応したサービス（サイン、キャプション、パンフレット、音声ガイドなど）は充分だと思いますか？
5. 館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？

D 展示室に入ります。（常設展示／鑑賞・学習型展示について）

1. まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。自分のまちが見つかりましたか？
2. 常設展示室内では、2 か月ごとに資料の展示替えを行っています。過去の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、気づきましたか？
3. 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路

があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありませんか？

4. 常設展秋のテーマ展は「ようこそ！かいじあむ動物ワールドへ」（～10/12）ですが、おもしろかったですか？「やまなしの豊かな食文化」（10/14～）
5. 展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさはちょうどよかったですか？
6. 室内にはジオラマの下引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、引き出し式展示やタッチパネルの使用を休止しています。

D 展示は楽しめましたか？（常設展示／体験型展示について）

6. 衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、江戸時代の甲府城下町の散策をゲームで楽しんだりできる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、体験型展示の使用を休止しています。

7. 体験型展示では、体験イベント「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用された方、楽しい体験ができましたか？また、こんなことができたなら…というご提案がありましたら、お寄せください。
8. 体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？
9. 展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？

D 展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について）

企画展「未来へ伝えたい甲斐の国のたからもの～新指定文化財・収蔵品展～」を開催中です。

10. 今回の企画展はいかがでしたか？よろしければ、どんなところに興味を持った（努力が必要と感じた）のか、感想も聞かせてください。
11. 展示のなかで、「難しい」「わかりにくい」と感じたところがありましたか？よろしければ、どんなところがわかりにくかったのか教えてください。また、どうすればもっとわかりやすくなったと思いますか？
12. 今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますか？

E 調べ物には「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。（もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ）

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため閉室しています。

1. 資料閲覧室は誰でも自由に入室しますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。
 2. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？
 3. 本年度は6回、館内での「古文書相談日」が開かれています。知っていましたか？
- ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止しています。
4. もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。
 5. 「甲州文庫」等のデジタル画像を見ることができる検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。
 6. 博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？
 7. 常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？よろしければ、このコーナーについてのご感想もお聞かせください。

F ショップやお庭散策も楽しめましたか？

1. ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしています。いかがでしょうか？
2. レジの対応はいかがでしょう？
3. 買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょう？
4. オリジナルグッズとして、マスキングテープや手ぬぐい、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。また、過去の展示会の図録やリーフレットの販売も行っています。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると良いと思いますか？※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、屋内休憩スペースや移動販売の実施を休止しています。
5. 現在、軽食・喫茶コーナーは営業していませんが、不定期で敷地内において、パン屋さん、カフェ、ピザ屋さんなどの移動販売が行われています。利用したことがありますか？試してみた方はご感想を。
6. 新たな飲食施設の再開は未定ですが、どのような飲食施設があったら利用されますか。また、どのような飲食施設が良いと思いますか？
7. オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存知ですか？ また、試してみた方はご感想を。
8. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？よろしければ、お庭についてのご感想もお聞かせください。

G 博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？

1. 館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ご意見もあればお聞かせください。
2. こんなプログラムがあれば参加したい、というのがありますか？
3. 博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？（県博とNPOで制作した、まちミュージアムガイドブックをショップで販売中です）

H 博物館で働く人たちと交流できましたか？

1. 館内スタッフの案内や誘導はいかがですか？

2. 展示交流員（男性は赤いジャケットを、女性はグレーのチェックの制服を着ています）の説明はわかりやすかったですか？面白い話を聞けましたか？
3. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のベストを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなりたいですか？

I 博物館に行く前に、情報は入手できましたか？

1. 県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られるなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？
2. 博物館に来る際に、どのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）
・ホームページ ・かいじあむ通信「交い」・ちらし ・新聞 ・テレビ ・ラジオ ・ツイッター ・その他
3. 博物館では公式ツイッター（kaiseum_ypm）でさまざまな博物館情報を発信しています。ご存じでしたか？ご存じの方は、その感想もお聞かせください。
4. 山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（<http://www.museum-kai.net/>）、利用したことはありますか？

J 最後に、これもぜひお聞きしたいところです。

1. 館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？
2. 入館料（常設展、企画展）は適当ですか？（高校生以下は無料です）
3. 1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や、美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）があることを知っていましたか？
4. 定期観覧券や4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）を利用したいと思いますか？
5. 以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。
6. 博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？
7. もう一度、この館に来たいですか？
8. 通信簿ツアーは、博物館がもっと利用しやすくなるよう、皆さんのご意見をうかがうために毎年実施しています。質問項目が多くご迷惑をおかけしますが、通信簿ツアーが他の博物館・美術館にも、もっと広まればよいと思いますか？
9. その他、通信簿の項目以外にも、気になることがありましたか？通信簿の感想など何でもご記入ください。

（2）通信簿ツアーの結果

■通信簿ツアー評価結果

回答者情報	回答数	評価者No.
年代		
小学生	2	
中学生	2	
10代	5	
20代	15	
30代	14	
40代	25	
50代	40	
60代	61	
70代	73	
80代	16	
90代	2	
無回答	23	
性別		
男性	141	
女性	114	
無回答	23	
来館回数		
初めて（1回）	69	
2～5回	87	
6～10回	34	
11回～	37	
無回答	51	
住所		
県内	48	
県内（甲府）	50	
県内（峡東…笛吹・山梨・甲州）	42	
県内（中北…甲斐・南アルプス・韮崎・北杜）	34	
県内（峡南）	8	
東部（大月・上野原・都留）	8	
富士北麓（富士吉田・富士河口湖）	10	
県外	6	
県外（関東）	39	
県外（東北・北海道）	0	
県外（中部）	8	
県外（近畿）	0	
県外（中国・四国・九州）	1	
県外（海外）	0	
無回答	24	

	交通手段		
	電車	9	
	バス	6	
	自家用車	240	
	タクシー	2	
	徒歩	5	
	原動付自転車	3	
	その他（宿の送迎車、友人の車）	0	
	来館目的		
	企画展	197	
	常設展	75	
	イベント	12	
	観光	18	
	学習、調査	12	
	その他	5	
	同伴者		
	1人	90	
	家族	145	
	友人	25	
	団体	0	
	その他	5	
A	山梨県立博物館（かいじあむ）に到着するまでの、道のりは順調でしたか？		
A01	博物館までの道のり、迷わずに来られましたか？		
	はい	245	
	いいえ	14	
	【ご意見】		
	ナビで来ました		12・102・128・154
	建物の入口がわかりにくかったです。		16・121
	裏側の門に建物の名前がなく少し心配にだった。（車）		18
	一般道で来た。		42
	八王子→大月の自宅→大月IC→一宮御坂IC→博物館		52
	博物館の近くまでは分かったが入口が分からなかった。スマートインターからだともよくわからない。		71
	木曜日、道がすいていた		119
	一度通りすぎた		149
	タクシーできたので		185
	徒歩のため少し遠かったですが、普通歩かないので問題ないと思います。		189
	観光案内所で地図をいただいた。		229
	看板があるのでわかりやすいです		237
	20号の防災館の信号を入ったが迷ってしまった。		249
	甲府一笛吹市		255
	自転車で10キロほど迷ったのはグーグルマップの問題		272
A02	最寄り駅のJR石和温泉駅からいらした方、バスの便はよかったですか？		
	はい	8	
	いいえ	6	
	利用していない	93	
	【ご意見】		
	予め、ネットで調べて来た		74
	バスが少ないのに驚きました。		267
B	いよいよ館内に入ります。		
B01	チケット売り場はすぐにわかりましたか？		
	はい	244	
	いいえ	18	
	【ご意見】		
	メインエントランスのほうへ行ってしまった。		19・91・102・234
	コロナで入口がかわっていたので		56・87・199
	位置口が不安（以前と変わっているの）		90
	駐車場からだともわかりにくかった。		121
	工事中で案内板がわかりにくい		177
	指示がありました。		189
B02	受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたか？		
	よい	225	
	ふつう	39	
	わるい	0	
	【ご意見】		
	やさしく手をとるようだった		58
	コロナ対策がしっかりされていると感ずる		86
	いろいろな説明していただいたが、ソーシャルディスタンスは保たれていなくて不安になった。		102
	通信簿を手に取ったところ「パンフレットはこちら」という案内を受けた。悪気はないだろうがいい気はしない。		128
	特設会場入口まで案内してくださり、少し説明もしてくださいました。		137
	丁寧に案内いただきました。		189
	みなさんあいさつをしてくださったのでとても気持ちよかったです。		237
	大変良い、丁寧、親切です。		269
B03	かいじあむ通信「交い」や常設展・企画展のパンフレットは使いやすいですか？		
	はい	205	
	いいえ	5	
	【ご意見】		
	見ていない		15・189
	パンフレットがあるのですか？		97

	特に意見なし		102
	ふつう		168
	△		186
	見ていない		239
B04	入場料が必要なところと、そうでないところの区別はすぐにわかりましたか？		
	はい	219	
	いいえ	24	
	【ご意見】		
	常設かどうかは分からなくても「〇〇が見たい」と言えば、教えて頂けるのでいつも安心です。		32
	？ 4 館入場共通券？		60
	特に意見なし		102
	？		181
	△		186
	きちんと説明をしてくださいました。		237
B05	途中で館外に出て、当日なら再入場できますが、そのことはすぐにわかりましたか？		
	はい	113	
	いいえ	123	
	【ご意見】		
	チケット売り場でわかりました		7
	受付の時に聞きました。		12
	分かりやすいところに大きな字で記載するのが良いと思います。		15
	説明していただいたので		16
	ちょっととまどいました。		63
	この質問で知った。		87
	意識してない		102
	スタッフの方がおしえてくれた		115
	？		181
	△		186
	退場時の掲示で気づきました。		189
	再入場できると知らなかった。		263
	知っていたので		277
B06	館内マップやサイン（案内表示）はわかりやすいですか？		
	はい	215	
	いいえ	16	
	【ご意見】		
	△		52・68・169
	何度も来ているので見ずともわかる		60
	？		83
B07	エントランス（入り口）にいろいろな掲示がありますが、気づきましたか？気づいたものに○をつけていただけますか？（複数回答可）ご意見もあればお聞かせください。		
	次回企画展とイベントの案内	62	
	館内の禁止事項の案内	52	
	エントランス中庭（石舞台）の説明案内	38	
	開催中の常設展のテーマ	66	
	気がつかなかった。	22	
	【ご意見】		
	石舞台の案内、今も不明です。どこ？		26
	暗かった		58
	コロナ対策のため、わかりづらいところがあった。		64
	正面玄関が閉館中だった。		128
	見ていませんでした。		189
	今回は臨時の入口でした。感染対策はわかりました。		221
	中庭お気に入り		269
B08	広いエントランス・ホールは無料ゾーンです。これまでもいろいろな形で利用していますが、「こんな利用方法がよかった」というご意見や、「こう利用したら？」という提案があったらお書きください。		
	雨の日のランチを食べる場所		7
	コロナの中、充分です		26
	コロナの時期でなければ、過去の展示の冊子など並べてもいいと思います。あと V R で画像がみれるとかも。		32
	県内神社の神楽舞がすばらしかった		40
	とくになし		50
	お茶席、コンサート、子どもよろい着用でひし丸くんと撮影		60
	コロナということもありますが、殺風景な感じです。		68
	きれいになっている		94
	子どもが楽しめるイベントがよかったです。無料ゾーンがあることを知りませんでした。		97
	創作ダンス、獅子舞とか展示、中庭を一带としたパフォーマンスみたいのを見たい。		100
	音楽会		101
	山梨県などのみりよくや歴史的なものを映像（大画面）でしたらどうか。		102
	ひとやすみのシートが少ない。疲れてしまっても座席がない		117
	ミニコンサートは？		122
	以前、軽食コーナーがあったが今後？		181
	ライブ		225
	県内の地域の博物館が力を入れる企画のPRとかもいいんじゃない？		266
C	館内は快適ですか？		
C01	資料保存のために館内の温湿度を一定にしていますが、館内の温度は快適ですか？		
	はい	253	
	いいえ	5	
	【ご意見】		
	暑く感じた		62
	少々あつかったです。		63
C02	小さなお子さんが楽しめそうなおとろやサービスはありましたか？○をつけていただけますか？（複数回答可）子ども向けのサービスについて、ご提案もあればお聞かせください。		

	企画展ワークシート	9	
	かいじあむチャレンジ！クルーズ	18	
	積み木広場	9	
	キッズライブラリー	15	
	映像コーナー	9	
	ない	6	
	その他（シールなどのプレゼント、イベント、子ども工房）	2	
	【ご意見】		
	小さな子ども用にジオラマ前に踏み台があると良い		7
	わかりません		18
	体験コーナーがしまっていて残念だった。コロナでしょうがないけど、空いているからあけても大丈夫かと。		19
	コロナのせいで残念ですね。		26
	？		40・186・224
	特に考えてみていなかった。		42
	ジオラマも楽しいと思いました。		66
	展示室は配慮がされていた。		68
	小さな子にはあわないでしょう。		91
	コロナで子どもが楽しんで学べる場所が使えず、子どもはあきてしまいましたが、親は興味深い展示が多かったです。		97
	コロナでほとんどできなくなっているため		142
	他の入館者の迷惑にならないように、目を光らせるべき。静かにさせる、走らせないなど		170
	平日（金曜午後）なのでよくわからない		212
	子ども連れていない。連れてきたら、助かったと思う		234
	年少児も充分楽しんでます		269
C03	障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？		
	はい	81	
	いいえ	6	
	【ご意見】		
	わかりません		18・60・106・128・267
	常設コーナーがスロープだけでなく、全体的に広くお互いにスムーズに動ける		66
	△		68・186
	バリアフリーと展示品の見やすさ		86
	休むところがもっと必要		91・161
	広いのでよいと思います。少し暗いでしょうか。		131
	知的障害者が展示物に触れないように注意すべき		170
	車椅子でも見やすくされているので良かった。		271
C04	外国人の方に対応したサービスは充分だと思えますか？		
	はい	42	
	いいえ	13	
	【ご意見】		
	不明		26・42・58・128・212
	その案内をみつけるまでの表示が私の場合には目につくところがないように思いました。		32
	英語音声ガイド		60
	△		68・186
	気にしなかった		239
	ひとめぐりした限りでは展示物の説明がすべて日本語のみなので、これからは外国語での説明文が必要でないか。とてもたいへんなことだと思うが。		263
	ボランティアで通訳がよろしい。外国人は、「こころ」「場の空気」がよくわかり、喜びます。		269
C05	館内に休憩できるスペースや椅子は充分ありますか？		
	はい	154	
	いいえ	38	
	【ご意見】		
	もう少し、椅子などがあつた方がよいと思います。（距離を保ちつつ）		15・59・85・102・104・105・110・121・139・251・253・264・270・272
	駅などで床に色の線でたどっていくと、その場所に行けるものがありますが、常設、企画がどこか、そういうものがあると分かりやすいように思えました。		32
	普通だと思う。		42
	コロナ対策のため、しかたない。		64・238
	コロナで見られず残念		74
	前は椅子等多くありましたが、コロナの影響ですね。椅子などが少ないです。でも、仕方のないことだと思います。		75
	現在はコロナ禍で仕方がないかもしれませんが、もう少し椅子があってもいいのではないのでしょうか。		78
	年寄り向きに背もたれの付いたものもほしいです		84
	特別展入口のところにも椅子がほしい		91
	軽食できる所があれば、展示を見なくても来ることがあるかもしれないと思う。（美術館のように）		130
	ほどよい所にイスがあり、休むことができました。		137
	今はコロナもあり、難しいと思いますが、展示案内にも欲しいです。		140
	カフェのようなちょっとおいしいものがいただけるとありがたい		152
	休憩するところが少ないです		161
	コロナでへっているのですが、いまま床にひざまづいて書いています。		185
	△		186
	石庭の見えるフロアにイスを増やしてほしい		213
	感染対策で閉鎖中、早く戻るといいですね		221
	広々としていてとても良いです		237
	別になし		255

D	展示室に入ります。(常設展示／鑑賞・学習型展示について)		
D01	まず目に入るのは、巨大な山梨の衛星写真（「山梨の舞台」）。自分のまちが見つかりましたか？よろしければご感想もお聞かせください。		
	はい	127	
	いいえ	46	
	【ご意見】		
	きれいにうつされているので、よくわかった。		2
	どこに立っているのかわかりませんでした。		9
	説明はよかったです。		26
	もう少し鮮明だとお面白いと思いました。		32
	なかなか見る機会がないので一ヶ所にまとまっていてよかった。意外と多く展示されていて、一緒に行った家族は少し疲れたようです。		36
	おもしろい		59
	すごくうれしくわくわくしながら探しました。山梨県の全体がわかりやすくすばらしいと思いました。		61
	興味をひかない		64
	説明がないとわからない。今回説明していただいた。		75
	引越してきて間もないので、そもそもあまり地形がわかっていません。		78
	山梨県が山に囲まれていることがよくわかった。		87
	県外もあると尚良いです		110
	今回は見ていない		119
	小さくていいので3Dでみたい。		121
	ヨゲンノトリ、すごくよかった。レプリカも購入してしまいました。		127
	自分の目で見て感ずることができました。山梨の宝ですね。		139
	大まかな目標物をかいてほしい		149
	面白かったです		165
	わかりやすくみつけやすい		177
	？		186
	映っておらず、とても詳細に説明いただきよかった。写真が2003年のものらしいのでアップデートしてもいいと思う。		189
	館内の方に聞いて		216
	菅田天神社の本物の盾無鎧と複製品の同時展示で、見比べたい。		227
	どうしてもみつけてしまう癖があります		237
	実に素晴らしい、県外の知り合いも楽しみにしています。		269
	今回は説明をきかせていただき、とても良かった。		277
D02	常設展示室内では、2か月ごとに資料の展示替えを行っています。昨年度の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、パネルに気づきましたか？よろしければご感想もお聞かせください。		
	はい	91	
	いいえ	51	
	【ご意見】		
	一度見たら、いいや、と思っていたので、展示替えを行っていたのを知らなかったです。		32
	古文書に朱書きで何かかかれていたが、何がかかれていたのか、説明がそえてあるとよかった。		36
	二ヶ月ごととはすごいですね		51
	新展示物がわかりやすく見つけられるのが楽しみ		86
	順路がわかりにくかった。次回、又、ゆっくりみてみたいと思います。		117
	むずかしい字が多い。ふりがなや説明がほしい		127
	おすすめ資料がどこにあるのかわかりにくい！おすすめ資料を見逃したか、不安にもなる		152
	タンケイコのツボを見たかったのでグッド！		186
	気がつきませんでした		189
	いいことです		266
D03	常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、やはり順路があったほうが見やすいという方のために、展示室内の地図がパネルやパンフレットに表示されています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありませんか？よろしければご意見もお聞かせください。		
	はい	66	
	いいえ	86	
	【ご意見】		
	多少、足元が暗い。		26・85
	良いと思います。		32
	△ 少しだけ迷いましたが、みやすかったです。		51
	少し迷った		52
	最後のほうのルートがわかりにくい		67・123・131・169・250
	順路があると見落としがないのでよいと思う		86
	迷わなかったが、歴史順に案内してくれたほうがわかりやすい		102
	少し次の番号がわかりにくい		110
	もうちょっと導線は整理すべき		132
	広い中であっちこっちと少し大変でした。		140
	わかりやすい		158・267
	そもそもパンフをもらっていない		185
	どの順でも回れるようにとの条件（順路が一筆になっていないため）はよみとれましたが、展示の表示をくむために順路があったほうが見やすいと個人的には思いました。		189
	途中でばしてまわってしまった		201
	順路あったほうがいい		266
D04	常設展の秋のテーマ展は「ようこそ！かいじあむ動物ワールドへ」（～10/12）ですが、おもしろかったですか？「やまなしの豊かな食文化」（10/14～）		
	はい	109	
	いいえ	9	
	【ご意見】		
	みてません		32
	△		67

D05	展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさは、ちょうど良かったですか？		
	はい	130	
	いいえ	24	
	【ご意見】		
	詳しく見たい人と簡単に見て通りたい人に分けて、その方を少し大きめにしたらどうか？		52
	文字が小さい		56・59・102・168・184・212・267
	△		68
	小さい。高さが低い。子ども用？		85
	テーマはもっと大きくしてもよいのでは？		117
	床の文字は見過ぎしがちでした		189
	老眼鏡で見ました		218
	一部は照明不足で見にくかった		229
	とても読みやすいです。		237
D06	室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、ユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、引き出し式展示やタッチパネルの使用を休止しています。		
	はい	52	
	いいえ	16	
	【ご意見】		
	以前、拝見させていただきました。楽しかったです。		32
	手で触れて操作するものは休止してよいと思う。		52
	道祖神ジオラマに図解が欲しい		56
	引き出し式が非常に好きでした。再開を心から願います		66
	気がつかなかった		68・272
	前に来たときは、このコーナーがいちばん楽しめました。		78
	今回は残念、いつも楽しいです。		86
	暗いところの黒文字が少し見にくかったです		110
	休止中		184
	利用できず残念です		189・237
	ジオラマ好きです。様子がわかってとてもよい。制作した方の技術に感激です		205
	コロナ収束を願う		269
D	展示は楽しめましたか？（常設展示／体験型展示について）		
D06	衛星写真「山梨の舞台」の奥にあるにぎやかな展示場は、実際の資料に触ったり、いろいろなことをゲーム感覚で楽しめる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12か所の「現場」がありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、引き出し式展示やタッチパネルの使用を休止しています。		
	はい	70	
	いいえ	8	
	【ご意見】		
	以前、見ました。良かったです。写真OKならなお嬉しい。		32
	武田神社、甲府城関係があっても良かったです。		40
	雰囲気だけですが		189
	面だけでなく立体であればもっとよい		199
	小学生から大人まで充分楽しむことができます。		269
D07	体験型展示では、体験イベント「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまで利用された方、楽しい体験ができましたか？また、こんなことができたなら…というご提案がありましたら、お寄せください。		
	はい	32	
	いいえ	7	
	利用していない	63	
	【ご意見】		
	こんな展示は初めてでとても楽しめました。スゴイ！		198
	子どもが利用できれば楽しいと思う		199
	寺子屋素晴らしいです。		269
D08	体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？		
	はい	43	
	いいえ	62	
D09	展示理解の手助けとなる解説グッズ類は、充実していると思いますか？解説グッズについてのご意見、ご提案もあればお聞かせください。		
	はい	58	
	いいえ	12	
	【ご意見】		
	照明の加減で説明文が読みにくいところがあった。（暗かった）川の流れるような演出で見えなかったり		7
	武田信玄のグッズを増やしてほしい		8
	不明、どこにありますか		26
	照明が暗くてよく見えなかった。もっと明るくしてください。		40
	△		52
	字がもう少し大きく、場所（掲示）が目線に近いと思う。		68
	なんとも言えない		91
	解説ポイントは「ことここ」みたいに簡単に見つけられるとよい。小さい字で長文だとついパスしてしまう		168
	歴史のビデオをイスに座ってゆっくり見たかった。それが少し残念だった。展示物は興味深く面白く出来ていた。		198
	雨宮さん、若尾さんの展示がかがまないと読めず、せっかくなら目の高さにしてほしい		239
	人形や音声映像など誠に手のこんだものばかり。とても分かりやすく感服しました。		263
	英訳（中国語）欲しいです。		269
D	展示は楽しめましたか？何かを学ぶことができましたか？（企画展示について）		
D10	「未来へ伝えたい甲斐の国のたからもの～新指定文化財・収蔵品展～」を開催中です。		
	今回の企画展は面白かったですか？よろしければ、どんなところに興味を持った（努力が必要と感じた）のか、感想も聞かせてください。		
	はい	97	
	いいえ	9	

	【ご意見】		
	三宝寺 の仏像に目が釘付けになった		12
	幕絵、壁一面に展示すれば、大きさがもっと分かったと思った。		14
	地元にも貴重な資料が多くあることに感心した。第一章の大きな不動明王の掛け軸？は、よく修復されており、すごいなと思いました。		15
	時代をしばてくれた方が関連付けて見やすいかも		26
	この前と同じ。みなれた物が多数あった。		30
	もっと魅力的なものがあると思うのでもう少し展示数を増やしてほしい。		32
	他県から山梨に移住しましたので「甲斐の国のたからもの」の値はすごいと思いました。縄文文化や古文書の学習にも興味があります。県内の縄文遺跡を訪ねてみたいと、思います。		33
	どんな時代にどういう形で使用されたか簡潔に説明されていてわかりやすかった。		37
	仏像、仏画類		40・225
	古文書類、仏画		42
	△、展示室からそのジャンルや県内のほかのものとの比較の見方からの位置づけに触れて説明したらどうか。		52
	色々な面の新しい宝を発見できた		56
	仏画の迫力、仏像にいやされた。		60
	山梨市の清水寺の位置を知りたいと思いました。		61
	古文書を自分で読むのも楽しいですが、子どもでも楽しめるように現代語訳を同時に表記してあればもっと良いのに、と思いました。めんどくさいかもしれませんが。		78
	地域感のあるもののせいか、とても興味もたれた。		86
	宝物とはどんなものを指しているのか？		89
	甲斐の歴史		91
	ヨゲンノトリ、目当てで来たのですが、大型展示が迫力がありとてもよかったです。(子どもはあきてしまいゆっくりとは見られませんでした。)		97
	富岳36けいが見れたのが良かった。		99
	カナをつけてほしい		108
	とてもよかったです。幕絵、←修復されていないのがちょっと感動でした。ヨゲンノトリ		109
	山梨で出土したものなど興味があった。武田信玄関係のものなど楽しみだった。		115
	四方の山からの恵に榮えたこと。宝物は「人材」もっと深く知りたい。		117
	甲府大空襲の映画		120
	今回の企画展を通して、私は武田信玄の古文書や上杉謙信の書状に興味を持ちました。		125
	全体的に物足りない。コロナの影響があるとはいえ、テーマを見て期待した内容の密度ではなかった。		128
	もっと難しいと思っていましたが、展示物も迫力があったり、見やすかったです。		142
	ギャラリートークをきいてから見たので、とてもよくみどころがわかり楽しめた。ギャラリートークのときに出品一覧か、説明品リストがあるとよかった。		152
	山梨在住なので、やはり武田関係の物品		158
	室内が少し暗すぎると思うが		161
	仏像、マンダラ関係		169
	武田信晴の書状。		170
	ヨゲンノトリが興味深かった。		185・186・223
	職人？さんの気力に気づかされた。自分の怠慢さにも気づいた。		187
	展示までの流れがありました。		189
	新発見した作品が多くあり、甲斐の国の歴史・文化・人民の暮らしなど、大変すばらしかったです。		203
	資料収集のやり方がわかりやすくておもしろい		208
	高齢で目が悪くなっているの、暗いところでの解説を読むのが大変です。		212
	元々、どこにあったものかわかってもっと興味わいて感じるものがありました		221
	良かったです。盾無の鎧が本物だと更にですが、さすがに難しいですね。		226
	幕絵の色彩が何なのか説明が欲しかった。		228
	芳年、目当てで来ました。良かったです。		231
	道祖神まつりの龍の彫り物と幕絵がかっこよかったです。にらみあう信玄と謙信の絵が面白かった。古い仏画はちょっと見づらかった。		234
	とても楽しかったです。土器、像の後ろ側もみえて面白かったです。		237
	新しく文化財指定となったものが見れてよかった。		239
	ボリュームがもう少しあれば		254
	山梨は山に囲まれ海のは手に入りにくいと思っていましたが、どうしても豊かな食文化で楽しんでいたと感じることができました。		263
	今まで知らなかった宝ものが、こんなにあるのかと興味深く見ました。		266
	武田二十四将みたいな絵が見られて感動しました。		267
	身近な甲斐の国のたからもの。実に素晴らしく学ぶことに感謝しています。		269
	ジオラマがわかりやすい		270・271
	この質問に、「はい」「いいえ」の回答はあわないのでは？		272
	山梨のおたからを知ることができました。信玄の絵に興味を持ちました（良かった）浮世絵版画の本物が良かった。		276
	面白かったです。		277
D11	展示のなかで、「難しい」「わかりにくい」と感じたところはありましたか？		
	はい	25	
	いいえ	57	
	【ご意見】		
	アンケートのランキング結果、どのくらいの人が回答したのか、など。出土した場所、県内の地図などがあればわかりやすい。		14
	書状、手紙の類に内容と説明（現代訳）が付いていれば、尚、よかったかなと思います。		15
	順路がわかりにくかった		22
	書の現代語訳がほしかったです。		32・78・106
	暗すぎて見にくい。文字が小さい		37・250・273
	収蔵品のために照明を落としているためか解説が読みにくい。字が小さい。		42
	「見どころ、ワンポイント」というような、わかりやすい簡単なパンフを配布したらどうか。		52
	食についてわかりづらかった。		56
	曾我物語屏風、曾我兄弟がどの二人なのか、どの二人を追っていくとストーリーがつかめるのかだけでもわかると、色々な人が物語り絵のおもしろさを知れるのでは。		66
	ふりがなが多い方がよい		89
	漢文の解釈をそのまま載せた方が印象に残ると思う。		95

	ヨゲンノトリをみにきたのに、場所がわからなかった。		97
	簡単な地図		108
	単語の解決が欲しいところがありました。		110
	展示物の説明。もう少し詳しく欲しかった。字を大きく。(限りがあるので無理?)しかし、全体的に館内が暗いので、近くに寄らないと読めない。		113
	絵の解釈。テーマと実物を比べてもどれがなんだかわからない。		128
	企画展の展示物をガラスケース等の関係でライトの位置が暗すぎたり、顔が見えづらかったり、もう少し光の位置を工夫してほしい。		140
	ツアーに参加させていただきたいので、わかりましたが・・・		158
	誰の絵かわからないものもあった。		162
	それぞれの展示の出た場所、時代、文脈がプロットできず、意味ありを理解しづらい。どちらかというと寄贈者側にフォーカスしていたように思われた。		189
	展示方法は、わかりやすかったです。見学させて、いただき、感謝申し上げます。		203
	たまに読めない漢字あり		208
	たぶん区別があるとおもうのですが、説明文が小さいものがあるって暗くもしているの、年配者には少し読みにくかったです		221
	古文書の読み方内容がわかりにくい		223
	修復作業の途中の写真もあると実感できたのでは		234
	わからないことは、そのつど質問しました。		266
	表示の言葉が読みやすければいいと思う。		271
D12	今後、どのような内容の企画展の開催を希望しますか?		
	武田家等、戦国時代のもの		8
	甲府や甲斐に関する企画展、毎回、楽しみにしています。		14
	年代を問わず楽しめるもの		20
	プレゼントを多くしてほしい。(パッチではなくて)		30
	山梨の仏像展がみたいです。		32
	庭で道祖神祭りをやってほしい		56
	木喰展や蚕の特別展すばらしかった。もう一度みたい。		60
	山梨の丸石道祖神の魅力がもっと世の中に広まればいいのに。転勤で山梨に来て沼のようにはまりました。		66
	山梨のスゴイところがわかるようなものもいいです。遺跡が多いので古代に特化したものとかな。		78
	テーマがよくわからなかった。		85
	歴史展示は充実していると思います。特産物の歴史(ワイン以外)が気になります。		86
	特別展はすばらしい展示物があり、驚かされました。すごいと思った。企画展は残念ながら時間がなくさっと通っただけで、すみません。		91
	山梨にちなんだ物		94
	山梨の歴史深堀、甲斐源氏関係		101
	来年の「生誕500年信玄の生涯」の企画展には必ず行きたいと思います。今後も戦国期の武田氏に関する企画を楽しみにしています。		125
	子どもが楽しめるもの。		142
	リニアについてなど。山梨の古生物も。		155
	十一屋野口家		159
	県内のお犬様、オオカミ、信仰についての企画展を希望します。		163
	中世近世の城についての展示		170
	中世の人物、郷土等、武田家家臣等		181
	幕末、平成展、昭和展、平成・昭和の山梨の偉人展、死生観、犬展、遊び・ゲーム。ファッション展、おもちゃ展。		183
	近現代、民俗など私たちの近過去の生活に関するもの		197
	左右口、円楽寺、文書等、修験関連		207
	甲斐武田氏の歴史、信義～勝頼の歴史像。幕末の甲斐。開国～戊辰の役		208
	仏教に関する展示		225
	芸能、文化を中心にした多角的な企画展が観たい。		228
	郷土食、ほうとうやフルーツなど、うどんも、他県との比較もあったら、とても面白いと思う。		234
	今だ調査中の文化財もあるということでしたので、次の開催が楽しみです		237
	キティーちゃん展		239
	リニューアルして見ごたえがあった。さらに充実を望む		250
	何度きても初めてみたような気がします。少しずつ変えてくれていることがわかりました。たのしかったです。また来ます。		277
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。(もっと知識を深めたい方は、「資料閲覧室」へ) ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため閉室しています。		
E01	資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか?感想がありましたら、お聞かせください。		
	はい	15	
	いいえ	61	
	【ご意見】		
	なんとなく入りにくい雰囲気があった。		32
	予約しなかったので入れなかった		223
E02	古文書の即日閲覧(申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス)など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか?		
	はい	25	
	いいえ	20	
	【ご意見】		
	興味がなくみていません。		32
	知らなかった。		163
E03	本年度は6回、館内での「古文書相談日」が開かれていますが、知っていましたか? ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため中止しています。		
	はい	9	
	いいえ	40	
E04	もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか?古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。		
	はい	25	
	いいえ	26	

	【ご意見】		
	なんでも鑑定団のようなことはできますか？		32
	県外来訪なので特にな		42
	2回相談したことあり。		65
	古文書ではありませんが、祖先のお墓の石にはられている文字を解説してほしいです。		78
	ない		91
E05	「甲州文庫」等のデジタル画像をることのできる検索端末（パソコン）を知っていましたか？よろしければ、使い勝手の感想も聞かせてください。		
	はい	10	
	いいえ	45	
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用ください。（山梨県をもっと幅広く楽しみたい方は、「地域インデックス」へ） ※「地域インデックス」とは、県内の文化財や美術館・博物館などの情報を入手できる、チラシや情報検索端末が置かれたコーナーです。		
E06	博物館周辺のおすすめスポットや、県内各所の観光案内など、情報は充実していますか？		
	はい	32	
	いいえ	18	
	【ご意見】		
	△		68
	どこにあったの？		234
E07	常設展や企画展の展示を見て、どこかの地域に実際に行ってみたくらいと思ったとき、このコーナーは役に立つと思いますか？よろしければ、このコーナーについてのご感想もお聞かせください。		
	はい	39	
	いいえ	6	
	【ご意見】		
	インターネットになり、写真などがあると知ったら見たいです。		32
	物理的位置付けが弱かった気がする		68
	そもそも近づくまでこのコーナーがあることがわかりにくかった。		78
	博物館の情報は面白い		239
F	ショップやお庭散策も楽しめましたか？		
F01	ショップは目玉商品をわかりやすく見せるなど、商品陳列の工夫をしていますか、いかがでしょうか？		
	よい	54	
	ふつう	50	
	わるい	3	
	利用しなかった	27	
	【ご意見】		
	あまりかわいいものがない		32
F02	レジの対応はいかがでしょう？		
	よい	57	
	ふつう	28	
	わるい	1	
	利用しなかった	38	
F03	買ったもの、買いたいものはありましたか。品揃えはいかがでしょう？		
	よい	51	
	ふつう	44	
	わるい	5	
	【ご意見】		
	ありました		26
	いつ来ても同じ。手芸作品ばかりで、作業服のスタッフがショップにいるのはどうかしら？		30
	博物館独自のマステ		172
F04	オリジナルグッズとして、博物館の絵葉書と、富嶽三十六景のコースター、マグネット、ボールペンなどがあります。また、過去の展覧会の図録やリーフレットの販売も行っています。他にどのようなオリジナルグッズや商品があると思いますか？		
	美術館などのオリジナルグッズは好きなのですが、プラスチック素材のものは、今後減らしたほうがいいかも。山梨県特産（和紙）などを利用したグッズがあれば面白いです。		15
	ヨゲンノトリTシャツ		19
	充分		26
	おみやげによさそうな分けられそうなものがあります。		32
	特になし		42
	四神や道祖神グッズ		56
	富岳絵はがき		60
	ジオラマ人形のレプリカが欲しい。		66
	絵葉書は正直あまり使い道がないので（飾るにしても小さい）100均で買える額に入れられるサイズのミニポスターがあるといいと思いました。		78
	夏であれば、信玄ゆかりの柄のTシャツとかもっと欲しいです。		86
	山梨に関連するものでも良いのでは？観光に来る人が山梨の美術館、博物館すべて回れないこともあると思うので。		130
	マスキングテープかいました。ヨゲンノトリ		157
	過去の展示品の本		163
	ヨゲンノトリのグッズを増やしてはどうか？（クリアファイル、缶バッジ、ピンバッジ、プレスレット）ぶどうやモモのおしゃれなドライフルーツ		234・272
	佐久間、羽柴のグッズも外国人ウケがいいと思う。幕絵の部屋にかざれるやつ、横長で全員かいてある。ふるさと納税		253
	水がよいところなので、ミネラルウォーターなどはいかがでしょう？		270
F05	現在、軽食・喫茶コーナーは営業していませんが、不定期で敷地内において、パン屋さん、カフェ、ピザ屋さんなどの移動販売が行われています。利用したことがありますか？試してみた方はご感想を。 ※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、屋内休憩スペースや移動販売の実施を休止しています。		
	はい	18	
	いいえ	75	
	【ご意見】		
	ない		32
	知りませんでした。		43
	気になる		72

	パンを買ったことがあります。手ごろでよかったです。		86
	企画展があるときは、食事も販売したほうがよい。		130
	休み		207
	マルシェはとてもよかったです。		225
	座って食べられると良い。結局持ち帰りなので。		239
F06	新たな飲食施設の再開は未定ですが、どのような飲食施設があったら、利用されますか？また、どのような飲食施設が良いと思いますか。		
	テイクアウトで外で食べる		7
	買って好きな場所で食べられるようなもの。(景観がよいので)		15
	利用します。広いスペース。		20
	県内の店が日替わりで出展するなど		32
	コーヒーショップ		40
	特になし		42
	カフェ（入館料なしで利用可能な）		43・56・60・114・158・183・234・270
	イタリアン		56
	ドリンクのみ		61
	気候によっては外で軽食できる		64
	コーヒーが飲めればよい		71
	せっかくキレイなお庭があるので、ながめながらお茶したいですね。山梨のフルーツ使ってくれるといいです。		78
	食事というより軽食の方が良いのでは（次の移動前に利用するくらい簡単なもの）		86
	一気に両方見るのは、疲れる。途中、お茶を飲んで休憩したい。		91
	美味しくて安いもの		100
	特に利用したいとは思わない		102
	食事がてらゆっくりと館内をみたい。またファーストフードでもよいと思う。あれば利用する。		130
	山梨の食文化の発信基地になれば。例えば季節毎に冬ならほうとうをレストランで提供するとか		140
	おいしいコーヒー、お茶がちゃんとした器で飲めるくつろげるところ		152
	軽食が食べられるところ（ランチができる）		181・225
	セルフサービスのカフェ		192
	静かに美しい景色をみながらくつろげるカフェ。		205
	マクドナルド、モスバーガー		207
	昼食が食べられたらよい。お茶ができる		239
	地域のもの。昔の人が食べていたもの、近代。以前、昭和展のときに、今のカレーではなく、昭和の時代のカレーをと、飲食店の人に提案したところ、ひどく怒られました。企画とタイアップ		266
F07	オープンテラス（博物館レストランの外）で食事をとることができるのをご存じですか？ また、試してみた方はご感想を。		
	はい	22	
	いいえ	60	
	【ご意見】		
	気持ちよい		60・266
	庭ではダメですか？		130
F08	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」を開催しているのですが、ご存じでしたか？よろしければ、お庭についてのご感想もお聞かせください。		
	はい	34	
	いいえ	37	
	【ご意見】		
	庭はすばらしかった。子どもも沢山遊べた。		7
	いつも参加させていただいています。ボランティアの人が休んで、休みでした。10月17日。職員の人が案内してもよいのでしょうか？		30
	とってもきれいなので、もっと宣伝してください。		43
	気持ちが良いです		56
	お庭、すばらしいと思います。ただ、来るまで知らない人も多いのでは？近ければ、もっと来るんですけどね。もっとアピールしてもいいかも。		78
	緑の木々に囲まれいい感じになりました		92
	広い庭でキレイに手入れしてあって、気持ちがいいです。		100
	きれいにしており、とても気持ちよいです。ありがとうございます。		141
	季節毎に楽しめる庭でよかった		209
	広くてうらやましいです		217
	お庭はいつも散歩していますが、気持ちよいです。		225
	竹林がきれいに整備されていて感動		263
	とてもキレイだと思いました。		267
	お庭めぐりは実に人気があります。担当者が不調の場合は、他のスタッフが代理をして欲しい		269
	来たときには必ず博物館を一周して帰ります。たまに散歩に来ます。花の写真も撮ります。		276
G	博物館で行われているイベントや普及プログラムに興味がありますか？		
G01	館長トーク・古文書講座・子ども工房などのイベントプログラムに参加されたことがある方にお聞きします。内容はいかがでしたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	よい	21	
	ふつう	12	
	わるい	0	
	参加していない	46	
	【ご意見】		
	講座、楽しかったです。参加できないときもあるので、後日ビデオ視聴ができるとうれしいです。		86
	楽しく参加させてもらっています。危なっかしいもの、汚れるもの等、家でできないものが体験できるのでうれしい！		100
	ギャラリートークは、とてもよかったです。		152
	館長トークが実に素晴らしい。県民が期待しています。		269
G02	こんなプログラムがあれば参加したい、というものがありますか？		
	子ども工房、寺子屋ひろばに参加したいと思います。コロナのせいで人数制限がある？		30
	保存庫に入ってみたいです		32
	道祖神まつり		56
	展示物のツアー、解説		60

	昔の人の生活様式を見たり、体験してみたい。(紙漉き、縄作りなど) 治水関係の蛇籠づくり、また開催してほしいです。		86
	V R ゴーグルをして富士山、甲府盆地上空の旅		100
	来年の日連展		207
	仏画を描いてみよう		234
G03	博物館と県内市町村をつなぐための「歴史ウォーキング」に興味がありますか？(県博とNPOで制作した、まちミュージックブックをショップで販売中です。)		
	はい	45	
	いいえ	20	
	【ご意見】		
	前に参加しましたが、時間がかかりすぎました。		30
	チャンスがあれば参加したいです。		141
H	博物館で働く人たちと交流できましたか？		
H01	館内スタッフの案内や誘導はいかがですか？よろしければスタッフについてのご意見もお聞かせください。		
	よい	104	
	ふつう	32	
	わるい	2	
	【ご意見】		
	質問にしていねいだった。		12
	あいさつをしない職員やボランティアの人がいるので気になります。		30
	親切でいいねい		42
	聞けば答えてくれるが、来る人に説明してほしい		91
	受付(検温などの) 対応がでいいで良かった。		99
	入館してすぐに案内してくれたが、中学生の団体の案内のために邪魔者みたいに対応され、不快でした。		115
	とてもいいねいで深く考えていただきました。ありがとうございます。		189
	今回の企画展の見どころをコンパクトに説明していただきました。		221
	たいへんな時期に営業していただけてとてもうれしく思いました。		237
	声をかけていただき説明してくれました。(富士川水運資料)		249
H02	展示交流員(男性は赤いジャケットを、女性はグレーのチェックの制服を着ています)の説明はわかりやすかったですか？ 面白い話を聞けましたか？		
	よい	75	
	ふつう	36	
	わるい	0	
	【ご意見】		
	女性の方も男性の方もとてもいいに説明してください。楽しむことが出来ました。橋本一騎さん、お話はわかりやすくとてもくわしかったので、貴重な体験が出来ました。ありがとうございました。		9
	道祖神祭り		26
	説明を受けてより楽しめた		93
	質問にも答えていただきありがとうございます		121
	聞いていない		132
	楽しい		141
	面白い話が聞けるのですか？聞きたかったですね。		163
	赤いジャケットの男性はいなくてもよいと思う。展示室までの道のりはわかりやすいから。		170
	スタッフさんが声を積極的にかけていただき説明してくださいました。		201
	親切なスタッフが多いです。心での対応が欲しい		269
	でいいない説明をありがとうございました。		272
H03	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のベストを着てイベントなどを職員と一緒に実施しています。あなたもなってみたいですか？よろしければボランティアスタッフについてのご意見もお聞かせください。		
	はい	25	
	いいえ	37	
	【ご意見】		
	機会があれば		15
	去年、協力員に参加しましたが、会ってもあいさつをしてくれない人がいるので、私は逆流性胃腸炎になってボランティアをやめました。礼儀正しく、服装もちゃんとしてほしい。		30
	会っていない。		42
	よく説明してくれた		68
	親切に説明していただきうれしいです		126
	コミュニケーションを学んで欲しいです。		269
I	博物館に行く前に、情報は入手できましたか？		
I01	県立博物館のホームページを見た方にお聞きします。知りたい情報が得られたなど、役に立ちましたか？また、ホームページではどのような情報を知りたいと思いますか？		
	はい	77	
	いいえ	5	
	見ていない	43	
	【ご意見】		
	出版物の情報		83
	閉場時刻		85
	移動販売が来る日が書いてあればいい		100
	新聞の記事で知りました		107
	少し見にくかった		115
	展示中の物品		158
	HPデザインがさすがに古いと思われます。情報は手に入りましたが、魅力が伝わりにくい。		189
	小学校からのパンフレット		245
I02	博物館に来る際にどのような広報をご覧になりましたか？○をつけていただけますか？(複数回答可)		
	ホームページ	47	
	かいじあむ通信「交い」	17	
	ちらし	24	
	新聞	44	
	テレビ	46	
	ツイッター	2	
	その他	9	

	ラジオ	8	
	なし	0	
	【その他】		
	寺		24
	人から聞いて		186
103	博物館では公式ツイッター（kaiseum_ypm）でさまざまな博物館情報を発信しています。ご存知でしたか？ご存じの方は、その感想もお聞かせください。		
	はい	16	
	いいえ	39	
	見ていない	63	
	【ご意見】		
	みてみます		189
104	山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページが公開されていますが（http://www.museum-kai.net/）、利用したことはありますか？		
	はい	17	
	いいえ	48	
	見ていない	61	
	【ご意見】		
	何となく使いづらい。どんなときにこのHPを使うのかわからない。		152
J	最後に、これもぜひお聞きしたいところです。		
J01	館の愛称は、「かいじあむ」。名前の感想は？		
	よい	99	
	ふつう	52	
	わるい	5	
	知らなかった	27	
	【ご意見】		
	「かいてらす」とまちがえそうになりました。		78
	言いにくい		115
	ホームページでみていましたが、何のことかわかりませんでした。		189
	分かりやすいと思います。		237
J02	入館料（常設展、企画展）は適当ですか？（高校生以下は無料です。）		
	高い	16	
	ふつう	121	
	安い	33	
	【ご意見】		
	シニアにつき？		18
	展示品の数（規模）のわりに高い		64
	私は高齢なので、無料で入館できます。とても助かります。何度も利用させて頂いています。ありがとうございます。		75
	大学生も安いとうれしいです		110
	ちょうど良いと思う		115
	シニア無料でした。ありがとう		120
	高齢者無料で入館したが、妥当だと思います。		137
	65歳以上企画展も無料にしてほしい。		202
	現在80歳。いつも無料でみせてもらっています。ありがたいです。		211
	大学生料金だったので非常にリーズナブルでした		267
	？		269
J03	1年間、何回でも博物館を利用することのできる定期観覧券や美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）があることを知っていましたか？		
	はい	60	
	いいえ	111	
	【ご意見】		
	五年連続購入してます		60
	利用している		130
	何年も使っています。		152
	高齢者のため		177
J04	定期観覧券や4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）を利用したいと思いますか？		
	はい	45	
	いいえ	89	
	【ご意見】		
	パスポートで入場してもチケット？みたいなのは何もいただけないので、どんな企画展にきたとか残らないのでちょっと不満です。65歳以上の方には毎回出しているのに。		43
	高齢者		58・120
	ぜったいお得		60
	利用中		72・192
	それぞれ近ければ。共通パス、いいですけど、各施設同士を結ぶシャトルバスがあればいいのに。		78
	企画展の内容次第		163
	△		186
	住所が遠いため		189・221・267
	美術館や文学館も利用しているので、毎年利用したいです。		205
	65歳以上になり無料でうれしい		249
J05	以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？どんな点がよくなったのか、または悪くなったのか、ご意見もあればお聞かせください。		
	よい	52	
	ふつう	62	
	わるい	0	
	【ご意見】		
	いつも良いです		15
	？		18
	S N S 発信しんせつ		60
	こんな世情ですが、アットホームで大好きです。		66

	わからない		72
	まあ、この時期ですので、仕方がないですね。		78
	コロナ時期ということもあり、いろいろいいねいす	80・99・172	
	人数が少ないせいか、ゆったり対応してくれない		86
	きれい		127
	展示の仕方		129
	所々で説明してくださった。		137
	案内してくれて広く知ることができた。		149
	スタッフの方がすすんで声をかけてくださる		152
	落ち着いた雰囲気		183
	今回はいろいろ声をかけて説明してくれた。		187
	コロナ対応もきちんとしていて良い。スタッフの方が優しくてよい		205
	コロナで状況がかわっているので、何とも言えない。		208
	飲食できる店がなくなりました。		234
	いたるところに職員がいてきめ細かく案内してくれて良い		263
J06	博物館にきたことでもっと山梨県を歩いてみたい、観光してみたいと思いましたか？		
	はい	116	
	いいえ	9	
	【ご意見】		
	特になし		102
J07	もう一度、この館に来たいですか？よろしければその理由もお聞かせください。		
	はい	148	
	いいえ	4	
	【ご意見】		
	常設展がとても充実していて、変わる頃に来てみたいです。		9
	地元の面白いものが観られるから		15
	子どもの体験コーナーができなかったから		19
	冬に		26
	県内の文化財を見たいです。		33
	企画展の内容で来ようと思います。	42・140	
	好きだから		43
	お寺に行かなくてもここで見ることで大変よかったです。		46
	県立だけに予算が潤沢にあり、設備的にも人件費もおしみなく使われているので快適でした。		48
	コロナでみるができないスペースもあったので、また来たい。		51
	楽しい！		56
	新しい企画展が開催されたら		61・142・ 183・205・ 215・227・ 228・239・ 276
	地方病体験したので、同コーナーくるたびに発見があり、又案内の若い男性の説明もよかった。		65
	山梨県をもっと知りたい		69
	歴史を学ぶことができます。		76
	庭も常設展も楽しいです。コロナさえおさまってくれば。		78
	各種の展示を見たい		80
	また違う特別展があったら来てみたいです。	84・223・ 225	
	だいたいわかったことと、とにかく目につかれた。		102
	一年を通じて色々な企画があり気になるときは見学したい、また、近隣に住んでいるため来やすい		107
	内容によってはまた来たい		115
	展示場が広すぎます。短時間で観覧できるといいと思います。		116
	一度では鑑賞できない。もっと深く知りたい。		117
	県内の歴史情報発信の場となっている		122
	地方病について		132
	時々、脳トレになるので		137
	年齢に関係なく学ぶことが大切な		139
	博物館が好きなので。		152
	静岡よりいいから		153
	常設に関して一回見れば充分かと。		185
	スタッフの方がここまで案内されているところは初めてみました。		189
	本日は、一人でしたが、家族、妻、子どもたちにも勧めます。楽しく学ばせていただきました。		203
	広くてきれいなので、また興味のもてる企画展があれば来たいです。		221
	見学時間不足（自己都合）		229
	展示も庭もきれい		231
	面白い企画があれば、ぜひ。学校にもチラシを入れてほしい。		234
	何年前か、行われた幽霊等の展示が面白かったので、希望します。		237
	山梨県の歴史をもっと知りたい		245
	こんなにいいねい展示されているなら、もっとひんぱんに来ないともったいない		263
	博物館は本人のこころです！		269
	ジオラマは何度見てもおもしろい		272
J08	通信簿ツアーは、博物館がもっと利用しやすくなるよう、皆様のご意見をうかがうために毎年実施しています。質問項目が多くご迷惑をおかけしますが、通信簿ツアーが他の博物館・美術館にも、もっと広まればよいと思いますか？ご意見お聞かせください。		
	はい	66	
	いいえ	7	
	【ご意見】		
	県内者だけでなく県外の方々にも山梨県の魅力を広めていただきたいです。		33
	声も聞かなければ、改善できないので		51
	家でネットで出来ること楽		60
	いろいろな目線でみられて面白いと思います。		78
	見学者とのコミュニケーションが図れる。		80

	私自身ゆっくり考えることができたので、ここのよさを再確認できた。	86
	特になし	102
	少し多くて大変なのでもう少し手短かにしてください。	141
	長すぎ	145
	常設展の順路がわかりにくい	168
	すばらしいと思います。オンライン化してもよいと思います。	189
	見学時間に余裕があるときには、よいと思います。	203
	はじめて参加しました。おつかれさまです。	205
	駐車場から入口までの案内が少ない。以前の正面の方に行って戸閉で迂回しました。	224
	もう少し項目が少ないと良い。時期で分けるなど	239
J09	お疲れさまでした。通信簿の項目以外にも、気になることがありましたか？通信簿の感想など何でも書いてください。	
	視力が弱い人にとっては少し大変だったようです。	5
	床と靴の音（自分の）	26
	皆さん、あいさつをしっかりとくださり、楽しいです。特に副館長に会うとホッとします。ニコニコしてとても親切です。県民に対してあいさつをしないスタッフがいるので気になります。	30
	エントランスに山梨を代表する（物、絵、像等）ものを置いたらいいかでしょう。	40
	次回は、資料室も利用したい。	51
	道祖神まつりをやってください	56
	入場者が少ない。いつもガラガラ。自治会回覧等利用したらよい。小中学生に是非見て欲しい。	58
	アンケートにかいとうできるデスクがなく、ベンチにすわってかいたので、字が乱れ、雑ですみません。もっと紙がうすくてもいいかも。	60
	展示物の連携をもう少し工夫すると良いと思います。	68
	せっかく、しっかり作られた冊子なのに出不さないとダメなんですね。あと、紙でするので、正直立ってもって状態では、書きにくい。下書きほしいです。	78
	地味でも集客努力を願う。	80
	何回来ても感じがいいです。益々頑張ってくださいをお願いします。	81
	以前、研究の現地近くにあった和本がとても楽しかったです。甲州弁等、楽しくまとまっていたと思います。おみやげをしても欲しいです。販売予定はないですか？	86
	すばらしい展示に勉強になります	91
	コロナ禍、自粛によりたのしみゆとりがなく少しさみしいです。収束の日を待ち、また来てみたい。スタッフのみなさま、ごころさまです。	117
	こんないいところがあるのに、あまり人がいない。残念。すいているのはよいと思うが。	127
	全体的に発信力が足りない。（館内）もっと来館者が自然に多く楽しめるよう対応とアピールをした方がよい。説明文に変なプライドが感じられるのももう少し客観性がほしい。	128
	アンケートが少し多いと思います。GO TOトラベル使えるとよいと思います。	131
	展示がみにくい	145
	展示室は落ち着いた照明で全体のバランス良く、落ち着いて観賞できた。対して、売店、売店附属のレイアウト、プレゼンがイマイチ。	169
	遠足や修学旅行などで団体が来館する場合、ホームページにその旨を載せて欲しい。前日までに、日にちをずらして来館するので。	170
	中学生などの団体客が来る日か知らせてほしい	183
	本日は、本当に参考になり甲斐の国を多く知り、山梨県人としてうれしいです。文化の日に良き記念になりました。感謝いたします。	203
	パンフレット置き場のレイアウト、今も悪くないがもっとシンプルなレイアウトが良い。ちょっとかくれて見えないところもあるため	208
	展示物の説明文の文字、小さすぎるものがありました。視力の弱者には不向きです	211
	質問が多すぎて途中で限界でした	214
	アンケート冊子、もらったときにビックリ。立派で持ち帰たくなるようなものでムダ？な感じがしました。記入はしやすかったですが。	224
	館内は広々として過ごしやすい空間でした。常設展示室は動く映像が多く少しわずらわしかったです。こだわりの導線はあっても良いと思います。	228
	いいところみだと思えます	231
	たいへんな時期に営業、ありがとうございます。がんばってください。また、必ず来ます。	237
	常設展は撮影可にした方がよい	258
	中庭の竹笹の管理、除草、大変だと思います。よく管理されていると感心しています。また館内もピカピカでよく清掃されていると思います。	262
	コロナ対策のため、西玄関シャットアウトですか。人数制限なら半分とか、両方から来ると困るのか、換気のためにはあけた方がいいのでは？	266
	ガイドの説明がとてもよかったです。ありがとうございました。	272
	とても楽しく観賞できました。	278

※「評価者No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものであることを示す。

※「ご意見」欄は、重複意見は集約して掲載した。

■評価結果の分析

令和2年度の通信簿ツアーは、例年のように夏と秋に各1日ずつ計2日間の実施ではなく、一定の実施期間を設けて実施した。通信簿ツアーの趣旨を十分理解していただいた方に参加していただいたからか、来館6回以上のいわゆるリピーター来館者の割合が、昨年度全体の18.6%だったのに対し、今年度全体の31.3%を占め大幅に増加した。よって、記述欄への記入にも具体的な意見が見られたり、新型コロナウイルス感染症に対しての対応策前後を比較してご意見をいただいたりと、参加者の博物館に対する期待の高さがうかがわれた。

平成18年度以来続けてきた通信簿ツアーは、寄せられた利用者の声に可能な限り対応をし、より親しみやすい博物館づくりの参考としてきた。

この結果、「受付（総合案内）や案内スタッフの対応はいかがでしたでしょうか？」（B02）という設問に対して、「よい」回答率が85.2%、「ふつう」回答率が14.8%、「わるい」回答率については0%であった。この指標については、例年高い回答率を得ているが、昨年度の「よい」回答率68.2%、「ふつう」回答率25.6%に比すと、「ふつう」が減少し、「よい」が大幅に上昇していることがわかる。記述欄には、新型コロナウイルス感染症対策に対して充分対応していると感じたり、丁寧な対応を受けたと感じたりする参加者が多かった。一方、新型コロナウイルス感染症対策として、総合受付でパンフレットやチラシを直接手渡ししなくなったことで、新たに館内スタッフの声かけと来館者の誤解が生じる事案も発生していることから、「新たな生活様式」に依拠して、これまで以上に館内スタッフの簡潔でわかりやすい説明、また丁寧かつ親切な対応が求められてくる。また、「チケット売り場はすぐにわかりましたか？」（B01）という設問に対して、メインエントランスを閉鎖していたため、入口がわからなかったという記述が多数見られた。新型コロナウイルス感染症対策のひとつとして検温・消毒を徹底するため、入口を1ヶ所にしたことによって、誘導サインを出してはいるものの、駐車場から館への誘導経路がわかりづらくなってしまったことも課題であった。さらに、「館内に休憩できるスペースや椅子は充分にありますか？」（C05）という設問に対して、新型コロナウイルス感染症対策なので仕方がないという一定のご理解をいただきつつも、距離を保ちつつももう少し椅子を置いてほしいという要望もあった。当館は65歳以上の高齢者の来館も多いことから、今後、企画展会期時など多数の来館者が見込まれる際には、要望に配慮する必要があるだろう。

次に、展示についてである。常設展が2ヶ月ごとに展示替えを行っていることについて（D02）、展示替えサインパネルに「気づいた」回答率が32.7%で、昨年度の24.6%から上昇した。記述欄にも、新展示物がわかりやすく見つけられるのが楽しみといった好意的なご意見をいただくことができ、リピーター来館者対策を強化してきた活動の成果が表れたといえるのではないかと。しかし、通信簿ツアーの参加者にリピーター来館者が多い中、2ヶ月ごとの展示替えを多くの来館者に周知できているかという点と充分だとはいいにくい。今後も展示替えに関する継続的な発信の強化に努めることで、博物館の魅力につなげていきたい。また、開館以来続けてきたキャプション等の文字の大きさの課題（D05）についても改善が進んでおり、成果に表れているものの、「文字が小さい」「照明不足で暗くて見えにくい」など、引き続き改善を進めていく必要性が示された。

企画展については、通信簿ツアー中に開館15周年記念特別展「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの～新指定文化財・収蔵品展～」が開催されていた。全体的な評価として、企画展を楽しめたかの設問（D10）での「はい」回答率は34.8%（令和元年度64.5%、平成30年度91.3%）と例年と比べ低い評価となった。また、「ヨゲンノトリが興味深かった」とコロナ禍を象徴するようなご意見もあった。展示内容そのものについてのご意見は、今後の展覧会の年間計画を検討するうえで参考にしていきたい。

資料閲覧室の利用については、今年度5月22日（金）の再開後も休止をしていたが、10月1日（木）より事前予約制（1日2組まで）で利用できるようになった。具体的な記述にも「予約しなかったので入

れなかった」というように、来館当日の受付はできないため、今後事前予約制の周知を図っていく必要がある。

展示以外の施設については、館内レストランの再開を望む声が続く多数寄せられている。レストランの業態についても、利用者の要望は軽食・カフェなどでこれまでと同じ傾向であった。また、今年度は一度も行われなかったが、不定期に行っている移動販売についてもコロナ渦の中、食事ができるスペース等を含め利用者の声に応えることができるよう今後の課題としたい。

広報関係では、見た広報の種類の設問（I02）では、当館ホームページをはじめとするインターネットのほか、紙媒体、電波広報など利用者が多様な方法で情報入手していることが分かった。また、例年に比べ来館する割合が減少し、新聞やテレビの情報をもとに来館している割合が増加したことから、自宅で情報を入手し、来館するようなケースが増加していることも分かった。SNSの利用状況の設問（I03）やミュージアム甲斐・ネットワークホームページの設問（I04）では、その認知度は依然低い水準のまま推移しており、インターネットを活用した情報発信により一層力を入れる必要がある。

以上、令和2年度の通信簿ツアーでは、これまでに改善を進めてきた事項の成果の蓄積が感じられるとともに、継続的な課題についても再確認することができた。また、リピーター来館者の記述式が多かったことから、新型コロナウイルス感染症に対しての対応策前後を比較して好意的な意見をいただいたり、具体的な改善策を示したりする意見が多く見られた。具体的な記述に関しては、利用者の県立博物館に対する期待の反映であると認識し、実施可能な内容は活動に反映させるとともに、運営や資料保存、その他の観点から実施不可能な内容については、その理由も含めて周知を図り、博物館活動に対する利用者の理解につなげていきたい。

さらに、今年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急事態宣言が発出されたこともあり、当館も約3ヶ月の休館を余儀なくされた。その結果、再開後もメインエントランスの封鎖による入口の分かりづらさ、展示室内の休憩スペースの縮小、一部展示室の閉鎖等、利用者には新たな不便を強いてしまうこととなった。今後は、新しい生活様式を踏まえたうえで、幅広い利用者を想定し改善策を講じていく必要がある。少数ではあるが、苦情につながりかねない意見が見られたことは大いに反省すべき点である。アクリル板やフェイスシールドなど人と人との接触を減らす道具はあるものの、利用者とのコミュニケーションを重視し、今後も県立博物館の使命と機能を果たしていきたい。そして、小さな課題も軽視せず、職員間で共有しながら改善に取り組んでいきたい。

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス

(1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査研究」(第Ⅱ編第2章参照 以下、章のみ)
- ・「資料の収集・保管・活用」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流事業、県民参画」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。24頁に掲げる「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連し合いながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図ること(第7章)が必要である

また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時に、ネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

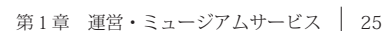
(2) 令和2年度利用者状況一覧

県立博物館の事業・活動は、調査・研究、資料の収集・保管・活用・展示、企画交流事業、施設の整備・管理、情報の発信と公開、県民参画など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

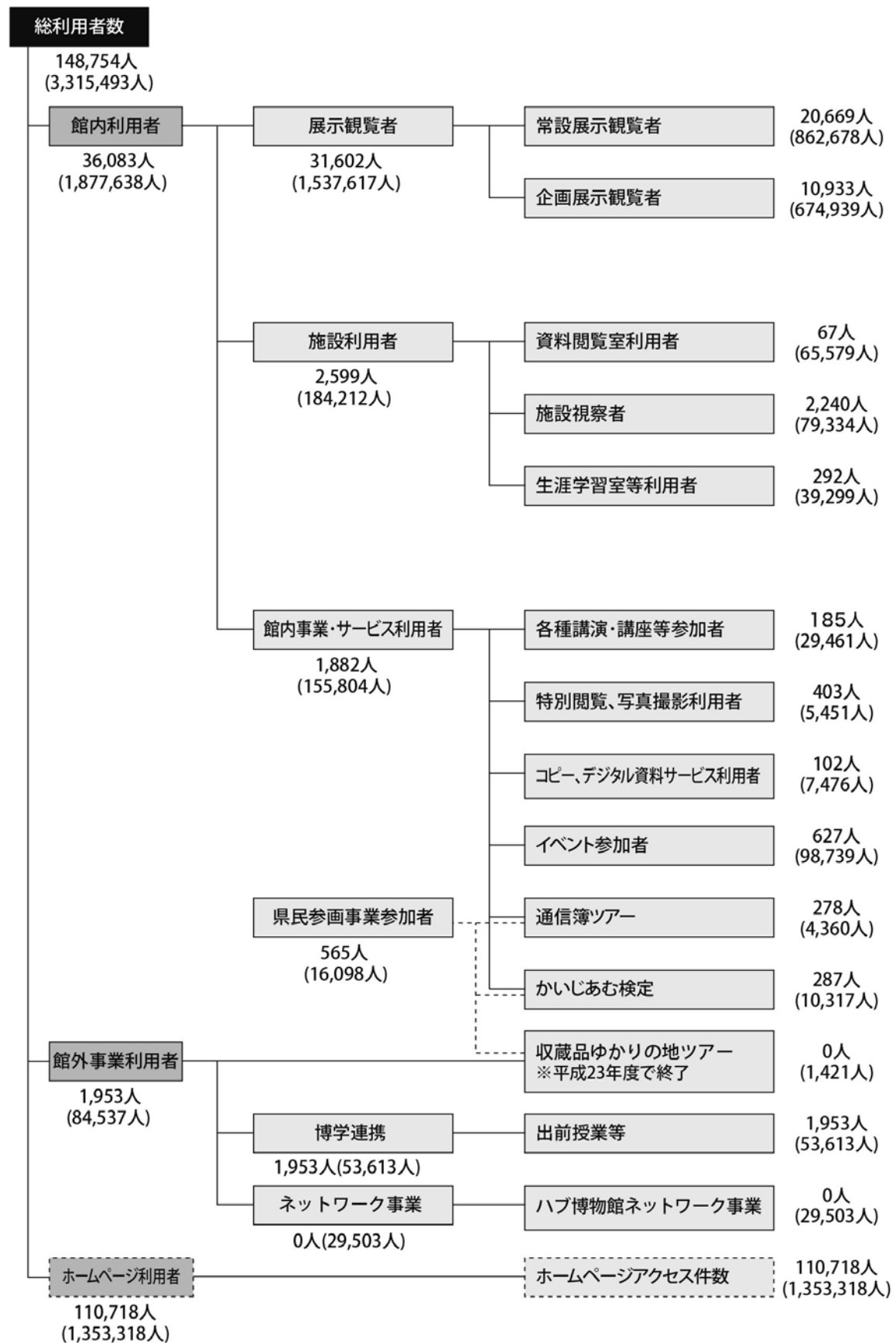
これらミュージアムサービスについて、数値実績として表現できるものについて一覧化したものが25頁の「令和2年度 県立博物館利用者状況」である。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していく。

- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は令和2年度分(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)の実績である。なお()内の数値は平成17年度分から令和2年度分まで、また、《 》の数値は平成23年度分から令和2年度までの実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、「交流拠点形成事業」及び「わいわいミュージアム」は平成18年度で終了した。代わりに平成19年度からは、「かいじあむ検定」、「通信簿ツアー」が新規に実施された(第8章)。このため、平成17～26年度までの実績を示すにあたり、「かいじあむ検定」の場合は平成18年度までの「交流拠点形成事業」の実績を、「通信簿ツアー」の場合は平成18年度までの「わいわいミュージアム」の実績でそれぞれ集計した。また、「収藏品ゆかりの地ツアー」は、平成23年度で終了した。

基本テーマ:「山梨の自然と人」



■令和2年度 県立博物館利用者状況



※ () 内の数値は平成17年度分から令和2年度分までの実績数値の総計である。

■開館年度（平成17年度）から令和２年度までの年度別統計

	総利用者	館内利用者（a + b + c）										館外利用者					ホームページ ベネリ 利用 者				
		展示利用者（a）		施設利用者（b）		館内事業・サービス利用者（c）						県民参画事業		ハブ連携 出前授業 受講者	収蔵品 ゆかり の地ツア ー						
		常設展示 （発券数）	企画展示 （発券数）	資料閲覧室 利 用 者	施設閲覧室 利 用 者	施設 観 察 者	生涯学習室 等利用者	講 座・ 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 利用者	バー・デジタル 資料・ビ ジネス	イベント 参加者	通信簿 ツア ー検	かいじあ む検								
17年度	143,415	114,412	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	282	151	0	28,570
18年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	1,100	70,402
19年度	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373
20年度	169,893	97,551	73,419	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,525	69,561
21年度	233,815	145,172	119,288	59,508	59,780	13,034	4,399	6,640	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	274	3,871	1,049	83,449
22年度	231,369	145,518	112,363	56,505	55,858	17,855	4,060	11,718	2,077	15,300	2,937	83	444	11,121	188	527	3,728	141	2,670	917	82,123
23年度	200,843	112,026	90,090	49,858	40,232	12,558	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	3,721	754	84,159
24年度	200,181	107,246	86,695	49,341	37,354	11,120	2,983	4,769	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	879	7,110	0	6,077	1,033	85,825
25年度	213,116	121,898	101,746	57,860	43,886	10,900	4,067	4,295	2,538	9,252	1,635	422	453	5,443	468	831	7,220	0	6,350	870	83,998
26年度	200,624	109,888	92,621	47,119	45,502	9,334	3,609	3,373	2,352	7,933	1,139	278	359	5,312	364	481	5,548	0	4,740	808	85,188
27年度	252,303	155,517	135,417	57,879	77,538	11,273	4,140	5,241	1,892	8,827	1,309	306	343	5,673	396	800	5,303	0	4,434	869	91,483
28年度	202,665	97,898	75,051	41,133	33,918	9,405	2,924	4,569	1,912	13,442	2,105	335	545	9,431	267	759	10,071	0	4,327	5,744	94,696
29年度	236,110	131,264	105,822	55,118	50,704	10,563	3,191	5,818	1,554	14,879	1,190	310	728	11,604	240	807	6,646	0	4,207	2,439	98,200
30年度	221,157	111,365	89,066	45,437	43,629	11,097	3,483	5,142	2,472	11,202	1,241	818	725	7,253	400	765	8,122	0	3,862	4,260	101,670
31・1年度	236,880	116,491	96,081	47,775	48,306	11,173	3,200	6,117	1,856	9,237	1,602	748	729	5,072	271	815	9,486	0	4,701	4,785	110,903
2年度	148,754	36,083	31,602	20,669	10,933	2,599	67	2,240	292	1,882	185	403	102	627	278	287	1,953	0	1,953	0	110,718
計	3,315,493	1,877,638	1,537,617	862,678	674,939	184,212	35,579	79,334	39,299	155,809	29,461	5,454	7,478	98,739	4,360	10,317	84,537	1,421	53,613	29,503	1,353,318

■令和２年度 県立博物館利用者状況（月別集計）

	総利用者	館内利用者（a + b + c）												館外利用者					ホームページ ベネジ 利用 者	
		展示利用者（a）			施設利用者（b）			館内事業・サービス利用者（c）						県民参画事業		ハブ博物館 ネットワー ク事業	博学連携 出前授業 受講者	収蔵品 ゆかり の地ツア－		
		常設展示 （発券数）	企画展示 （発券数）		資料閲覧室 利 用 者	施設 施 察 者	生涯学習室 等利用者	講座・ 講演会 利用者	特別閲覧・ 写真撮影等 利用者	イーベン ト参加者	通信簿 ツア－ 検	かいじあ む検								
4 月	8,144	36	0	0	0	0	0	36	0	32	4	0	0	0	0	0	0	8,108		
5 月	15,554	406	292	41	0	41	0	73	0	72	1	0	0	0	0	0	0	15,148		
6 月	10,457	1,017	874	94	0	94	0	49	0	48	1	0	0	0	0	0	0	9,440		
7 月	12,150	1,953	1,808	99	0	99	0	86	13	46	9	0	0	81	0	81	0	10,116		
8 月	11,616	2,308	2,007	194	0	182	12	107	0	24	3	80	0	0	0	0	0	9,308		
9 月	10,614	1,865	1,691	77	0	59	18	97	0	28	2	67	0	7	0	7	0	8,742		
10月	14,700	4,895	4,445	305	9	188	108	145	44	27	18	56	0	835	0	835	0	8,970		
11月	18,624	10,026	8,423	3,976	4,447	822	34	781	58	32	23	118	278	398	0	398	0	8,200		
12月	7,646	2,667	2,199	1,243	956	355	11	312	113	0	36	6	71	0	88	0	88	4,891		
1 月	8,308	1,077	850	139	3	120	16	88	0	14	6	68	0	129	0	129	0	7,102		
2 月	9,367	1,352	1,061	162	12	134	16	129	0	33	17	64	0	294	0	294	0	7,721		
3 月	21,574	8,481	7,952	3,675	4,277	311	12	256	43	218	83	20	12	103	0	121	0	12,972		
計	148,754	36,083	31,602	20,669	10,933	2,599	67	2,240	1,882	185	403	102	627	278	1,953	0	1,953	0	110,718	

第2章 調査・研究

令和2年度における県立博物館の調査・研究は、外部資金である日本学術振興会科学研究費助成事業（科研費）によるものとして前年度より2件が継続し（「包装紙などの実作的作例における浮世絵師の画業研究」〔若手研究B〕、「動物考古資料の食餌推定に基づく飼養化個体判別法の構築」〔若手研究B〕）、1件が新たに採択された（「地域に残る写真の保存・活用に関する調査研究」〔若手研究B〕）。

県費による調査・研究としては、総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」（～令和3年度）、共同調査・研究「近代以降の『甲斐絹』の生産やデザイン・技法に関する基礎的研究」（～令和3年度）、「富士川舟運に関する基礎的研究」（～令和4年度）を実施した。

各博物館職員がそれぞれの専門分野で行った個別調査・研究の成果については、『山梨県立博物館研究紀要』第15集のほか、関連する学術雑誌などで発表された。

（1）外部資金による調査・研究

①科学研究費補助金 若手研究B「包装紙等の実作的作例における浮世絵師の画業研究」

（課題番号 16K16738）

■調査・研究の目的

浮世絵版画というと、大判錦絵の美人画や役者絵、風景画が連想される傾向にあるが、実際のところ、現在の広告にあたる引札や、菓子袋、化粧品等の包装紙にまで、職人として浮世絵師は腕をふるっていた。しかしながら、現在の浮世絵研究は、大判錦絵研究を中心とする作品論に比重が置かれ、実用的な作例に関する研究は不十分である。よって本研究では、焦点があまり当てられてこなかった、包装紙等実用的な作例を分析することにより、浮世絵師が活動していた環境や、多面的な画業を提示することを目的とする。また、引札や千社札に特化し画を手掛けた絵師の存在など、現在はあまり顧みられなくなった職人らの姿も明らかにすることにより、出版業界の一端を示すことも目標とする。

■研究体制

研究代表者 松田美沙子（学芸員）

■活動記録

・収集データのまとめ、及び考察を行った。

■活動内容と成果

最終年度にあたる本年は、今まで収集したデータをまとめ、分析及び考察を行った上で、『山梨県立博物館研究紀要』第15集（令和3年3月31日刊行）にて、まとめにあたる論考を発表した。

②科学研究費助成基金助成金 若手研究「遺跡出土動物の生態学的・形態学的分析に基づく新たな動物利用文化史観の創出」

（課題番号19K13425）

■調査・研究の目的

本研究は、(a) 琉球列島で家畜の飼養が開始された地域と時代、(b) 飼料や給餌方法にみられる地域差、(c) 琉球列島内に家畜が伝播した経路、の3点を明らかにする。

このうち項目(a)は、野生種とされてきた出土資料の歯に残された微細な傷の立体形状を計測し、ヒトに飼養された個体の特徴がみられる資料を探索する。また項目(b)では、遺跡から出土した「ブタ」の歯の表面に残された磨耗痕を、現在の放牧個体と屋内飼育個体それぞれと比較し、各時代の動物飼育方法を明らかにする。さらに項目(c)では各遺跡から出土したイノシシ類の歯がもつ形態学的類似性と島間の交流を比較検討する。

■研究体制

研究代表者 山田英佑（学芸員）

■活動記録

・令和2年11月13日（金）、14日（土）

調査対象資料（ゾウ類化石）の選定および複製作成（神奈川県立生命の星・地球博物館）

■活動内容と成果

今年度は、これまでの研究によって確立された方法論を、他の分類群に応用するための、基礎的データを収集することに注力した。そのほか、これまでの成果を論文化することや、その査読過程で得られた新たな統計解析手法に関する知見の検討など、次年度以降の総括に向けた準備も並行して行った。

③科学研究費補助金 若手研究（B）「地域に残る写真の保存と活用に関する研究」

（課題番号 20K13256）

■調査・研究の目的

近年、博物館に古い写真の紙焼きやフィルムが持ち込まれる事例が増えている。21世紀に入りデジタルカメラが普及するまでは、フィルムは日用品として膨大な量が流通しており、現在でも多くの紙焼き写真やフィルムが一般家庭や各施設に残っていると考えられる。日用品であり、思い出を記録するもの、アート作品として扱われることが多い写真は、一般的に歴史資料としての認識は少なく、博物館に持ち込まれるものは、ほんの一部であると考えられる。歴史資料として価値のある写真はどれくらい残っているのだろうか。本研究では、地域に残る写真の保存・活用に関する基礎データの取得を目的として、一般家庭や施設に所在する山梨県の歴史・文化・風景に関する情報を含む写真の紙焼きやフィルムの①現状調査および②デジタル化を行い、③被写体情報の収集や④デジタルデータの活用方法の検討を行う。

■研究体制

研究代表者 西願麻以（学芸員）

■活動記録

・令和2年4月～（継続中）紙焼き写真およびフィルムの情報収集・調査・デジタル化

■活動内容と成果

本年度は、資料調査を中心に進め、5件の紙焼き写真やフィルムの調査をおこなった。事案件数は少ないが、紙焼き写真は比較的状态がよいものが多く、画像が残っているものがほとんどであった。また、個人宅に所蔵されていたフィルム（昭和30年代及び前後・県内カメラマン撮影・数千枚）は、全てのフィルムに撮影日と撮影対象の記録が残されており、山梨の歴史や日常が記録された貴重な資料であることを確認した。現在、デジタル化をすすめている。

（2）県費による調査・研究

①総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」

■調査・研究の目的

当館は平成20年より大韓民国・国立清州博物館との学術研究交流協定を締結しており、令和元年12月からは4期目3年間を迎えた。本研究では交流協定をより実りあるものとするために、当館学芸員の韓国への派遣と清州博物館研究員の招聘をおこなう。交流事業の目的は第一に各学芸員の調査研究テーマを新たな視点で進展させることである。第二に日韓両国の博物館資料の調査記録と展示手法に関する比較を通じて、双方の博物館活動を充実させることである。

■県立博物館担当職員

森原明廣（学芸課長）、海老沼真治（学芸員）ほか

■活動内容と成果

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度は韓国・国立清州博物館研究員の招聘及び県立博物館職員の派遣は実施しなかった。

②共同調査・研究「近代以降の『甲斐絹』の生産やデザイン・技法に関する基礎的研究」

■県立博物館担当職員

丸尾依子（学芸員）、西願麻以（学芸員）

■活動記録

令和2年度 甲斐絹に関する所蔵情報の調査

■活動内容と成果

「甲斐絹」についての基礎的な情報整理を行うため、令和元年度に引き続き、県内外における所蔵状況の調査を実施した。各所蔵先における実見調査を実施予定であったが、感染症拡大防止の観点から令和2年度の実施を断念した。実見調査は感染症の状況を考慮しつつ、令和3年度に実施していきたい。

③共同調査・研究「富士川舟運に関する基礎的研究」

■県立博物館担当職員

中野賢治（学芸員）

■活動記録

富士川舟運に関する所蔵情報、文献、先行研究の調査

■活動内容と成果

富士川舟運についての基礎的な情報整理を行うため、県内外における所蔵状況の確認や文献調査を実施した。今後、必要に応じて各所蔵先における実見調査を実施する予定である。

（３）個別調査・研究

①調査研究活動

年 月 日	内 容	担当職員
令和2年4月5日（日）	甲府市小瀬祭礼調査	丸尾 依子
令和2年4月18日（土）、 6月20日（土）、8月19日（水）、 10月3日（土）、12月19日（土）	十一屋野口家資料の調査	小畑 茂雄 海老沼真治 中野 賢治
令和2年6月21日（日）	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和2年6月25日（木）、 10月8日（木）	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治 松田美沙子
令和2年7月2日（木）	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和2年7月16日（木）	甲州市勝沼町個人宅 所蔵資料の調査	近藤 暁子 海老沼真治
令和2年7月17日（金）	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	丸尾 依子
令和2年8月3日（月）	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 海老沼真治 中野 賢治
令和2年8月3日（月）	市川三郷町個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治
令和2年8月28日（金）	韮崎市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和2年8月29日（土）	大福寺（中央市） 所蔵資料の調査	森原 明廣 近藤 暁子
令和2年8月29日（土）	甲州市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和2年8月30日（日）	一宮神社（上野原市） 所蔵資料の調査	近藤 暁子 中野 賢治
令和2年9月5日（土）	甲斐市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治
令和2年9月10日（木）	地藏院（笛吹市） 所蔵資料の調査	近藤 暁子

令和2年10月15日(木)	本遠寺(身延町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和2年10月16日(金)	真田宝物館(長野県) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和2年10月27日(火)	身延山宝物館(身延町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和2年10月30日(金)	大泉寺(甲府市)・常光寺(韮崎市) 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和2年11月6日(金)	本成寺(新潟県) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和2年11月6日(金)	一蓮寺(甲府市) 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和2年11月11日(水)	南アルプス市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 中野 賢治 西願 麻以
令和2年11月12日(木)	米沢市上杉博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和2年11月13日(金)	小峰城歴史館(福島県) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和2年11月13日(金)	東京国立博物館 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和2年11月16日(月)	北杜市商店 所蔵資料の調査	守屋 正彦 丸尾 依子 中野 健治 松田美沙子
令和2年11月16日(月)	甲州市塩山個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 海老沼真治
令和2年11月19日(木)	清水寺(山梨市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 丸尾 依子 中野 賢治
令和2年11月22日(日)	山梨市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 松田美沙子
令和2年11月24日(火)	身延山宝物館(身延町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和2年11月28日(土)	大福寺(中央市) 所蔵資料の調査	丸尾 依子 近藤 暁子
令和2年12月2日(水)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	中野 賢治 松田美沙子
令和2年12月9日(水)	鏡忍寺(千葉県) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和2年12月14日(月)	甲州市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 丸尾 依子 中野 賢治
令和2年12月21日(月)	東京大学史料編纂所・徳川記念財団(東京都) 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和2年12月23日(水)	中尾神社(笛吹市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 中野 賢治
令和2年12月23日(水)	本住寺・七尾美術館(石川県) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和2年12月29日(火)	身延山宝物館(身延町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年1月13・14日(水・木)	山梨県内祭礼調査	丸尾 依子
令和3年1月15日(金)	衛生環境研究所(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年1月29日(金)	甲州市個人宅 所蔵資料の調査	丸尾 依子
令和3年2月4日(木)	山梨市個人宅 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和3年2月15～18日(月～木)	恵林寺(甲州市) 所蔵資料の調査	近藤 暁子 西願 麻以
令和3年2月18日(木)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年2月19日(金)	美和神社(笛吹市) 所蔵資料の調査	海老沼真治 松田美沙子
令和3年2月25日(木)	衛生環境研究所(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年3月4日(木)	山梨中銀金融資料館(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年3月6日(土)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 西願 麻以
令和3年3月8日(月)	シャトー・メルシャンワイン資料館(甲州市)・浅川伯教・巧兄弟資料館(北杜市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年3月11日(木)	南アルプス市立美術館(南アルプス市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和3年3月18日(木)	諏訪神社(甲斐市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄 丸尾 依子
令和3年3月18・19日(木・金)	京都府京都文化博物館 所蔵資料の調査	中野 賢治

(4) 調査・研究成果の公表

①博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照

②博物館職員の調査・研究実績

■論文・調査報告など

氏 名	名 称	掲 載 誌 名	学会（発行者）	発行年月日
森原 明廣	江戸時代の古文書に再注目：コロナの時代とヨゲンノトリ	『博物館研究』第630号	日本博物館協会	令和2年10月25日
森原 明廣	新型コロナウイルスに負けない博物館を目指した—2020年を将来に活かすために—	『ミュゼ』Vol.126	(株)アム・プロモーション	令和2年12月25日
近藤 暁子	概説「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの～新指定文化財・収蔵品展」	山梨県立博物館開館15周年記念特別展『未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの～新指定文化財・収蔵品展』展示図録	山梨県立博物館	令和2年10月24日
小畑 茂雄	伝記資料からみる甲州財閥・若尾逸平像の再構築	『山梨県立博物館研究紀要』第15集	山梨県立博物館	令和3年3月31日
小畑 茂雄	災害・パンデミックに関する資料収集に向けて—新型コロナウイルス感染拡大と緊急事態に際して—	『山梨県立博物館研究紀要』第15集	山梨県立博物館	令和3年3月31日
丸尾 依子	天津司の舞（芸能解説）	国立劇場1月民俗芸能公演プログラム	国立劇場	令和3年1月 (公演中止)
丸尾 依子	《資料紹介》「相生天神」関係資料 ～神像と信仰を中心に～	『山梨県立博物館研究紀要』第15集	山梨県立博物館	令和3年3月31日
丸尾 依子	丹波山のお松引き	『山・鈴・屋台の祭り研究事典』	思文閣出版	令和3年3月 刊行予定
海老沼真治	信玄の信濃平定とその影響	山梨県立博物館開館15周年記念特別展『生誕500年 武田信玄の生涯』展示図録	山梨県立博物館	令和3年3月13日
中野 賢治 海老沼真治 小畑 茂雄 金子 誠司 亀井 大輔 小林 可奈 堀内 亨 宮澤富美恵 村松 菖蒲	《資料紹介》「寛政七年六月 会所日記」 (山梨県立博物館所蔵 十一屋野口家資料のうち)	『山梨県立博物館研究紀要』第15集	山梨県立博物館	令和3年3月31日
中野 賢治	甲斐国における安政のコレラ流行と「ヨゲンノトリ」	『山梨県立博物館研究紀要』第15集	山梨県立博物館	令和3年3月31日
松田美沙子	新型コロナウイルスと美術館・博物館	『浮世絵芸術』第181号	国際浮世絵学会	令和3年1月20日
松田美沙子	菓子袋の制作背景について—浮世絵師の作例を中心に—	『山梨県立博物館研究紀要』第15集	山梨県立博物館	令和3年3月31日
西願 麻以	山梨における文化財防災の取組 —博物館ネットワークの災害時マニュアルについて—	『山梨県立博物館研究紀要』第15集	山梨県立博物館	令和3年3月31日
山田 英佑	山梨県兄川産ナウマンゾウ化石のマイクロウェア解析	『山梨県立博物館研究紀要』第15集	山梨県立博物館	令和3年3月31日

■講演・シンポジウムなど

氏 名	名 称	シンポジウム名・学会名	場 所	開催年月日
近藤 暁子	相模川の源流 山梨の仏像	神奈川県立歴史博物館県博セミナー	神奈川県立歴史博物館	令和2年11月8日
小畑 茂雄	近代の甲府の視点	こうふ開府500年記念誌シンポジウム ～調査・執筆・編集から再認識した甲府の発展～	甲府市南公民館 大ホール	令和2年8月30日
小畑 茂雄	山梨の近代化と文化	山梨学講座	山梨英和大学	令和2年10月26日
小畑 茂雄	若尾逸平の鉄道事業	令和2年度第2回 山梨郷土研究会研究例会「若尾逸平生誕200年」	岡島ローヤル会館	令和2年12月5日
小畑 茂雄	山梨の宝物・甲州文庫と功刀亀内 ー「甲州文庫」県移管から70周年ー	山梨近代人物館教育普及講座	山梨県庁正庁	令和3年3月13日
丸尾 依子	山梨の養蚕信仰	世界遺産富士山講座第4回	山梨県立富士山世界遺産センター	令和3年1月16日
丸尾 依子	昇仙峡地域の民俗芸能	甲府市昇仙峡地域ガイドボランティア養成講座	甲府市役所	令和3年2月25日
丸尾 依子	山中共吉が見た明治の山梨	山梨近代人物館教育普及講座	山梨県庁正庁	令和3年3月7日
海老沼真治	武田信玄と織田信長	山梨学講座「武田家と織田信長」	山梨県生涯学習推進センター	令和2年7月22日
中野 賢治	安政のコレラ流行と「ヨゲンノトリ」	笛吹市市民講座	春日居あぐり情報ステーション	令和2年12月16日
中野 賢治	柳沢吉保とは？ 生い立ちに迫る	山梨学講座	山梨県生涯学習推進センター交流室	令和3年1月13日
中野 賢治	尼子家の「御一家再興」戦争と山中幸盛	島根歴史講座	松江テルサ	令和3年1月24日
中野 賢治	甲府藩とその時代	山梨学講座	山梨県生涯学習推進センター交流室	令和3年1月29日
中野 賢治	安政のコレラ流行と「ヨゲンノトリ」	甲府南公民館歴史講座	甲府南公民館	令和3年2月25日
西願 麻以	山梨における文化財防災の取り組み ー博物館ネットワークの災害時マニュアルについてー	文化財保存修復学会第42回大会	書面開催	令和2年7月
西願 麻以 ほか	山梨県の文化財ネットワーク構築について	歴史文化大学フォーラム 「資料ネット活動を取り巻くネットワーク構築」	オンライン開催	令和3年3月28日

■県立博物館館内研究会

報告者	内 容	開催年月日
中野 賢治	信玄堤と御幸祭ー近世・近代甲斐国における武田信玄顕彰ー	令和3年2月18日

③刊行物

名称	発行日	体裁
開館15周年記念特別展「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの ～新指定文化財・収蔵品展～」展示図録	令和2年10月24日	A4版、112頁
開館15周年記念特別展「生誕500年 武田信玄の生涯」展示図録	令和3年3月13日	A4変形版、154頁
シンボル展「強請祈願とやまなしの雨乞い」リーフレット	令和3年1月2日	A4版、4頁
『山梨県立博物館研究紀要』第15集	令和3年3月31日	A4版、96頁

第3章 資料の収集・保管・活用

(1) 資料収集の方針

①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ①絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ②衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従って収集を進めている。

②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、8名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

資料・情報委員会委員

氏 名	職 名	専門分野
新 井 勝 紘	元専修大学教授	近現代史
黒 田 基 樹	駿河台大学教授	中世史
小 島 孝 夫	成城大学教授	民俗学
鈴 木 卓 治	国立歴史民俗博物館教授	情報工学
鈴 木 麻里子	山梨県文化財審議委員	美術史
内 藤 正 人	慶應義塾大学教授	美術史
新 津 健	元山梨県埋蔵文化財センター所長	考古学
西 村 慎太郎	国文学研究資料館准教授	近世史

■令和2年度の資料情報委員会開催状況

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、委員会は2回とも書面評決で開催した。

- ・令和2年8月 第31回委員会を開催
3件の収集候補資料を審議した。
- ・令和3年2月 第32回委員会を開催
8件の収集候補資料を審議した。

(2) 資料の収集

令和2年度に収集した資料は、次表の通りである。

■購入

	資 料 名	特 徴	制作期	員数
1	さんごくだいいちやまのず 三国第一山之圖 歌川貞秀筆	歌川貞秀（玉蘭斎貞秀）の手による、大判錦絵縦3枚続の作品。山梨側からの富士登山の様子が表されており、当館所蔵の静岡側からの富士登拝を描いた「三国第一山之圖」（美-2015-000-000002）とは対になる作品である。	江戸時代 (19世紀)	3枚続1点
2	うきえふじすそのききがりのず 浮繪富士裾野牧狩之圖 歌川豊国筆	歌川豊国の手による、大判錦絵の作品。建久4年（1193）5月に、源頼朝が富士の裾野で行った巻狩りの様子が描かれている。中央奥に富士、右手奥に巻狩の様子を見る頼朝と、中央には大猪と格闘する仁田四郎忠常の姿が表されている。	江戸時代	1点
3	すいしょうさいくつにんぶしめっせんば 水晶採掘人夫出勤簿	水晶採掘作業員の出勤簿。1941～45年頃にかけて甲府市北部の向山鉱山において操業した明電舎のもの。昭和17年5月から10月にかけての作業員9名の勤務状況や、同年10月の事務所費の支出が書き付けられている。	昭和17年 (1942)	1冊

■寄贈

	資 料 名	特 徴	制作期	員数
1	こしみずけしりよう 興水家資料	巨摩郡長澤村（北杜市高根町長澤）に居住した興水家に伝わる近世～近現代の資料。近隣の浅川口留番所関係の資料が含まれる点が特徴のひとつ。	江戸時代～現代	約450点
2	こうふどうそじんさいまくえ 甲府道祖神祭幕絵 太閤記 羽柴秀吉佐久間盛政を狙ふ 模写屏風 西井正氣筆	日本画家であり、世界的な芳年コレクターである西井正氣氏による屏風。当館蔵の月岡芳年筆「甲府道祖神祭幕絵 太閤記 羽柴秀吉佐久間盛政を狙ふ」（美-2019-000-00001）を忠実に模写した屏風。なお、模写の方法は現状模写（絵の具の剥落等もそのまま再現する方法）が取られている。	昭和51年 (1976)	六曲一双
3	なかむらとよはるししゅうしゅうりよう 中村豊春氏収集資料	笛吹市在住の中村豊春氏が収集した資料。県内で蔵を取り潰す等の家が出た際に、その蔵のものを譲ってもらう形で収集した資料群で、山岡鉄舟の書などから成る。	江戸時代～近代	85点
4	しもあおのむらたなべけもんじょ 下粟生野村田邊家文書	下粟生野村（甲州市）で名主を務めた田邊家に伝わる江戸～明治時代頃の古文書、絵地図類。	江戸時代～明治時代	52点
5	いとがしげおししゅうしゅうもんじょ 糸賀茂男氏収集文書	日本中世史研究者の糸賀茂男氏（常磐大学名誉教授、土浦市博物館・上高津貝塚ふるさと歴史の広場館長）が収集した古文書のうち、甲斐国関係のもの。天正11年（1583）の徳川家朱印状写2通。	原本は天正11年 (1583)	2点

■寄託

	資 料 名	特 徴	制作期	員数
1	ろくじみょうごう 六字名号 木喰作	中央に「南無阿弥陀仏」と大書した書画。「明満仙人」の署名がある。「九十才」と明記されており、文化4年（1807）、晩年の頃の作と知られる。	文化4年 (1807)	1幅
2	しほんぼくしよせいくきよう 紙本墨書獬狗経 (山梨県指定文化財)	平安時代後期に法隆寺（奈良県）で書写された一切経約7000巻のうちの1巻。奥書から保安4年（1123）に僧智巖が書写し、林幸が交合を行ったことがわかる。	保安4年 (1123)	1巻
3	はちおうじしんきがんずえ 八王子権現図絵馬 (山梨県指定文化財)	神戸村（現甲斐市）の八王子権現社に懸けられていた絵馬。表面には八王子権現社を模式的に表現したものとみられる人物絵画が、裏面には奉納者の願文があり、中世の絵馬の残存例として貴重である。	慶長4年 (1599)	1面

（３）資料の整理・目録（データ）化

■歴史資料等の整理

収集した歴史資料等について、クリーニング、ナンバリング、目録作成（一覧表作成）、保管容器への収納、収蔵庫での保存を行っている。また、目録情報の総合情報システムへの登録・ホームページ上で公開を随時進めている。令和２年度は、職員による新規収集資料作業のほか、９月～３月の間、整理作業員を雇用し、既存資料の整理を行った。

■収蔵資料のマイクロ化・デジタル化

県立図書館から移管した資料のうち、利用頻度が高い「甲州文庫」については、利便性を高めるため、平成16～17年度事業、及び18～19年度事業により、マイクロフィルム化、デジタル画像の作成を行った。この事業により、「甲州文庫」のうち、古文書・図書類について、ほぼすべての資料のデジタル画像を公開している。（撮影点数：23,019点（510,518コマ））なお、デジタル画像は平成29年度のシステム更新に伴いTIFFデータからPDFデータへの変換作業を行った。

■図書資料の整理

収集した図書・雑誌類は、随時、職員により分類整理し、資料閲覧室及び書庫に排架している。目録情報は総合情報システムへ登録し公開している。令和２年３月31日現在の登録件数は51,108点となっている。

（４）資料の修復・管理

①資料の修復

■修復資料

- ・「富士山麓八海略絵図」、紙本木版淡彩、江戸時代（19世紀）、１幅 縦33.7cm 横50.7cm

■資料の重要性

- ・吉田口登山道から山頂までの登山ルートを絵画化したもの。

■修復者

- ・株式会社 修護 東京都台東区上野公園13-43 東京文化財研究所内（文化財修理室〈東文研修理室〉）

■修復の内容

- ・修復前の状況は、本紙の劣化が進み、折損やそれに伴う亀裂があり、絵の具の剥落等も確認され、全体的に汚れの付着、表装の破損、軸木の歪みが見られた。
- ・修理は解体のうえ、汚損の洗浄、絵の具の剥落止めなどを行い、本紙欠損部に補修紙を補填するなどした。さらに裏打ち紙を新調のうえ、折れ伏せを新たに施すなどして仕立て直しを行った。

■修復の状況



修理前全図



修理後全図

②資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

■温湿度管理

山梨県立博物館では文化財の収蔵・展示のため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間（8時～22時）、空調を行っている。これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、毛髪式自記記録計、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

■空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫、展示室の空調設備に設置し、外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いているほか、一部はLEDスポットライトを試験的に導入している。

また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なものは80ルクス以下、土器や金属器等は150ルクス程度の照明を行っている。

■生物被害管理

資料個別に対する燻蒸を適宜燻蒸庫で行った。

（５）資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民や博物館利用者の学習や調査研究等に活用するため、資料情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日から開始した古文書等の即日閲覧は、令和2年度に20件73点、事前申請による閲覧は、25件234点であった。

資料撮影は、展示図録への掲載、調査研究などの目的で21件213点、資料画像の提供は、書籍等への掲載、テレビ番組での使用など333件517点であった。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、4件24点の貸出を行った。

■令和2年度 歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴 史 資 料 等 即 日 閲 覧	件数	0件	0件	0件	0件	0件	0件	3件	5件	3件	1件	2件	6件	20件
	点数	0点	0点	0点	0点	0点	0点	7点	19点	5点	1点	22点	19点	73点
歴史資料等閲覧	件数	2件	2件	1件	1件	0件	1件	4件	5件	5件	0件	4件	0件	25件
	点数	5点	14点	108点	47点	0点	2点	9点	17点	10点	0点	22点	0点	234点
歴史資料等撮影	件数	2件	2件	1件	1件	0件	1件	3件	2件	5件	0件	4件	0件	21件
	点数	5点	14点	108点	47点	0点	2点	3点	2点	10点	0点	22点	0点	213点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	28件	68件	46件	35件	23件	25件	16件	20件	22件	13件	23件	14件	333件
	点数	54点	91点	58点	36点	33点	33点	24点	24点	40点	35点	36点	53点	517点
歴史資料等貸出	件数	0件	0件	0件	0件	1件	1件	1件	0件	1件	0件	0件	0件	4件
	点数	0点	0点	0点	0点	1点	3点	17点	0点	3点	0点	0点	0点	24点

注：新型コロナウイルス感染拡大防止対応のため令和元年2月28日から令和2年5月21日まで閉館し、資料閲覧室は令和2年9月30日まで閉室した。

第4章 展 示

(1) 常設展示

令和2年度の常設展示は、年間6回の展示替えを行ない、資料の保存に対応しながら、展示期間ごとにテーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容にするとともに、来館者の循環を促すよう図った。なお、新型コロナ感染拡大防止の観点から、令和2年2月28日（金）より5月21日（木）まで常設展示の観覧が中止となった。引き出し型展示ケースの使用を中止にするなど、接触感染対策も実施した上で、5月22日（金）より再開した。

■展示期間とテーマ

- ①令和2年2月19日（水）から令和2年4月20日（月）まで（2月28日（金）より常設展観覧中止）
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」
- ②令和2年4月22日（水）から令和2年6月15日（月）まで（5月22日（金）から常設展観覧再開）
展示テーマ「レキシ・トラベルtoかいじあむ」
- ③令和2年6月17日（水）から令和2年8月17日（月）まで
展示テーマ「富士は日本一の山」
- ④令和2年8月19日（水）から令和2年10月12日（月）まで
展示テーマ「ようこそ！かいじあむ動物ワールドへ」
- ⑤令和2年10月14日（水）から令和2年12月14日（月）まで
展示テーマ「やまなしの豊かな食文化」
- ⑥令和2年12月19日（水）から令和3年2月15日（月）まで
展示テーマ「年の初めはかいじあむ」
- ⑦令和3年2月17日（水）から令和3年4月19日（月）まで
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」

- ・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。
- ・所蔵者については、複製品は（ ）内に原資料所蔵者を記した。
- ・指定については、●は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。
- ・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行なっている。

【出品資料一覧】

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
自然の森の中で				
桂野遺跡渦巻文土器	縄文中期	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
原町田遺跡出土縄文土器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
縄文土器片、石器	縄文中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐の誕生				
甲斐国分寺瓦（鬼瓦）	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺瓦（軒丸瓦）	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分寺出土墨書土器	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」（複製）	奈良時代	山梨県立博物館（原資料 佐久市教育委員会）		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
寺本廃寺 瓦	白鳳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
天狗沢瓦窯跡 瓦	白鳳時代	甲斐市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①（複製）	奈良時代	山梨県立博物館（原資料 奈良文化財研究所）		①②③④⑤⑥⑦

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製)	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)	原資料 ●	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製)	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)	原資料 ●	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製)	天平宝字8年(764)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国印(推定復元)	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	天平宝字5年(761)	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
東畑遺跡金銅仏	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
続日本紀 巻二	明暦3年(1657)刊	山梨県立博物館		①
甲斐の黒駒				
大塚古墳出土横刎板銀留短甲(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 市川三郷町教育委員会)	○	①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 衝角付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 眉庇付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
御崎古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
狐塚古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
寺の前古墳出土鉄鏃	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
寺の前古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
寺の前三号墳出土柄頭	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
天神のこし古墳出土金環	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
天神のこし古墳出土大刀、鉄鏃	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
塩部遺跡 馬上頸飾	古墳時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
狐原遺跡 焼印	平安時代	上野原市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
通行証明木簡(複製)	奈良時代(8世紀)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
水に取り組む				
雨乞いの仏像	—	清水寺		①②③④⑤
釜無川氾濫の図(複製)	—	長遠寺		①②③④⑤⑥⑦
石尊祭の薬束	平成14年(2002)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
測量器(複製)	江戸時代	山梨県立博物館(原資料 個人)		①②③④⑤⑥⑦
武田家朱印状(桑原家資料)(複製)	天正3年(1575)	山梨県立博物館(原資料 個人)	○	①②③④⑤⑥⑦
宮沢中村遺跡網代護岸	鎌倉時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
御幸祭川除の石	平成15年(2003)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
木製人形(甲府市塩部遺跡出土)	平安時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
下条南割村周辺堤防絵図面(千野家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		①
武田家朱印状(保坂家文書)	天正5年(1577)	個人(寄託)	○	①
在方御普請仕形大概(甲州文庫)	宝暦4年(1754)	山梨県立博物館		①
雨乞鎮守 三石大明神 祭礼陀羅尼修行施入帳	文政3年(1820)	個人		①
駿遠州川々御普請絵図(平岡家文書)	文化12年(1815)	個人(寄託)		②
和歌・俳句等書上(斎藤家資料)	延享5年(1748)	山梨県立博物館		②
妙光院より雨乞祈祷に付書簡(五味家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		②
富士山麓絵図(甲州文庫)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		③
本栖湖水堀抜歎願書(甲州文庫)	明治2年(1869)	個人(寄託)		③
西八幡堤絵図(新海家文書)	江戸～明治時代 (19世紀)	山梨県立博物館		④
徳川家奉行連署状(三井家資料)	慶長6年(1601)	個人(寄託)	◇	④
普請目論見鑑	江戸時代	山梨県立博物館		④
四方津村四ヶ村組合牛雨乞に付諸入用控(甲州文庫)	天保10年(1839)	山梨県立博物館		④⑤
徳島堰龜地図(古文書雑輯)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑤⑥
甲州西部筋百々村徳島堰下畑成田御検地改帳	延宝9年(1681)	山梨県立博物館		⑤

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
穴山信君朱印状(森家文書)	天正8年(1580)	個人(寄託)		⑤
徳島兵左衛門二百遠忌曼荼羅本尊	明治17年(1884)	山梨県立博物館		⑥
武田家朱印状(保坂家文書)	天正9年(1581)	個人(寄託)	○	⑥
稲積地藏菩薩像(大木家文書)	寛政元年(1789)	山梨県立博物館		⑥⑦
上条地藏大菩薩略縁起	江戸時代	山梨県立博物館		⑥⑦
下条南割村堤防絵図(千野家文書)	弘化5年(1848)	山梨県立博物館		⑦
穴山信君判物(三井家資料)	天正8年(1580)	個人(寄託)	◇	⑦
戦国からのメッセージ				
筒粥神事の道具	平成17年(2005)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
妙法寺記(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
令和2年度筒粥占標(小室浅間神社)	令和2年(2020)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
令和3年度筒粥占標(小室浅間神社)	令和3年(2021)	山梨県立博物館		⑦
織田信長禁制(今沢家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		①
北条氏忠過所(洪江家文書)	天正10年(1582)か	山梨県立博物館		②
織田信長禁制(本庄家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		③
織田信長禁制	天正10年(1582)	山梨県立博物館		④
武田勝頼書状(5月23日、玄蕃頭宛て)	天正2年(1574)	個人(寄託)		⑤
上杉景勝判物(市河家文書)	室町～江戸時代	山梨県立博物館	○	⑥
武田家朱印状(甲州文庫)	元亀2年(1571)	個人(寄託)		⑦
山に生きる				
大鋸	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲州金(一分金 甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
杣・焼き鋳	明治以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
焼畑衣装(再現品)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
林業の道具を象った小正月のツクリモノ	現代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲斐叢記 前輯二	嘉永元年(1848)	山梨県立博物館		①
穴山信君判物(佐野家資料)	天正8年(1580)	個人(寄託)		①
徳川家朱印状(田辺家資料)	天正10年(1582)	山梨県立博物館	○	①
市川御役紙入札に付触書(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①
奈良田温泉道の記(市瀬家文書)	弘化4年(1847)	山梨県立博物館		②
湯治・奈良田入湯諸入用控(関本家文書)	慶応元・2年(1865-66)	山梨県立博物館		②
御用紙継立賄方取調帳(甲州文庫)	文久3年(1863)	山梨県立博物館		②
借屋人紙荷江戸送り出立書付(甲州文庫)	寛文8年(1668)	山梨県立博物館		②
富士山裾野入会場争論につき差上申済口証文之事(甲州文庫)	文政3年(1820)	山梨県立博物館		③
富士山深山買取樹種につき対談議定一札之事(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		③
富士山裾野入会場無断伐木につき差出申一札之事(甲州文庫)	慶応2年(1866)	山梨県立博物館		③
上郷富士山裾野入会出入一件御裁許状(渡邊家文書)	元文元年(1736)	山梨県立博物館		③
猪・鹿防ぎにつき差出シ申請負証文之事(甲州文庫)	安永9年(1780)	山梨県立博物館		④
差上申鉄炮証文之事(甲州文庫)	弘化3年(1846)	山梨県立博物館		④
横手山水晶試堀妨害に付吟味願(甲州文庫)	天保15年(1844)	山梨県立博物館		④
柴山并里焼畑寄帳(甲州文庫)	宝永7年(1710)	山梨県立博物館		④
下芦川村産物取調帳(太田家文書)	明治6年(1873)	山梨県立博物館		⑤
本栖村去申産物表(太田家文書)	明治6年(1873)	山梨県立博物館		⑤
横手山水晶試堀妨害に付吟味願(甲州文庫)	天保15年(1844)	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
柴山并里焼畑寄帳(甲州文庫)	宝永7年(1710)	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
参詣人永代船渡しに付補任状(甲州文庫)	正徳元年(1711)	山梨県立博物館		⑥
『裏見寒話 巻五』(甲州文庫)	宝暦2年(1752)	山梨県立博物館		⑥
新規紙漉稼難渋出入一件綴(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		⑦
山梨産紙沿革一斑(甲州文庫)	明治41年(1908)	山梨県立博物館		⑦
里にくらす				
馬ブラシ	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬草鞋	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
おかぶと(天狗)	明治時代か	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍馬帽	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草箱	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草包装紙	明治22年(1889)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草庖丁	昭和	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
千野村絵図(複製)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
おかぶと(信玄)	明治時代か	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
おかぶと(桃太郎)	明治時代か	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
日本歳時記	貞享5年(1688)	個人		①
大和耕作絵抄	大正4年(1915) 原本は元禄年間	個人		①
甲府買物独案内(甲州文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		①
鎌問屋差縫一件訴状并内済証文	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		①
押絵鎌(山梨県教育委員会収集資料)	明治～昭和時代	山梨県立博物館		①
初節句祝儀(市川家文書)	明治33年(1900)	山梨県立博物館		①
立雛(上野晴朗氏収集資料)	明治～昭和時代	山梨県立博物館		①
流し雛(上野晴朗氏収集資料)	現代	山梨県立博物館		①
秋葉三尺坊札(五味家文書)	明治33年(1900)	山梨県立博物館		②
秋葉神社火災防護御札(太田家文書)	明治33年(1900)	山梨県立博物館		②
秋葉山代参諸入用並見舞帳(太田家文書)	明治23年(1890)	山梨県立博物館		②
『風俗画報』第26号(頼生文庫)	明治24年(1891)	山梨県立博物館		②
金草鞋十二編身延山道中記(甲州文庫)	文政2年(1819)年	山梨県立博物館		②
韓国出土 陽物型木簡(複製)	538～567年	山梨県立博物館		②
野辺送りの式	明治16年(1883)	山梨県立博物館		②
山車と神輿写真	大正時代	山梨県立博物館		②
城下町の賑わい				
甲府御城付	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府城跡出土鯪瓦(復元品)	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府上水木樋	—	甲府市水道資料館		①②③④⑤⑥⑦
甲府城跡出土 輪宝	江戸時代(17世紀)	山梨県立考古博物館		①②③④⑥⑦
甲府城跡出土 桐紋瓦	豊臣政権期(16世紀)	山梨県立考古博物館		①②③④⑥⑦
甲府城跡出土 遼鷹羽紋瓦	豊臣政権期(16世紀)	山梨県立考古博物館		①②③④⑥⑦
甲府城跡出土 花菱紋瓦	江戸時代(18世紀)	山梨県立考古博物館		①②③④⑥⑦
「当国三社神幸由緒書」(坂名井家資料)	天明6年(1786)	個人(寄託)		①
「甲斐国二之宮神前由緒書」(坂名井家資料)	天保5年(1834)	個人(寄託)		①
「信玄公三百年遠忌化縁簿」(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		①
『絵本甲越軍記 三編』(甲州文庫)	文化8年(1811)	山梨県立博物館		①
『絵本信玄一代記』(甲州文庫)	寛政2年(1790)	山梨県立博物館		①
『甲越川中嶋軍記』(甲州文庫)	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館		①
御幸相延候覚書(坂名井家資料)	宝永元年(1704)	個人(寄託)		①
山宮祭礼での暴力事件詫びにつき差出シ申一札之事(古屋家文書)	明和3年(1766)	山梨県立博物館		①
酒酔いのうえ悪口乱妨詫びにつき差出申一札之事(渡邊家文書)	文久元年(1861)	山梨県立博物館		①
酒酔い不埒の儀詫びにつき差上申詫一札之事(甲州文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		①
信玄公二百五十年遠忌につき口上覚(甲州文庫)	文化15年(1818)	山梨県立博物館		①
万福寺・恵林寺内済につき差上申一札之事(甲州文庫)	明和7年(1770)	山梨県立博物館		①
『江戸名所図会』(大木家文書)	天保5～7年(1834～6)	山梨県立博物館		②
「箱根案内図」(大木家文書)	天保13年(1842)	山梨県立博物館		②
「信濃国善光寺畧絵図」(市瀬家文書)	明治時代(19世紀)	山梨県立博物館		②
歸府土産物配覚帳(甲州文庫)	安永8年(1779)	山梨県立博物館		②

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
正遷宮御祈祷並土産賦帳(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
江戸参上土産配覚并逗留中銭別(甲州文庫)	享和2年(1802)	山梨県立博物館		②
通り手形之事(甲州文庫)	文久4年(1864)	山梨県立博物館		②
病気の旅人の継送りにつき乍恐以書付奉願上候(甲州文庫)	安政2年(1855)	山梨県立博物館		②
病気の旅人継送りにつき依頼状写(甲州文庫)	安政2年(1855)	山梨県立博物館		②
旅日記(三沢家文書)	天保11年(1840)	山梨県立博物館		②
参宮日記帳(頼生文庫)	天保4年(1833)	山梨県立博物館		②
半年日記(古文書雑輯(2))	寛政5年(1793)	山梨県立博物館		②
『山王真形』	文政5年(1822)	山梨県立博物館		③
『滑稽富士詣 九』(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		③
『真写富士百図』(甲州文庫)	明治31年(1898)	山梨県立博物館		③
観世流謡本《富士太鼓》(甲州文庫)	貞享4年(1687)	山梨県立博物館		③
観世流謡本《小袖曾我》(長谷川家文書)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		③
観世流謡本《夜討曾我》(長谷川家文書)	明治41年(1908)	山梨県立博物館		③
「甲駿豆相採葉記并勢州採葉志」(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		③
『富士日記』(甲州文庫)	文政6年(1823)	山梨県立博物館		③
「富士之人穴之双紙」(頼生文庫)	文化7年(1810)	山梨県立博物館		③
「角行藤仏クウ記」(甲州文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		③
「食行尊師不尽道歌三十六首解」(甲州文庫)	明治3年(1870)	山梨県立博物館		③
「参行六王クウ御伝書」(甲州文庫)	万延2年(1861)	山梨県立博物館		③
『絵本三国妖婦伝 下編四』(長谷川家文書)	享和3年(1803)	山梨県立博物館		④
『釈迦御一代図絵 二』(長谷川家文書)	弘化2年(1845)	山梨県立博物館		④
『重刻 本草綱目 図巻下』(飯田文良氏旧蔵資料)	江戸時代	山梨県立博物館		④
甲城暦代記(甲州文庫)	文政11年(1828)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
甲府御城草苅請負帳(甲州文庫)	寛保3年(1743)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
御城内道具掛御用につき差出申一札之事(甲州文庫)	延享4年(1747)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
甲府城下諸色相場書(甲州文庫)	宝暦6年(1756)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
甲府御城下上下府中惣町草高人足書上帳(頼生文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
甲府上府中町々中連判定書(頼生文庫)	宝暦14年(1764)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
谷村御蔵開初詰替につき覚(甲州文庫)	寛延元年(1748)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
秋元氏御略系(甲州文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
系図書扣帳(甲州文庫)	文政5年(1822)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
甲州打栗進上につき白銀送付状(坂名井家資料)	江戸時代(18世紀)	山梨県立博物館		⑤
『さかなつくし』	明治44年(1911)	山梨県立博物館		⑤
『金草鞋十二編身延山道中之記』(甲州文庫)	文政2年(1819)	山梨県立博物館		⑤
甲府城内指置候武具覚	享保9年(1724)	山梨県立博物館		⑤
稲荷曲輪御櫓御蔵御道具員数帳	享保12年(1727)	山梨県立博物館		⑤
甲府御城付	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		⑤
『歌意考』(甲州文庫)	寛政8年(1796)	山梨県立博物館		⑥
(天文方高橋徳左衛門手附伊能勘解由測量御用に付触) or 測量御用伊能勘解由道順(渡邊家資料)	文化6年(1809)	山梨県立博物館		⑥
『日本外史』(長谷川家文書)	文政12年(1829)	山梨県立博物館		⑥
武田晴信信玄像模本(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		⑦
『川中島両将軍記』上・中・下(甲州文庫)	慶応2年(1866)	山梨県立博物館		⑦
『川中島烈戦記』(甲州文庫)	明治25年(1892)	山梨県立博物館		⑦
変貌する景観				
生糸(県繭糸検査事務所資料)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
写真絵はがき類 温泉(甲州文庫)	明治時代以降	山梨県立博物館		①
「京都甲府」絵はがき	昭和戦前期	個人		①
甲山峡水	明治39年(1906)	山梨県立博物館		①
甲府市を中心とする甲斐大観	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		①
信玄公祭り関係資料	昭和時代	個人		①

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
西山梨郡湯村鷺の湯谷の湯馬の湯沿革及現在の状況(廣瀬家資料)	明治時代	山梨県立博物館		①
山梨県北部で採集された水晶	近現代	個人		①②③
富士裾野めぐり 付富士川下り甲州御岳(甲州文庫)	大正14年(1925)	山梨県立博物館		②
頂上ひとりあんない(甲州文庫)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		②③
温泉取調書(若尾資料)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		③
海州滝温泉絵図と開業広告(甲州文庫)	明治17年(1884)	山梨県立博物館		③
西山梨郡湯村鷺の湯谷の湯馬の湯沿革及現在の状況(廣瀬家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		④
甲府太田町公園全図(頼生文庫)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		④
太田町公園絵葉書(上野晴朗氏収集資料(歴史資料))	年代不詳	山梨県立博物館		④
「並山日記 三」(甲州文庫)	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館		⑤
温泉取調書(若尾資料)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
甲斐廻手振(赤岡重樹旧蔵資料)	不明(原本成立は嘉永年間)	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
牛乳代領収証(大木家文書)	明治14年(1881)	山梨県立博物館		⑤
牛鍋・さしみ・酒代精算書(渡邊家文書)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
甲斐名所寿古六(甲州文庫) 【展示期間：12月16日～1月中旬 以後は複製】	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
甲斐名湯案内誌(甲州文庫)	明治28年(1895)	山梨県立博物館		⑥
甲山峡水(甲州文庫)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		⑥⑦
中央線電化記念写真帖(甲州文庫)	昭和6年(1931)	山梨県立博物館		⑥
写真絵はがき類 温泉(甲州文庫)	明治時代以降	山梨県立博物館		⑦
甲斐四郡村名尽(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		⑦
葡萄栽培法摘要(甲州文庫)	明治10年(1877)	山梨県立博物館		⑦
信仰の足跡				
愛染明王坐像(複製)	平安時代(12世紀)	山梨県立博物館(原資料 放光寺)	原資料 ●	①②③④⑤⑥⑦
役行者像(複製品)	平安～鎌倉時代 (12世紀)	山梨県立博物館(原資料 円楽寺)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
甲斐勝沼柏尾経塚出土経筒(複製)	康和5年(1103)	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)	原資料 ●	①②③④⑤⑥⑦
金峰山出土品(釘、古銭、鏡、薙鎌)	平安～明治時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①④
富士山百景狂歌集(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		①
聖観音菩薩立像	鎌倉時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
不二日記<富士日記写本>(甲州文庫)	文化11年(1814)	山梨県立博物館		②
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
隔搔録	文化13年(1816)	山梨県立博物館		③⑦
蔵王権現立像	平安時代(12世紀)	山梨県立博物館	○	③⑥
富士山牛玉	江戸時代(17世紀)	山梨県立博物館		④
富士山百景狂歌集(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		⑤
甲斐国金櫻神社御嶽山晩春之図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
七福神図 木食白道作	江戸時代(18～19世紀)	山梨県立博物館		⑥
韋駄天立像	南北朝時代	円光院(寄託)		⑦
甲斐を駆ける武士たち				
関東下知状(複製)	応長元年(1311)	山梨県立博物館(原資料 大善寺)	○	①②③④⑤⑥⑦
小桜韋威鎧 兜・大袖付(桶無鎧)復元品	平安・鎌倉時代	山梨県立博物館(原資料 菅田天神社)	原資料 ●	①②③④⑥
諏訪神号旗(複製)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館(原資料 恵林寺)	○	①②③④⑤⑥⑦
孫子の旗(複製)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館(原資料 恵林寺)	○	①②③④⑤⑥⑦
長寛勘文写本(複製)	江戸時代	山梨県立博物館(原資料 熊野神社)	原資料 ◇	①②③④⑤⑥⑦
銅製経筒および付属品(複製)	建久8年(1197)	山梨県立博物館(原資料 個人)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
武田晴信像(複製)	戦国時代	山梨県立博物館(原資料：持明院)		①

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
後三年合戦絵巻 上巻	寛政12年(1800)	山梨県立博物館 (公益財団法人山梨鈴木助成事業財団寄贈)		①
甲陽軍鑑 巻第十一之下	江戸時代	山梨県立博物館		①
武田晴信書状(5月16日付、千村右衛門尉・山村三郎次郎あて)	天文24年(1555)か	山梨県立博物館		①
後三年合戦絵巻 下巻	寛政12年(1800)	山梨県立博物館 (公益財団法人山梨鈴木助成事業財団寄贈)		②
武田勝頼感状(12月8日付、小野澤五郎兵衛尉あて)	天正9年(1581)	山梨県立博物館		②
吾妻鏡	寛永3年(1626)刊	山梨県立博物館		②
武田信玄出陣之図(甲州文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		③(6/17～7/17)
信州和田塩尻峠合戦図(甲州文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		③(7/18～8/17)
武田勝頼書状	天正8年(1580)	山梨県立博物館		③
曾我物語(大木家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		③
一蓮寺過去帳(複製)	室町～江戸時代	山梨県立博物館(原資料は一蓮寺蔵)	原資料 ○	③
真之丸馬出両袖之図(頼生文庫)	元文4年(1739)	山梨県立博物館		④
武田勝頼書状	天正2年(1574)	山梨県立博物館		④
小笠原流故実伝書	天和2年(1682)	山梨県立博物館		④
犬追物図説	延享4年(1747)	山梨県立博物館		④
祝いのお膳	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
征東將軍宮令旨(市河家文書)	正平20年(1365)	山梨県立博物館	○	⑤
足利義満御判御教書(市河家文書)	応永10年(1403)	山梨県立博物館	○	⑤
『甲陽軍鑑』巻十六「御献立之次第」	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
大般若経	室町時代・戦国時代 (14・16世紀)	南松院	○	⑥
武田勝頼判物(村松(定史)家資料)	天正8年(1580)	山梨県立博物館		⑥
小笠原流四季扶物之事	寛永3年(1626)	山梨県立博物館		⑥
『甲陽軍鑑』巻十六(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
源平合戦図屏風(右隻)	江戸時代(17世紀)	山梨県立博物館		⑦
武田信玄書状(8月20日付、原与左衛門尉あて)	戦国時代(16世紀)	山梨県立博物館		⑦
岩窪信玄公墓石写	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
川を彩る高瀬舟				
鰻沢河岸跡 ガラス瓶	明治～大正時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
足半草鞋	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
鰻沢河岸跡出土遺物	江戸～明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鰻沢河岸跡出土マクロ骨	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鰻沢河岸跡出土泥面子	明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
富士川舟運関係会社印鑑類	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
道がっなく出会い				
新巻常滑大甕	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
駒橋出土埋蔵銭	室町時代	個人		①②③④⑤⑥⑦
青磁碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
瀬戸・美濃灰釉更	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付皿	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
躰躰ヶ崎館跡出土陶磁器	室町時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
東原古瀬戸瓶	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
東原常滑大甕	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
木喰作 弘法大師像	寛政13年(1801)	山梨県立博物館		①②③④
三月節供雛人形(大木家資料)	昭和時代	山梨県立博物館		①⑦
おかぶと(信玄)(上野晴朗氏収集資料)	明治時代	山梨県立博物館		①
信玄公祭りのパンフレット	昭和戦後期	個人		①
信玄公祭りのポスター	昭和戦後期	山梨県立博物館		①
右左口人形、右左口人形(部分)	江戸時代以降	山梨県立博物館	○	③

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
富士大山登山餞別日下恵(大木家資料)	天保14年(1843)	山梨県立博物館		③
富士講行着(大木家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		③
富士山神札(大木家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		③
謡本「鶉飼」(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		④
石和鶉飼山遠妙寺略縁起(甲州文庫)	江戸～大正時代	山梨県立博物館		④
「甲斐之国鶉飼道場」摺物(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		④
宮脇村者共国府村鶉遣い打擲不当の始末一件済口証文(甲州文庫)	文化13年(1816)	山梨県立博物館		④
キの神神札	現代	山梨県立博物館		④
鎮目村山梨岡神社キ神来由記(甲州文庫)	慶応2年(1866)	山梨県立博物館		④
山梨郡山梨岡神社ご神体の図	大正12年(1923)	山梨県立博物館		④
鎮目村山梨岡神社キ神御影	享和2年(1802)	山梨県立博物館		④
峡中紀行(甲州文庫)	明治30年(1897) 原本は宝永3年(1706)	山梨県立博物館		④
不動明王像 木喰作	天明9年(1789)	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
大日本職業別明細図(甲州文庫)	昭和5年(1930)	山梨県立博物館		⑤
『甲州葡萄栽培法 上』(甲州文庫)	明治14年(1881)	山梨県立博物館		⑤
『風俗画報』第172号(甲州文庫)	明治31年(1898)	山梨県立博物館		⑤
アイスクリーム製造機	昭和時代初期	山梨県立博物館		⑤
ガラス製食器	昭和時代	山梨県立博物館		⑤
「甘味葡萄酒」木樽	大正～昭和時代初期か	山梨県立博物館		⑤
ワイングラス	江戸時代末期以降	山梨県立博物館		⑤
コーヒーマイル	明治時代以降	山梨県立博物館		⑤
コーヒーマップ	明治時代以降	山梨県立博物館		⑤
牛乳領収書	明治14・15年(1881・82)	山梨県立博物館		⑤
大皿	年代不詳	山梨県立博物館		⑤
四神	江戸時代か	山梨県立博物館		⑥
三月節供雛人形(大木家資料)	昭和時代	山梨県立博物館		⑦
江戸文化の往来				
浅利村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	①
桃源郷図 福田浩湖筆(大木家資料)	大正2年(1913)	山梨県立博物館		①(2/19～3/12)
春景山水図 十時梅屋筆(大木家資料)	寛政12年(1800)	山梨県立博物館		①(2/19～3/12)
雛図 源季俊筆(大木家資料)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		①(2/19～3/12)
桃花峯図 矢野橋村筆(大木家資料)	大正10年(1921)	山梨県立博物館		①(2/19～3/12)
富嶽三十六景 深川万年橋下 葛飾北斎筆	文政13～天保4年(1830～33)頃	山梨県立博物館		①(3/13～3/30)
富嶽三十六景 武陽佃島 葛飾北斎筆	文政13～天保4年(1830～33)頃	山梨県立博物館		①(3/13～3/30)
富嶽三十六景 東海道金谷ノ不二 葛飾北斎筆	文政13～天保4年(1830～33)頃	山梨県立博物館		①(3/13～3/30)
富嶽三十六景 東都浅草本願寺 葛飾北斎筆	文政13～天保4年(1830～33)頃	山梨県立博物館		①(3/13～3/30)
富嶽三十六景 江戸日本橋 葛飾北斎筆	文政13～天保4年(1830～33)頃	山梨県立博物館		①(4/1～4/13)
富嶽三十六景 隅田川関屋の里 葛飾北斎筆	文政13～天保4年(1830～33)頃	山梨県立博物館		①(4/1～4/13)
富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略図 葛飾北斎筆	文政13～天保4年(1830～33)頃	山梨県立博物館		①(4/1～4/13)
富嶽三十六景 本所立川 葛飾北斎筆	文政13～天保4年(1830～33)頃	山梨県立博物館		①(4/1～4/13)
隷書七絶詩屏風	江戸～明治時代	山梨県立博物館		②
奈良子村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	②
曾我物語 富士狩場十番切圖 歌川禎秀筆	元治元年(1864)	山梨県立博物館		③(6/17～7/17)
頼朝公富士之御狩ノ圖 歌川芳員筆	安政6年(1859)	山梨県立博物館		③(7/18～8/17)

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
三國第一山之圖 歌川貞秀筆	弘化4～嘉永5年 (1847～52)	山梨県立博物館		③(6/17～7/17)
富士山體內巡之圖 歌川貞秀筆	安政5年(1858)	山梨県立博物館		③(7/18～8/17)
富士山諸人参詣之図 二代歌川国輝筆	慶応元年(1865)	山梨県立博物館		③(6/17～7/17)
大日本富士山絶頂之図 歌川貞秀筆	安政4年(1857)	山梨県立博物館		③(7/18～8/17)
月百姿 武田信玄 月岡芳年筆	明治19年(1886)	山梨県立博物館		③(6/17～7/17)
新形三十六怪撰 仁田忠常洞中に奇異を見る図 月岡芳年筆	明治23年(1890)	山梨県立博物館		③(7/18～8/17)
富岳遠望図屏風	近代	山梨県立博物館		③
大倉村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	③
亀図額 中林竹溪筆 (大木家資料)	江戸時代後期	山梨県立博物館		④
茶入 銘 仁王 川上小白作 (大木家資料)	江戸時代中期～後期	山梨県立博物館		④
茶杓 銘 亀 川上小白作 (大木家資料)	安永2年(1773)	山梨県立博物館		④
茶杓 銘 鶴 川上小白作 (大木家資料)	安永9年(1780)	山梨県立博物館		④
『北斎漫画 初編』 葛飾北斎筆 (大木家資料)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		④
群鶴図 狩野米川筆 (大木家資料)	江戸時代中期	山梨県立博物館		④
淡彩美人之図 (菊嶋家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		④
内野村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	④
葡萄図 天龍道人筆 (甲州文庫)	寛政10年(1798)	山梨県立博物館		⑤
花果図(書・絵) 神波即山・望月雲莊筆 (大木家資料)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		⑤
蔬果図(書・絵) 重野安繹・野口小恵筆 (大木家資料)	明治29年(1896)	山梨県立博物館		⑤
山水図・なまず図 胡公寿・王治梅筆 (大木家資料)	近代	山梨県立博物館		⑤
青梅小禽図 村松雲外筆 (大木家資料)	近代	山梨県立博物館		⑤
桑久保村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	⑤
甲府道祖神祭幕絵 東都名所 洲崎汐干狩 二代歌川広重筆	元治元年(1864)	山梨県立博物館	○	⑥
奥山村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	⑥
山本勘助入道道鬼 歌川芳晴(春)筆	江戸時代	山梨県立博物館		⑦(2/17～3/15)
甲越武勇伝 大膳大夫晴信入道信玄・板垣駿河守信形・甘利左エ門尉晴吉・秋山伯耆守信近 歌川芳勝筆	弘化4～嘉永5年 (1847～52)	山梨県立博物館		⑦(2/17～3/15)
甲越武勇伝 穴山伊豆守信良・高坂弾正忠昌信・馬場美濃守信房・真田弾正忠幸隆入道一徳斎 歌川芳勝筆	弘化4～嘉永5年 (1847～52)	山梨県立博物館		⑦(2/17～3/15)
天正八年上州膳の城攻め 歌川芳虎筆	元治元年(1864)	山梨県立博物館		⑦(2/17～3/15)
永禄四年九月四日川中島ノ合戦 山本勘介入道討死ノ図 歌川国芳筆	弘化4～嘉永5年 (1847～52)	山梨県立博物館		⑦(2/17～3/15)
武田二十四将図 鳥居清信筆	江戸時代	山梨県立博物館		⑦(3/17～4/12)
甲越武勇伝 武田左馬助信繁・武田太郎義信・飯富兵部小輔虎昌・真田兵部之丞昌照 歌川芳勝筆	弘化4～嘉永5年 (1847～52)	山梨県立博物館		⑦(3/17～4/12)
甲越武勇伝 横田備中守昌時・内藤修理亮昌豊・土屋右衛門尉直村・浅利式部之丞信音 歌川芳勝筆	弘化4～嘉永5年 (1847～52)	山梨県立博物館		⑦(3/17～4/12)
甲越武勇伝 諸角豊後守信清・山本勘助晴幸入道道鬼斎・山縣三郎兵衛尉昌景・今福善九郎秀一 歌川芳勝筆	弘化4～嘉永5年 (1847～52)	山梨県立博物館		⑦(3/17～4/12)
信州川中島大合戦 朝霧ふかく立ちおほふの図 歌川芳虎筆	弘化4～嘉永5年 (1847～52)	山梨県立博物館		⑦(3/17～4/12)
忍草村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	⑦
転換期に向き合う				
『一ツとせいぶし甲斐の評ばん大小切』(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①
御用留(成田区有文書)	明治5年(1872)	成田区		①
大小切税法存続につき年恐い書付奉願上候(甲州文庫)	慶応3年(1867)	山梨県立博物館		①
大小切強願之儀開届取消の達(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		①
大小切制度据置方歎願書(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		①
『海外新話』(高室家資料)	嘉永2年(1849)	山梨県立博物館		②
『環海航路日記』上・下(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		②
『山梨県布達』海外旅券規則(甲州文庫)	明治11年(1878)	山梨県立博物館		②
日本帝国海外旅券	明治42年(1909)	山梨県立博物館		②
『不尽道別』(甲州文庫)	明治8年(1875)	山梨県立博物館		③
富士山内名所改名願書(佐野広乃関係文書)	明治8年(1875)	山梨県立博物館		③

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
『富士信導記』(古文書雑輯(2))	明治10年(1877)	山梨県立博物館		③
富士北口講社規約(甲州文庫)	明治12年(1879)	山梨県立博物館		③
『一即五成十化更始一』(甲州文庫)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		③
医学館設立につき願状(国府村辻家文書)	嘉永4年(1851)	山梨県立博物館		④
長尾義順上申書(有泉家文書)	明治2年(1869)	山梨県立博物館		④
山梨県病院規則(篠原家文書)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		④
天然痘予防規則(甲州文庫)	明治9年(1876)	山梨県立博物館		④
医術開業試験願(飯田文良氏旧蔵資料)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		④
『山梨県甲府各家商業便覧』(甲州文庫)	明治18年(1885)	山梨県立博物館		⑤
牛肉大勉強販売広告(太田家文書)	明治32年(1899)	山梨県立博物館		⑤
滋養分肉食規約(大木家資料)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		⑤
『日本・支那・西洋料理独案内』(大木家資料)	明治19年(1886)	山梨県立博物館		⑤
『増補日用西洋料理法』(大木家資料)	明治28年(1895)	山梨県立博物館		⑤
王政復古に際し諸触写(檜峰神社武藤家文書)	慶応3年(1867)	山梨県立博物館		⑥
幕末甲斐国統治条目(頼生文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑥
砲弾	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		⑥⑦
板垣退助写真(大木家文書)	近代	山梨県立博物館		⑥
御官軍御宿割控(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑥
『太政官日誌 第七』(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑦
『内外新報 第48号』(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑦
「柏尾戦争記」(甲州文庫)	明治時代(19世紀)	山梨県立博物館		⑦
巨富を動かす				
昭和時代のベンチ	昭和時代	個人		①②③④⑤⑥⑦
武田信玄公像ミニチュア	昭和時代	山梨県立博物館		①②
甲府市三十年史(甲州文庫)	大正7年(1918)	山梨県立博物館		①
勘左衛門宛武田神社奉建会評議員委嘱状及同会の趣意書(関本家文書)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		①
機山公社殿建設規則(甲州文庫)	明治14年(1881)	山梨県立博物館		①
甲府繁昌寿語呂久(甲州文庫)	明治35年(1902)	山梨県立博物館		①
武田神社写真帖(甲州文庫)	昭和13年(1938)	山梨県立博物館		①
武田神社奉建会趣意書(甲州文庫)	大正4年(1915)	山梨県立博物館		①
蒸気車往復繁栄之図(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		②
中央線停車場之図(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		②
甲信鉄道起業取調書(甲州文庫)	明治21年(1888)	山梨県立博物館		②
山梨鉄道起業意見書(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		②
中央東線鉄道線路概況(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		②
若尾逸平扇面	明治～大正時代	山梨県立博物館		③
甲斐甚鑑(大木家文書)	明治18年(1885)	山梨県立博物館		③
貴族院多額納税長者議員写真帖(甲州文庫)	明治23年(1890)	山梨県立博物館		③
甲斐国西部郷名尽(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		③
若尾逸平ミニチュア	明治～大正時代	山梨県立博物館		③④⑤⑥⑦
馬車広告(名取雅樹関係文書)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		④
馬車開業広告(大木家文書)	明治17年(1884)	山梨県立博物館		④
山梨馬車鉄道株式会社創業総会案内書(関本家文書)	明治30年(1897)	山梨県立博物館		④
鉄道馬車時間表(大木家文書)	明治33年(1900)	山梨県立博物館		④
都留馬車鉄道株式会社創立関係綴(甲州文庫)	明治31年(1898)	山梨県立博物館		④
甲州国産商家信用表彰鑑(甲州文庫)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		④
おもちゃ籠	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑤⑥
おもちゃ籠 補遺(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑤⑥
山梨県志編纂会趣旨他(大木家文書)	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑤
山梨県志資料目録第一輯(甲州文庫)	大正13年(1924)	山梨県立博物館		⑤
喜寿録(甲州文庫)	昭和6年(1931)	山梨県立博物館		⑤

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
甲州文庫関係記事集帖(甲州文庫)	昭和時代	山梨県立博物館		⑤
甲府繁昌寿語呂久(甲州文庫)	明治35年(1902)	山梨県立博物館		⑤
若尾家の年賀状(横浜若尾幾造から甲府若尾民造宛)(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑥
お年賀の御礼状(甲州文庫)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		⑥
新年会の招待状(甲州文庫)	大正5年(1916)	個人蔵		⑥
甲斐国西部郷名尽(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥⑦
小林一三著「練糸痕」(甲州文庫)	昭和9年(1934)	山梨県立博物館		⑦
練糸痕につき宮武外骨宛小林一三書簡(古文書雑輯(2))	昭和9年(1934)	山梨県立博物館		⑦
宮武外骨宛小林一三書簡(古文書雑輯(2))	昭和3年(1928)	山梨県立博物館		⑦
箕面電車回遊双六(パネル)	大正時代	原本：池田文庫蔵		⑦
小林一三の著書(『雅俗山莊漫筆 第二』、『私の行き方』、『蘭印をかく見たり』)	昭和7～16年 (1932～41)	山梨県立博物館		⑦
共生する社会【地方病とのたたかい】				
スチブナール	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病克服に向けて使用された実物道具類	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病予防溝渠プレート	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
死体解剖御願(写し)	明治30年(1897)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
俺は地方病博士だ	大正6年(1917)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
スチブナール(模造品)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病に関する手紙(飯田家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
共生する社会【明治40年の大水害】				
水害時に使用した舟	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
明治四十年八月山梨県下水害地巡視日記(古文書雑輯<2>)	明治40年(1907)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県水害史(甲州文庫)	大正2年(1913)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県水害団体移住写真	明治時代	北海道大学		①②③④⑤⑥⑦
北海道移住者調(若尾資料)	明治～大正時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
北海道移住民資料(若尾資料)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
共生する社会【山梨と戦争】				
E46集束焼夷弾(模型)	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警防団ヘルメット	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警防団ビューグル	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍靴	昭和16年(1941)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
米機の撒いたビラ(複製)	昭和20年(1945)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍靴	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
支那事変いろはがた	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府四十九連隊施設鬼瓦	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦

■拡大常設展示 かいいあむ+(ぷらす)

【会 期】 令和2年6月17日(水)～9月7日(月)

会期日数83日、展示日数72日

【主 催】 山梨県立博物館

【会 場】 企画展示室

【入場者数】 5,217人

【担 当】 学芸員 小畑茂雄、近藤暁子、丸尾依子、海老沼真治、中野賢治、松田美沙子、山田英佑

【概 要】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開館15周年記念特別展「浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼・驚異の筆—」をはじめ、シンボル展「生誕200年 若尾逸平」および開館15周年記念特別展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」を中止したが、常設展示室においてもタッチパネル端末や引き出し型展示ケースなど、利用者の接触を前提とした展示コーナーも休止している状況に鑑み、展示品の

間隔等に配慮したうえで、通常の常設展示でこれまで紹介されてこなかった館蔵品を中心に、企画展示室にて常設展示の拡大展示として開催した。

【中止した企画展・シンボル展】

■開館15周年記念特別展「浦上コレクション 北斎漫画―驚異の眼・驚異の筆―」

・会 期 令和2年3月14日（土）～5月11日（月）

■シンボル展「生誕200年 若尾逸平」(後に、令和3年度に延期することが決定)

・会 期 令和2年5月23日（土）～6月29日（月）

■開館15周年記念特別展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」(後に、令和3年度に延期することが決定)

・会 期 令和2年7月11日（土）～9月7日（月）

【新型コロナ対応等】

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、企画展示室の構成をゆったりとしたものとしたほか、スライディングウォール（可動壁）の配置は室内の空気循環を配慮したものとし、展示動線は利用者が接近しないように、常に進行方向の片側を鑑賞する流れとなるように配慮した。

急遽開催したため、展示図録やリーフレットを印刷して頒布することはなかったが、展示内容をPDFファイルのリーフレットにまとめて、QRコードで配付する試みを実施した。展示資料リストも同様の措置をおこない、接触感染リスクの低減に努めた。

展示内容としては、館蔵資料のなかでも、当館の展示テーマに合致しないなどの理由によって、未出品となっているものを数多く展示し、展示資料60点中（展示替えのため半期展示資料を含む）40点が初出しの資料となり、また山梨市市川地区のオコヤのように、15年前の開館企画展以来の展示となるものもあった。

展示内容も、「エア甲州道中旅行」のように、旅行もままならないコロナ禍に、歴史資料を通じて旅気分を味わってもらう趣旨のものや、天然痘やコレラなど、過去の感染症と向き合った人々の歴史資料や美術作品を展示するなど、現在の私たちの社会のなかでコロナ禍の博物館としてできることは何かをテーマとして、各分野の学芸員が工夫を凝らしたものとなった。

関連イベントについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催しなかった。



かいじあむ+（ぷらす）
リーフレットQRコード



かいじあむ+（ぷらす）
展示資料リストQRコード



展覧会ちらし（館内製作）

【出品資料一覧】

	初出	資料名	資料群名	所有	時代	指定	員数	解説	展示期間
導入展示									
1		ニホンオオカミ頭骨		当館蔵	江戸時代か		1	ニホンオオカミは、日本の本州、四国、九州に生息していたオオカミである。この資料は、県内の個人宅にて代々保管されていたもので、子供の夜泣きを鎮めるために使われていたという。保存状態は良好で、鼻を中心に皮、肉などの軟部組織が部分的に乾燥して残っている。このような例はきわめて珍しく、ニホンオオカミの来歴を分子生物学的に解明するうえでも重要な資料である。	
(1) いのちの歴史との対話―山梨県立博物館の自然史資料―									
2	初	フクロウ本剥製		個人蔵	現代		1	フクロウは、ユーラシア大陸北部に広く生息し、日本では九州から北海道にかけて分布する。その特徴的な風貌から、森の賢者や学問の神様、さらには「福」を招く縁起の良い鳥として愛されてきた。夜間に活動し、音をほとんど立てずに飛行できるため、人目に付くことは少ないが、里近くの森林にも生息している。この個体は令和元年(2019)12月に当館敷地内で収集された。	
3	初	リニア高川トンネル産出新第三紀化石		当館蔵	新第三紀 中新世後期	県	4	山梨県大月市初狩町から産出した、新第三紀中新世後期(約700万年前)のものと推定される化石群。トンネル内深部から産出されたため、地表面で発見された化石とは異なり、物理的・化学的な風化作用の影響をほとんど受けておらず、きわめて良好な保存状態をほこる。この化石群は、主に潮間帯に生息する軟体動物からなり、当時の古環境、古地理等を解明するうえでも重要である。	
(2) 文化のはじまり―館蔵考古関係資料から―									
4	初	宮ノ前(七日子)遺跡出土 深鉢形土器		当館蔵	縄文時代中期		2	宮ノ前(七日子)遺跡は山梨市七日市場の七日子神社付近に所在する遺跡で、戦後間もない昭和21～23年(1946～8)に、野沢昌康・上野晴朗・古屋善博氏ら郷土史研究者によって調査が行われ、県内でも初期の調査事例となった。遺物は縄文時代中期のものが中心で、土偶が多く出土しており、中には完形に近い状態で遺るものがある点も興味深い。	
	初	宮ノ前(七日子)遺跡出土 釣手土器		当館蔵	縄文時代中期		1		
	初	宮ノ前(七日子)遺跡出土 土偶		当館蔵	縄文時代中期		1		
5	初	立石遺跡出土 土偶		当館蔵	縄文時代中期		2		
6	初	加牟那塚古墳 埴輪片		当館蔵	古墳時代 6世紀		9	加牟那塚古墳(甲府市)は山梨における古墳時代後期の代表的な古墳で、石室は姥塚古墳(笛吹市)に次いで県内第2位の規模を誇る長大なものとして知られる。山梨県内では埴輪を持つ古墳は少なく、6世紀代の古墳では、現時点では加牟那塚を含む5例が知られる程度である。埴輪は円筒形のほか形象埴輪(武具などの器財、家形、人物など)があり、朱で着色されたものもある。	
7	初	東八代郡八代村奴白の古墳発見記録		当館蔵	明治22年 (1889)		1	明治時代における古墳発見の記録。八代村(笛吹市)で地元の人が「ズンクリ塚(団栗塚)」と呼ぶ古墳があり、道路工事のため古墳の土を掘ったところ、内部を朱で着色した石室が発見され、その中から人骨や鏡、剣などが見つかったという。	
8	初	八代郡岡村銚子塚出土大鏡拓本		当館蔵	江戸時代		1	明和年間(1764-72)に岡銚子塚古墳(笛吹市)から掘り出された銅鏡2点の拓本。他に剣や太刀、勾玉なども発見されたという。このうち右側の竊鏡(だりゅうきょう)は、甲斐銚子塚古墳(甲府市)でも出土しており、両古墳の関係が注目される。	
9	初	宮ノ前(七日子)遺跡出土 甲斐型土器 坏		当館蔵	平安時代 9世紀		6	甲斐型土器は現在の甲府市東部を中心に生産された土器で、甲斐国が主導して生産し、甲斐国内をはじめ近隣諸国に広く流通した。宮ノ前(七日子)遺跡のものは初期の発掘事例にあたり、近隣でほぼ同時期に発掘調査が行われた日下部遺跡からも多量の同型土器が出土し、甲斐国独自の形式をもつ土器として注目された。また両遺跡周辺は、古代山梨郡加美郷の中心地と推定されている。	
10	初	甲運村出土 甲斐型土器 皿		当館蔵	平安時代 9世紀		4	甲運村(甲府市横根町・桜井町・和戸町・川田町)で出土した甲斐型土器の皿。出土地の詳細は記録されていないが、同様の皿は大坪遺跡(甲府市横根町)で大量に出土している。大坪遺跡は甲斐型土器の生産拠点と考えられており、関連が注目される。	
11	初	長浜村室沢出土 「布カ」墨書土器		当館蔵	平安時代 10世紀		1	長浜村室沢(富士河口湖町長浜)で発見されたとの記録をもつ甲斐型土器片で、「布」とみられる墨書がある。河口湖周辺では滝沢遺跡や大石遺跡(ともに富士河口湖町)など、近年の発掘調査で甲斐型土器を多数出土する遺跡が確認されており、この土器もそれらと関連する可能性がある。	
(3) 山梨の宝 甲州文庫									
12		懷宝甲斐国絵図	甲州文庫	当館蔵	天保13年 (1842)		1	甲斐国全域を描いた地図。各村は当時の4郡(山梨・巨摩・八代・都留)ごとに色分けされ、赤い実線で道筋が示されている。道筋には関所や宿駅が記されているほか、古跡や温泉、寺社なども書き込まれており、当時の甲州を旅するうえでの必携地図と言えそうである。発行元は甲府八日町の藤屋(内藤)伝右衛門で、のちに「峡中新聞」を発行する伝右衛門の先代か。	
13	初	富突き鎌・木札	甲州文庫	当館蔵	江戸時代		1	富籤の抽選に使用された道具一式。富籤は現在の宝くじに相当するもので、寺社の普請(修理)資金調達などのためにおこなわれた。番号が記された富札が販売されて、抽籤日には番号を書いた木札を箱に入れ、これを鎌で突いて各種褒美金の当選を決めることから、「富突き」とも呼ばれた。	
14		甲州枡各種	甲州文庫	当館蔵	江戸時代		1	古くから甲州(山梨県)でのみ使用されてきた特殊な枡。一般的な京枡と比較して、甲州枡1升は京枡3升到相当する。甲州枡の一升枡は鉄判と呼ばれ、その4分の1の容積の端子、さらに2分の1の半、またさらに2分の1の小半があり、用途に応じて使用された。また、枡の内側と外側とに、職人による焼き印が押されているのも特徴である。	

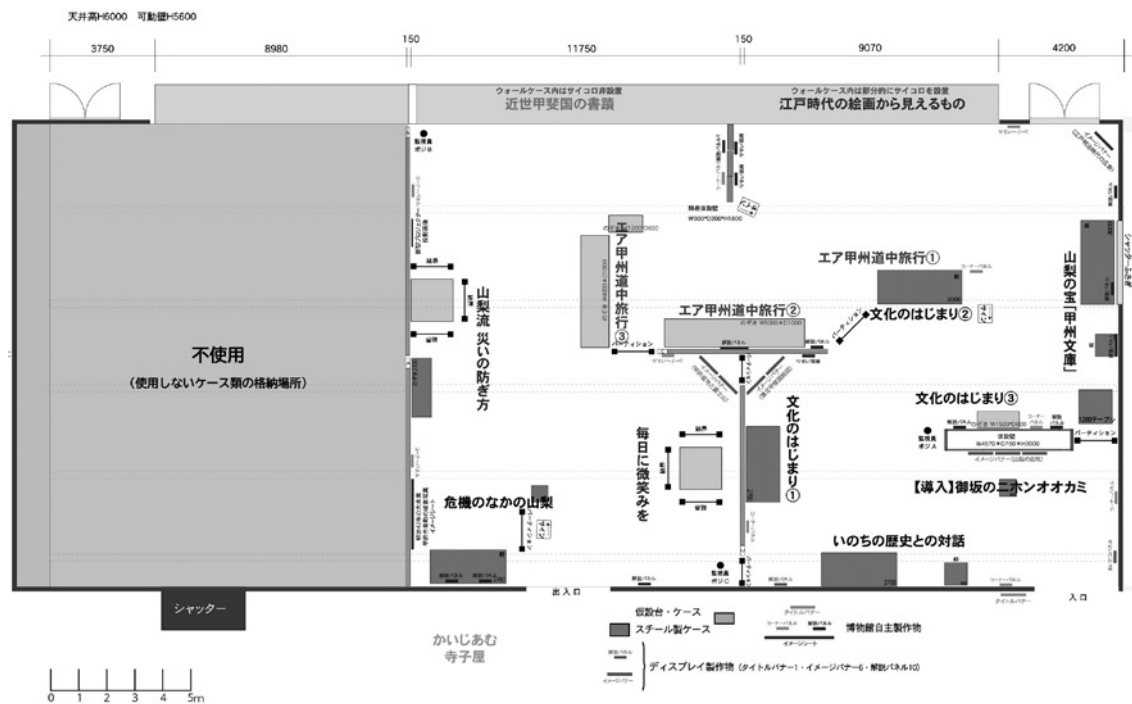
15		甲斐国水晶眼鏡	甲州文庫	当館蔵	明治13年 (1880)	1	山梨県産の水晶でレンズが作られた眼鏡。フレームは鼈甲か。山梨県内には大正時代ごろまでは、水晶を産出する山がいくつもあり、原料供給地であることから加工技術も発展し、現在の甲府市を中心とした宝飾研磨産業の礎となった。	
16		峡中広告集	甲州文庫	当館蔵	江戸～ 大正時代	1	19世紀(おおむね江戸時代後期から明治時代)の山梨県における広告類をスクラップしたもの。さまざまな広告から、その時代の生活ぶりや新たな文化や流行などがうかがえる。	
17		甲州文庫扁額	甲州文庫	当館蔵	昭和5年 (1930)	1	中村不折揮毫による扁額。裏面には「昭和五年七月刻」と彫られている。中村は「新宿 中村屋」や清酒「真澄」のロゴや、夏目漱石「吾輩は猫である」の挿絵画家としても知られている。甲州文庫主・功刀亀内による入手の経緯は不明だが、甲州文庫が功刀邸内にあった頃には、資料類がぎっしり詰まった棚にこの扁額が掲げられている写真が遺されている。	
18	初	功刀亀内肖像写真	甲州文庫	当館蔵	昭和時代か	1	甲州文庫の収集者である功刀亀内の肖像写真。40代にさしかかる昭和初期にすでにちよび髭スタイルとなっており、撮影年代は不明。功刀亀内については、このあとの「モダンボーイの古文書収集・甲州文庫主功刀亀内」のパネルをご参照ください。	
19	初	甲州文庫図書目録	甲州文庫	当館蔵	昭和18年 (1943)	1	時中に功刀亀内自らが作った目録と、昭和26年(1951)の県移管時の資料の現物との照合用に使用された目録。前者の巻末には、「甲州文庫」の印影数種類が記録されている。	
	初	甲州文庫図書目録	甲州文庫	当館蔵	昭和26年 (1951)	2		
20	初	甲州文庫関係記事集帖	甲州文庫	当館蔵	昭和時代	1	昭和初期から甲州文庫の県移管後にかけての、関係記事や写真、印刷物などのスクラップ帳。昭和18年(1943)の甲州文庫が東京から山梨へ疎開したことを報じる記事や、同24年の郷土歴史展の開催状況の写真、同32年の功刀逝去時の会葬礼状などが収録されている。	
21	初	甲州文庫移管関係綴	甲州文庫	当館蔵	昭和26年 (1951)	1	甲州文庫の県移管に関係する書類や電報、関連記事のスクラップ、写真類などを収めたもの。移管後の昭和26年11月1日から7日にかけて、県庁敷地内にあった当時の県立図書館内で開催された「甲州文庫特別展覧会」の目録(出品リスト)の現物も綴じられている。	
(4) 絵画からみえるもの—大木家伝来の襖と浮世絵に見る厄災—								
22		高林古翠図	大木家資料	当館蔵	明治5年 (1872)	4	水墨で大きな空間を表した山水図である。中丸精十郎最大の南画作品で、画中の款記には、南画家時代に号した「金峰」の名がみられる。精十郎の甲府時代の南画作品には綿布が多く用いられるが、本作も例外ではない。	
23		升太の広告集	甲州文庫	当館蔵	江戸時代～ 近代	1	国芳の痘瘡絵：甲府八日町の菓子屋、升屋太郎右衛門こと升太の広告や菓子袋などが貼り込められた貼り混ぜ帳。本資料は浮世絵師の歌川国芳が描いた菓子袋で、金太郎の行司のもと、相撲をとるうさぎとみずく達磨がみえている。朱色で摺られているのは、痘瘡除けの意味合いがあったからだと考えられる。朱摺りの痘瘡絵：甲府八日町の菓子屋、升屋太郎右衛門こと升太の広告や菓子袋などが貼り込められた貼り混ぜ帳。本資料は升太で使われていた菓子袋だが、全体が朱色で摺られ、痘瘡除けの見舞いのための菓子が入れていたことが推測される。	
24-1	初	妙医甲斐徳本麻疹之来記	甲州文庫	当館蔵	文久2年 (1862)	2	歌川芳藤の手による大判2枚続の錦絵。病は医薬にまかせよ、と祈祷がしきりに行われるのを戒めている。「薬用と手当を先にするがなる 富士とあがめる山もなにかは」と賛がかかっている。	前期 (7月27日まで)
24-2		御菓子袋	上野晴朗氏 収集資料 (歴史資料)	当館蔵	江戸時代末期	1	金太郎が描かれた菓子袋で、まわしをつけた金太郎が土俵に上がっている。金太郎の肌は赤く描かれることが多いが、これは痘瘡除けの意味合いがあるといわれている。	後期 (7月29日から)
25-1	初	麻疹送出シの図		当館蔵	文久2年 (1862)	1	麻疹神が手足に斑点をたくさんつけた大きな童子として描かれている。擬人化した水飴や汁粉など、麻疹時に食べると良いとされた食物によって竹の棒で担がれている。江戸の神送りを描いたものとしても貴重な絵である。 作者は歌川芳幾。	前期 (7月27日まで)
25-2	初	地震後野宿の圖		当館蔵	安政2年 (1855)以降	1	安政2年(1855)の22時頃、安政江戸地震とのに呼ばれる大きな地震が起こり、江戸では多くの家屋が倒壊し、たくさんの人々が亡くなった。本図は地震後の江戸の町民たちの様子を捉えた作品である。	後期 (7月29日から)
26-1	初	流行職人尽		当館蔵	安政2年 (1855)以降	2	安政2年(1855)に起こった安政江戸地震後、鯨絵など多くの風刺画が出回るが、本図もそのひとつ。大地震後、大工や左官など、建築関係の職人が好景気になったことから、それらの職人をまとめて番付にしたもの。	前期 (7月27日まで)
26-2	初	鯨の流しもの		当館蔵	安政2年 (1855)以降	1	恵比寿は神無月(10月)に出雲へ行く神々の代わりに留守番をしたことから、10月に起こった安政江戸地震関連の鯨絵にはたびたび登場する。本図は、留守居役の恵比寿に鯨がつかまり、地震をおさめる役目があった鹿島大明神のもとに連れていかれている図である。	後期 (7月29日から)
27-1	初	治る御代 ひやかし鯨		当館蔵	安政2年 (1855)以降	1	安政江戸地震後、11月4日には幕府は火事で焼け落ちた吉原に仮宅(仮の遊廓)の営業を認めている。本図は「瓢箪鯨」に題材を採ったもので、賑わう仮宅に鯨が現れたので禿と花魁に捕まり、瓢箪に似た形の鹿島の徳利で押さえつけられてしまった、という内容である。	前期 (7月27日まで)
27-2	初	鯨絵		当館蔵	安政2年 (1855)以降	1	安政江戸地震後、数多くだされた鯨絵のひとつ。鹿島大明神がいなくうちに地震を起こすことをもくろみ、大工に金をばらまく鯨や、地震によって職がなくなってしまう町民たちに懲らしめられる場面が描かれている。	後期 (7月29日から)
(5) エア甲州道中旅行								
28		甲州道中分間延絵図(写本)	竜王村文書 その他	当館蔵	江戸時代 (19世紀)	4 ※2点 ずつ 展示 替え	文化3年(1806)、江戸幕府の道中奉行所が実地測量に基づき製作した「五街道分間延絵図」のうち、甲斐国内の甲州道中分を正確に模写したもの。	

29	初	東海道・中山道行程早見表	甲州文庫	当館蔵	文政13年 (1830)	1	東海道と中山道的全宿場とその路程について、現在の運賃表のような形式で一目でわかるようにまとめたもの。版元は江戸鶴屋喜右衛門、甲州鰺沢の穀屋紋右衛門の連名となっており、甲州でも頒布されたものと思われる。インターネットで経路検索をするようになるまで、多くの人がこのような運賃・路程表と地図を見ながら旅行の計画を立てていた。	
30		甲州道中細見記	甲州文庫	当館蔵	安政5年 (1858)	1	甲州道中を江戸日本橋から甲府まで、甲府から先はそのまま甲州道中を進んで信州へ至る道と、駿州往還を通過して身延山、駿河へ至る道程の、宿場や路程、近隣の名所等を記したガイドブック。大きさは9×19cm程度とコンパクトで、旅行者が懐にいられて用いるポケットガイドのような形で利用されていたのだろう。	
31		諸国道中商人鑑	甲州文庫・ 上野晴朗氏 収集資料 (歴史資料)	当館蔵	文政10年 (1827)	3	甲州道中内藤新宿から甲府まで、甲府からは駿州往還を通過して身延山に至るまでの道程における、各宿場の旅籠や商店を紹介したガイドブック。これもコンパクトサイズで旅行時の携帯用に作られたものと考えられる。	
32		甲州街道	甲州文庫	当館蔵	天保7年 (1836)	2	甲州道中内藤新宿から甲府までの宿ごとの路程と馬や人足の料金を記したガイドブック。ほかに甲府から尾州宮(熱田宿)、大山路、富士道、須走～甲府の路程も紹介する。	
33	初	関所通行手形	甲州文庫	当館蔵	慶応4年 (1868)	1	下条西割村(韮崎市)の百姓輕兵衛が、大山の石尊権現(神奈川県)へ代参するために発行された通行手形。村名主が輕兵衛の身元を保証するとともに、諸国の関所・役人に通行の許可を依頼する形式をとる。	
34		先触状	甲州文庫	当館蔵	江戸時代	1	甲府勤番支配滝川利貞の配下で甲州道中の宿場に対して、甲府町年寄坂田氏が年始の挨拶を終えて江戸から甲府へ戻る際の移動に用いる人足・馬の数を事前に通知した文書。坂田氏は3泊4日の行程で、八王子・猿橋・勝沼に宿泊する予定となっている。	
35	初	台ヶ原宿絵図	甲州文庫	当館蔵	寛政8年 (1796)	1	台ヶ原宿(北杜市)の責任者である問屋・年寄が提出した宿場の絵図。簡素ながら、黒印地や本陣、高札場、橋などの公的施設が描かれており、宿場の基本的な構造がわかる。	
36		升屋の道中日記	甲州文庫	当館蔵	安政4年 (1857) 明治3年 (1870)	2	甲府八日町の菓子屋の店主、升屋に関わる旅の記録。行程や費用の内訳などを記している。江戸・東京への旅は商売が主目的ではあるが、その際にも名所見物や社寺参詣をしていたことがわかる。	
37	初	甲中遊記		当館蔵	江戸時代 19世紀	1	江戸から甲斐国までの旅程と、甲斐国内の様々な名所等を遊覧した際の絵入りの記録。一部に、本草学者宮江長伯が文化6年(1809)に甲斐を訪れた際の紀行文『官遊紀勝』と類似する描写がある。	
38		並山日記(写本)	若尾資料	当館蔵	嘉永3年 (1850)成立	1	江戸時代の国学者黒川春村が、甲斐国内に滞在した際に記した絵入りの旅日記。甲州道中を通過して甲斐に入って市川大門(市川三郷町)に滞在、鰺沢・身延山を経て東海道で江戸へ戻っている。国内の寺社や旧家を巡り、宝物や祭礼等を丹念に調べて記録している。	
(6) 近世甲斐国の書蹟								
39	初	八宮良純法親王色紙	甲州文庫	当館蔵	江戸時代 17世紀後半	1	八宮良純法親王(1604-69)が、漢詩と和歌を書き付けたもの。良純法親王は、後陽成天皇の第8皇子で、徳川家康の猶子でもあった。寛永20年(1643)、突如として甲斐国に配流され、湯村(甲府市)など国内を転々とした。万治2年(1659)には許されて帰洛し、寛文9年(1669)に67歳で亡くなった。漢詩は和漢朗詠集に収められた源順作のもの、和歌は伊勢物語から抜粋したもので、ともに松に例えて長寿を寿いでいる。	
40	初	加賀美光章書蹟	甲州文庫	当館蔵	江戸時代 18世紀後半	1	加賀美光章(1711-82)の書。光章は旗本の子として江戸小石川に生まれ、下小河原村(甲府市)の山王権現社(日吉神社)の神主の養子となった後、京都へ遊学し、神道や国学を修めた。甲斐に戻って環松亭という塾を開くと、甲斐国随一の碩学として、千人を超える門弟を集めたという。山県大弼もその弟子の一人であり、明和事件で大弼が処罰されると光章も連座して投獄されるが、まもなく赦免されている。本資料では「腹中の悪い気を吐き出し、清新の気を吸い込むと、たちどころに何もなところから物事がわかるようになる」という意味の文言を流麗な筆致で記している。	
41	初	志村天目書蹟	甲州文庫	当館蔵	江戸時代 18世紀後半	1	志村天目(1746-1817)の書。天目は八代郡末木村(笛吹市)の志村家に生まれ、加賀美光章に朱子学や神道を学んだ。江戸に出て手島堵庵に心学を学んだのち、石和代官の命により、郷里に戻って心学を講じた。書や篆刻、俳諧で知られている。本資料に書かれているのは、『文選』に収められた魏の曹植による「贈丁廌」という漢詩の一部で、「善行をなせば見返りとして必ず良いことがあり、栄えたり廃れたりとはたちまちに入れ替わる」という意味である。	
42	初	辻孔夷書蹟	甲州文庫	当館蔵	江戸時代 18世紀後半	1	辻孔夷(生没年不詳)の書。孔夷は甲府三日町の二文字屋三枝家に生まれ、八日町の麻屋奥村家に養子に入った。五味釜川や加賀美光章の門弟となり、儒学や国学を修めた。能書家として著名であり、また書物の収集家としても知られている。本資料では「堪忍」の2文字を篆書体で記しており、一画一画を微妙なバランスで配置することで、画面を成立させているあたりに孔夷の力量がうかがえる。	
43	初	小野通仙書蹟	甲州文庫	当館蔵	天保13年 (1842)	1	小野通仙(1804?-88)の書。通仙は浅尾新村(北杜市)の医者の子に生まれ、甲府勤番医の宇佐美通義・久甫に、その後伊豆の肥田春安の下で医術を学び、漢方と蘭方の折衷医術を身につけた。弟に画家の三枝雲岱、息子に医者の小野泉や英文学者の永峰秀樹がいることでも知られている。本資料では70歳を迎えた知人に対し、「與山石齊寿」、山や石などと同じくらい長く生きてほしい、という意味の五文字を力強く記している。	

44	初	松井煥斎書蹟	甲州文庫	当館蔵	江戸時代 19世紀半ば	1	松井煥斎(1806-54)の書。煥斎は江戸の旗本の家に次男として生まれ、若いころに甲斐国を訪れるとそのまま高室村(甲府市)に定住し、西花輪村(中央市)の時習館で教鞭をとった。その後西野村(南アルプス市)に松聲堂が開かれると初代教授となった。門人に広瀬元恭や小野泉などがいる。本資料では花が咲き、月が照らす夜の庵に、水は澄み、木は青々と遠くにみえ、琴の音色が響き、詩情にあふれるなかで、手すりにすがって酒を飲みながら歌を歌う、という隠者の理想の姿が詠まれている。
45	初	乙骨耐軒書蹟	甲州文庫	当館蔵	弘化2年 (1845)	1	乙骨耐軒(1806-59)の書。耐軒は江戸に生まれ、幕臣乙骨家の養子となり、昌平坂学問所で学んだのち、同所の助教を務めた。天保14年(1843)、徳典館が再編整備された際、友野霞舟とともに学頭に就任し、甲府に赴任した。その後江戸に戻り、天守番などを務めたのち、54歳で亡くなった。本資料は耐軒が数えて40歳のときの作であり、春の月夜に望楼から周囲を見渡した風景を詠んでいる。署名の「住城」は江戸のこと、「王白石」は耐軒の別号碧礎の「碧」の字を分解したもの。
46	初	浅野長祚書蹟	甲州文庫	当館蔵	文久元年 (1861)	1	浅野長祚(1816-80)の書。長祚は上級旗本の家に生まれ、書を杉浦西涯らに学んだ。詩文をよくし、書画の鑑定家としても著名であった。天保13年(1842)に甲府勤番支配に就任し、翌年には徳典館の再編整備を行って、乙骨耐軒らを教授として招いた。江戸に戻ってからは浦賀奉行、京都町奉行、江戸北町奉行などを歴任したのち、慶応3年(1867)に隠居した。本資料は元の趙孟頫の「天冠山題詠詩」のうち「雷公岩」という漢詩の一部で、激しい雷雨の情景を詠んだもの。
(7) 山梨流 災いの防ぎ方							
47		山梨市市川地区のオコヤ		当館蔵	平成17年 (2005)製作	1	市川地区では小正月の道祖神祭りの時、集落内の道の分岐点にオコヤ(お小屋)を立てている。市川には、道祖神と厄神の伝承がある。それによれば、道祖神祭りの前に厄神がオコヤの前を通りかかる。道祖神は正面の窓から手を出して厄神を捕まえ、そのまま閉じ込め、ドンドンヤキの火と一緒に焼いてしまうのだという。
48		道祖神祭礼再開願		当館蔵	天保11年 (1840)	1	若者たちが道祖神祭りを華美におこなったことから、7年間にわたり道祖神祭りの実施を禁止されていた馬場組が、祭りの再開を願い出たものである。道祖神祭りが多くの村でおこなわれていたことや、祭りの中断が災いを招くと考えられていたことがわかる。道祖神は村を守るだけではなく、祀らない者に災厄をもたらすという荒ぶる神の側面も持ち合わせている。
(8) 危機のなかの山梨							
49		甲府大地震之記	甲州文庫	当館蔵	安政元年 (1854)	1	嘉永7年(1854)11月4日・5日(27日に安政に改元)に立て続けに発生した安政東海・南海地震の際の、甲府をはじめとした甲州各地の被災状況の記録。続く余震や多数の倒壊家屋、お湯や水、泥水の湧出、「ゆり込み」と呼ばれる地盤沈下など、さまざまな被害が記録されており、今後南海トラフ巨大地震が発災した場合の本県の災害の方向性を見ることができる。
50	初	歳云録	若尾資料	当館蔵	大正6年 (1917)写	1	江戸時代の見聞録として、甲州における安政東海・南海地震の被災状況を記しているほか、それ以前の元禄・宝永・天明の地震についても、被害に関する伝承が記録されている。資料標題には「抄」と付けられており、若尾家による県志編纂事業でおこなわれた資料調査で作成された部分的な写しと思われる。
51		26号台風災害記録アルバム		当館蔵	昭和41年 (1966)	1	山梨県に戦後最大の被害者(全県下で死者・行方不明者が昭和34年の台風7号の90名を大きく上回る175名に達した)をもたらした、昭和41年9月の台風26号による被災状況を撮影したアルバム。来年で災害後50年を迎えるが、集中豪雨が増加している今日であればこそ、災害の実態を振り返るべきときではないだろうか。
52	初	疫病除守札	甲州文庫	当館蔵	江戸時代	1	安政5年(1858)のコレラや天然痘など、流行病感染拡大期に多く出回った守り札。多くの民間療法的な予防法がみられたように、原因が定かではない病に対して、人々は薬をすすがら思いで守護を求めたのではない。
53	初	此節流行病救法	甲州文庫	当館蔵	安政5年 (1858)	1	安政5年のコレラ流行時に流布した予防・対処方法を記したもの。内容はカランしうどん粉を練ったものを貼るとか、へその両脇にお灸を据えとか、現在から考えれば非科学的なものばかりだが、これらの民間療法的なものとは全国的にみられ、多くの人々が原因の分からない流行病の脅威に対して、切実な対応をしていたことがうかがえる。
54	初	政府配付の布製マスク		個人蔵	令和2年 (2020)	1	令和2年(2020)の新型コロナウイルスの感染拡大のなかで、政府から全戸配付がおこなわれている布製マスク。マスクの流通量不足に対応するため、洗って再使用が可能な布製マスクを、1住所あたり2枚を配付することが同年4月に決定した。
55	初	死体解剖御願		寄託資料 (個人蔵)	明治30年 (1897)	1	明治時代の日本住血吸虫症(地方病)患者の献体願い。西山梨郡清田村(甲府市)の女性が、原因が解明されていなかった同症の原因特定のため、自らの死後の病理解剖を願い出たもの。彼女の遺志もあり、原因である日本住血吸虫は明治37年(1904)に発見されるが、甲府盆地一帯に蔓延したこの疾病の流行終息が宣言されたのは、平成8年(1996)2月のことである。
(9) 毎日に微笑みを							
56		観音菩薩立像		寄託資料 (安楽寺蔵)	平安時代	市 (笛吹市)	1 サクラの一枚から彫出された一木造の観音菩薩像。観音は衆生を救済し、現世利益を叶えるものとして古くから盛んに信仰された。像を伝える安楽寺は、笛吹市石和町下平井にあり、国衙推定地にほど近い場所にある。本像の制作背景などは不明だが、当時の甲斐国の文化の中心に根付いた信仰を反映しているのかもしれない。



展示風景



展示平面図

(2) 企画展・シンボル展

■開催企画展・シンボル展一覧

		展 覧 会 名	会 期
①特別展	i	浦上コレクション 北斎漫画―驚異の眼・驚異の筆―	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
	ii	特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和3年度に延期
	iii	未来へ伝えたい 甲斐の国のたらかもの ～新指定文化財・収蔵品展～	令和2年10月24日（土）から12月7日（月）まで
		生誕500年 武田信玄の生涯	令和3年3月13日（土）から5月10日（月）まで
②シンボル展	i	生誕200年 若尾逸平	※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和3年度に延期
	ii	強請祈願とやまなしの雨乞い	令和3年1月2日（土）から2月23日（火・祝）まで

令和3年3月13日（土）から5月10日（月）まで実施した「生誕500年 武田信玄の生涯」については、令和3年度年報にて詳述する。また、令和3年度への延期が決定した「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」、及び「生誕200年 若尾逸平」も令和3年度年報にて詳述する。

①特別展

i 浦上コレクション 北斎漫画―驚異の眼・驚異の筆―

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から一般公開中止

【主 催】 山梨県立博物館、U T Yテレビ山梨

【監 修】 浦上満（浦上蒼穹堂代表）

【企画協力】 山形美術館、株式会社アートワン

【協 賛】 山梨トヨタ・山梨トヨペット・トヨタカローラ山梨・ネットヨタ甲斐、印傳屋

【後 援】 朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【協 力】 山梨交通株式会社

【会 場】 企画展示室

【担 当】 学芸員 中野賢治、西願麻以

【概 要】

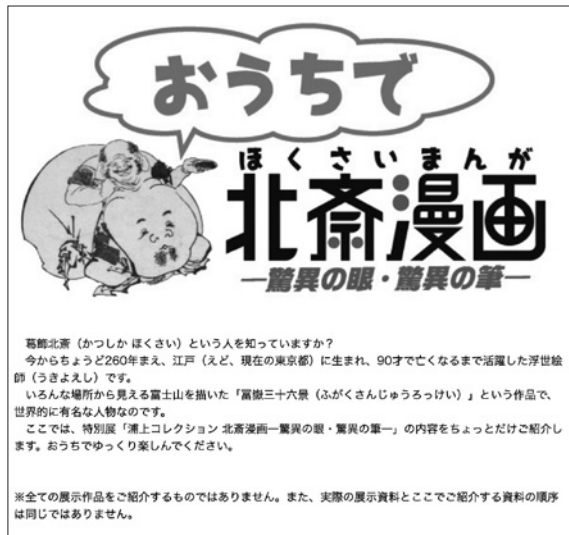
世界的に有名な浮世絵師葛飾北斎（1760-1849）。彼が残した名作のなかでも、「富嶽三十六景」と並ぶ代表作として知られるのが『北斎漫画』である。弟子たちの絵手本として描かれ、1814年（文化11）に初版が刊行されると、庶民に絶大な人気を博して版を重ね、北斎没後の1878年（明治11）まで刊行が続けられた。洒脱な筆遣いとダイナミックな構図、人々の特徴や一瞬の動きをとらえたユーモラスな描写は、「画狂老人」と称して90歳まで絵を描き続けた北斎の驚異的な画力・眼力を雄弁に物語っている。本展では、世界一の質と量を誇る浦上満氏のコレクションから、よりすぐりの約200点を紹介する。

【中止の経緯】

令和2年2月21日（金） 新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、当館で開催予定であった講演会・講座・体験イベントの当面の間の延期・中止を公表。

2月27日（木） 常設展の観覧、資料閲覧等の業務を3月20日（金・祝）まで休止。これにと

もない、特別展「浦上コレクション 北斎漫画—驚異の眼・驚異の筆—」展（以下「北斎漫画」展）の一般公開の開始日を3月14日（土）から21日（土）に順延。
3月19日（木） 常設展の観覧、資料閲覧等の業務休止期間を延長。「北斎漫画」展の一般公開も当面の間延期。これをうけて、ホームページ上で「北斎漫画」展の展示資料や展示風景を紹介する「おうちで北斎漫画」を公開。以降、数回に分けて更新。



エントランスゲートの入口をクリック（タップ）して、展示室（てんじしつ）の中に入ってみよう！

「おうちで北斎漫画」スクリーンショット

4月8日（水） 5月末日までの臨時休館および「北斎漫画」展の一般公開中止を発表。
4月30日（木） UTYテレビ山梨の協力により、オンラインツアー「北斎漫画 驚異の眼・驚異の筆」をYoutubeに公開。
5月12日（火） 当初予定の会期終了のため、展示を撤収し資料を返却。

【その他】

テレビCM「北斎漫画 3月14日から開催 にらめっこ篇」（ユーティーワイ企画、神山健）が山梨広告協会主催第49回山梨広告賞電波広告の部テレビ15秒部門協会賞（最優秀賞）を受賞した。

【関連イベント】※全て中止。

- ・講演会「世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』」
講師：浦上満氏（浦上蒼穹堂代表・本展監修者）
日時：3月14日（土）13:30～15:00 会場：生涯学習室
- ・民俗芸能公演 黒平の能三番
出演：上黒平の能三番保存会
日時：3月22日（日）11:00～12:00 会場：エントランスロビー特設ステージ
- ・講演会「北斎の全画業—版画・版本、そして絵画の名品で辿る」
講師：内藤正人氏（慶應義塾大学教授）
日時：4月26日（日）13:30～15:00 会場：生涯学習室
- ・かいじあむ子ども工房
「立体浮世絵をつくろう」
日時：3月14日（土）10:30～15:00 場所：エントランスロビー
「浮世絵を刷ってみよう」
日時：4月11日（土）10:30～15:00 場所：エントランスロビー



展覧会ちらし

「キミだけの北斎～北斎漫画に色をぬってみよう～」

日時：5月9日（土）10:30～15:00 場所：エントランスロビー

・ギャラリートーク

日時：3月15日（日）、29日（日）、4月4日（土）、
18日（土）、5月2日（土）、3日（日）、
6日（水・祝）、10日（日）
各日15:00から40分程度

場所：企画展示室



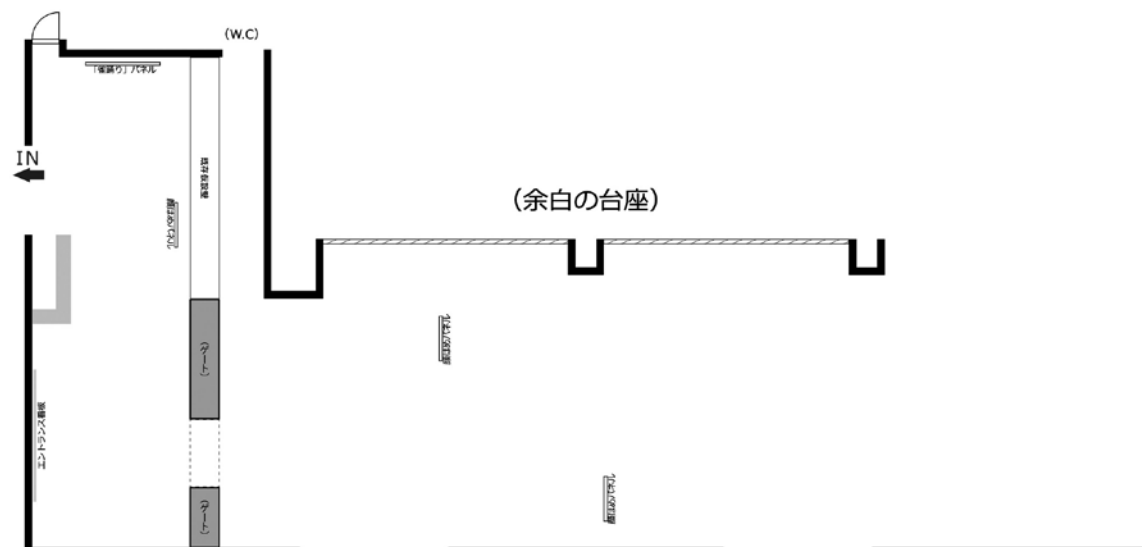
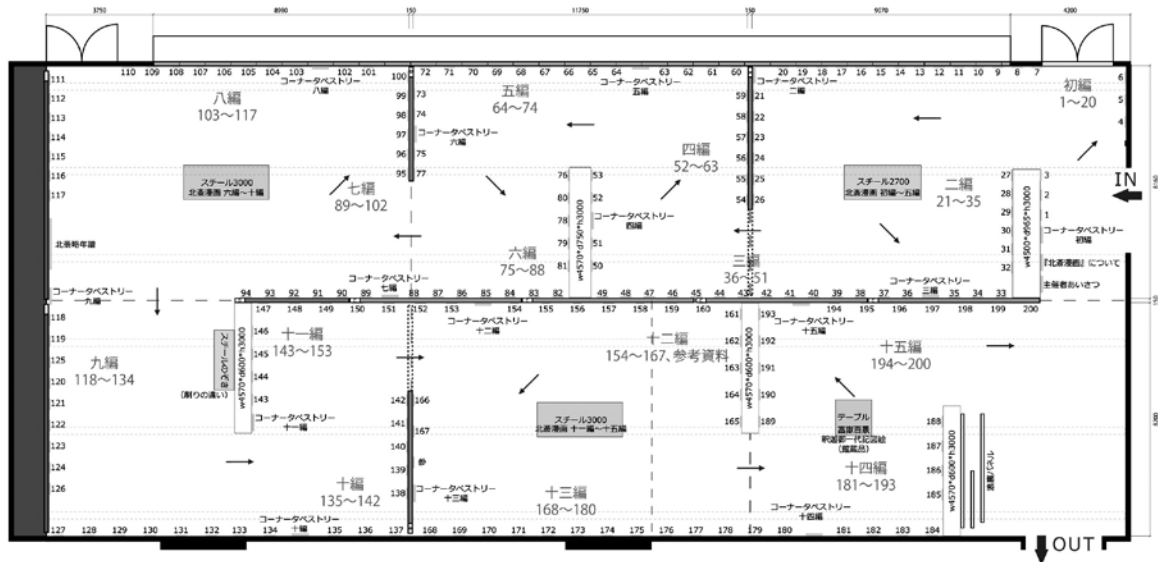
展示風景

・ギャラリースession「今さら聞けない！？『北斎漫画』のヒミツ」

日時：3月28日（土）、4月30日（火、国民の休日） 各日15:00から60分程度

場所：企画展示室

【展示平面図】



【出品資料一覧】

初編	
1	お坊さん
2	海の暮らし
3	仕事様々
4	人物百態Ⅰ
5	人物百態Ⅱ
6	人物百態Ⅲ
7	人物百態Ⅳ
8	人物百態Ⅴ
9	人物百態Ⅵ
10	人物百態Ⅶ
11	雨降り
12	動物たち
13	鳥たち
14	昆虫・蛙ほか
15	昆虫・蛇ほか
16	野の草花
17	魚・鳥賊ほか
18	魚介類・亀
19	山のいろいろ
20	水の流れ
二編	
21	水車
22	お正月Ⅰ
23	お正月Ⅱ
24	お面のいろいろⅠ
25	お面のいろいろⅡ
26	岩のかたちⅠ
27	岩のかたちⅡ
28	海景二題
29	菊の花
30	金魚・メダカほか
31	アンコウ・鯉ほか
32	鯨・鯰ほか
33	寄せる波・引く波
34	ムササビ・蝙蝠ほか
35	夢を食う猯
三編	
36	村の仕事
37	相撲四十八手
38	雀踊り
39	三ツわりの法と崑崙坊Ⅰ
40	三ツわりの法と崑崙坊Ⅱ
41	略画の手本
42	雷神
43	風神
44	天狗・ヒヒ
45	幽霊と山姥
46	船鬼
47	人魚・河童ほか

48	紋様尽しⅠ
49	紋様尽しⅡ
50	鷹・鷺ほか
51	鬼の塊り
四編	
52	鬼は外
53	妖術・妖怪
54	鳥たち
55	水鳥たち
56	満月
57	十二支
58	橋のいろいろ
59	夜桜
60	船のいろいろ
61	浮腹巻と水中遊泳
62	潜水瓶と水中遊泳
63	火渡りの術ほか
五編	
64	鳥居
65	鐘楼
66	輪蔵の内
67	輪蔵の屋根
68	寺の門
69	安倍仲磨
70	中納言行平
71	富士と三保の松原
72	猿田彦太神
73	天白女命
74	三尊窟
六編	
75	弓術
76	馬檻尊神
77	調馬と馬繕い
78	神馬と略画
79	馬五様
80	摩利支天
81	武道具
82	槍術
83	棒と剣
84	種ヶ島に鉄砲伝来
85	鉄砲術
86	逮捕術Ⅰ
87	逮捕術Ⅱと忍者
88	関節技
七編	
89	芭蕉之像
90	尾張桜田の鶴
91	常陸筑波の積雪
92	阿波の鳴門
93	下総関屋の里夕立

94	肥後五箇の庄
95	相模走り水
96	信濃小野の滝
97	出羽秋田の路
98	総州胎内潜り
99	上毛榛名
100	奥州外ヶ浜
101	甲州三島越
102	武蔵狭山が池
八編	
103	天邪鬼・瑞獣
104	無礼講Ⅰ
105	無礼講Ⅱ
106	無礼講Ⅲ
107	群盲象を撫でる
108	盲人百態
109	狂画葛飾振おでぶちゃんⅠ
110	狂画葛飾振おでぶちゃんⅡ
111	狂画葛飾振おでぶちゃんⅢ
112	狂画葛飾振おでぶちゃんⅣ
113	狂画葛飾振やせっぽちⅠ
114	狂画葛飾振やせっぽちⅡ
115	狂画葛飾振やせっぽちⅢ
116	狂画葛飾振やせっぽちⅣ
117	植物図譜
九編	
118	八艘飛之図
119	傀儡女金子の力量
120	烽火台
121	野見宿祢・当磨蹶速
122	士卒英気養図
123	出陣勇勢之図
124	仏御前嵯峨野に妓王妓女を問う
125	寡女大井子怪力
126	狼煙の合図
127	狼煙のいろいろⅠ
128	狼煙のいろいろⅡ
129	炮礮
130	大爆発
131	粘土積み
132	騎馬武者の合戦
133	桓公老馬に随い国に帰る
134	大豊作・万民戯楽
十編	
135	孫悟空・殷の姫妃
136	奇術のいろいろ
137	累の怨霊と祐天和尚
138	百面相・八艘飛
139	鬼の買い物
140	人物略画・手踊り
141	隠し芸・無芸大食
142	鼠の隠れ里

十一編	
143	鶏犬の声に吉凶を知る
144	諺のいろいろ
145	影…夕暮れの往来
146	仁王の色あげ
147	下部のおくびょう・玉手箱のまちがい
148	尻相撲・座相撲・足相撲
149	羅漢舞
150	伐木溪を下す
151	海魔・狩人と大鳥
152	西洋砲で海魔を撃つ
153	短銃の図面
十二編	
154	笑う門に福来る
155	金時遊興
156	大囊
157	風のいたずら
158	素麺・付け鬢
159	天眼鏡ほか
160	千人切
161	ろくろ首・三つ目の眼鏡
162	釣りの名人
163	河童を釣るの法
164	縦・横
165	お供はつらいよ
166	鰻登り
167	風呂屋
参考資料	豊年（彫工 江川留吉）
十三編	
168	俱利伽羅不動
169	和気清磨
170	風景四題
171	人物略画
172	略筆
173	箆の渡
174	魚籃観世音
175	象の手入れ
176	虎の水浴び
177	走る虎
178	石川と深川
179	甲州に干瓢を製す
180	猿
十四編	
181	水生木
182	清水之井
183	雪中
184	田舎ノ橋
185	山と水
186	栗鼠
187	猫
188	狐
189	唐犬

190	猪
191	熊
192	飛び上がらんとする獅子
193	野馬
十五編	
194	狂画の編

195	兎
196	野豚
197	狸々舞・蛸
198	子供の戯れほか
199	アサガオほか
200	東坡赤壁

iii 未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの ～新指定文化財・収蔵品展～

【会 期】 令和2年10月24日（土）～12月7日（月）

会期日数45日、展示日数39日

【主 催】 山梨県立博物館、山梨日日新聞社・山梨放送

【後 援】 朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、産経新聞甲府支局、
テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、日本ネットワーク
サービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央
銀行、読売新聞甲府支局

【協 力】 山梨交通株式会社

【会 場】 企画展示室

【入場者数】 7,292名

【担 当】 学芸員 近藤暁子、中野賢治、西願麻以

【概 要】

平成17年、山梨県立博物館は「山梨の自然と人」を基本テーマとして開館した。以来、基本テーマに沿って調査研究・資料収集に努め、令和2年に開館15周年を迎えた。15周年の節目にあたり、これまで調査研究・収集を進めてきた収蔵品をはじめ、近年県内で新たに文化財指定を受けた資料を中心に、本県の文化財の素晴らしさと、それらを守り伝えていくことの大切さを、あらためて紹介した。

【関連イベント】

■開館15周年記念歴代館長によるトークショー 参加者：50名

開催日：10月31日（土）

会 場：生涯学習室

①基調講演「道祖神祭りから歩み出した山梨県立博物館の15年」

講師：平川南名誉館長（人間文化研究機構 機構長）

時間：13：00～14：00

②名誉館長・館長によるトークショー

出演：平川南名誉館長、守屋正彦館長

時間：14：15～15：30

■記念講演会

「甲斐の国のたからものーふるさとの未来をつくるためにー」

講師：笹本正治氏（長野県立歴史館 館長）

日時：11月15日（日） 13：30～15：00

場所：生涯学習室 参加者：30名



展覧会ちらし



展覧風景

■かいじあむ子ども工房

「ウッドバーニングでヨゲンノトリのストラップをつくろう」

日時：11月14日（土）

①10：30～11：30 ②13：00～14：00 ③14：00～15：00

場所：体験学習室 参加者：各回4名

■学芸員によるギャラリートーク

日時：11月7日（土）、22日（日）、28日（土） 13：30から1時間程度

場所：生涯学習室

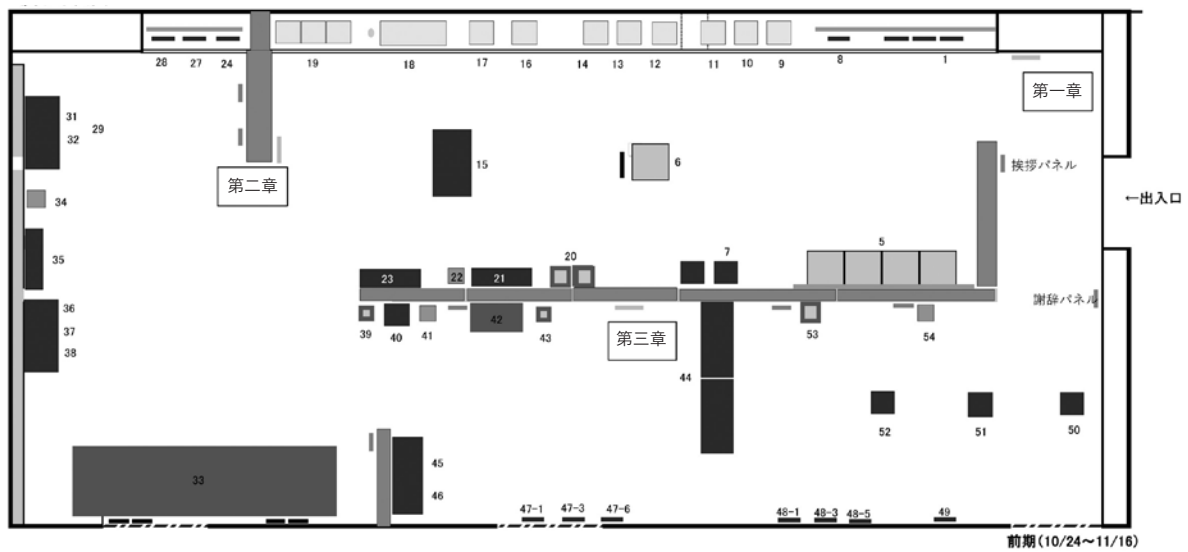
【出品資料一覧】

指定：◎重文、○県指定 前期：10月24日～11月16日 後期：11月18日～12月7日

No.	指定	資料名	員数	材質・技法	枝番		法量（cm）	時代	所蔵者	展示期間
第一章 新指定文化財 ～新たな甲斐の国のたからもの～										
1	◎	釈迦三尊十八羅漢図	3幅	絹本着色	1	中幅	縦107.5 横58.1	鎌倉時代 13世紀	一進寺（甲府市）	前期展示
					2	右幅	縦106.5 横57.4			
					3	左幅	縦106.0 横57.4			
2	◎	法然上人絵伝	2幅	絹本着色	1	第一幅	縦153.6 横110.4	鎌倉時代 14世紀	山梨県立博物館	後期展示
					2	第二幅	縦153.6 横110.4			
3	○	十字架持帰マニ像	1幅	絹本着色			縦153.3 横58.7	元時代 13～14世紀	栖雲寺（甲州市）	後期展示
4	○	仏涅槃図 東阜心越筆	1幅	絹本着色			縦366.4 横199.7	江戸時代 元禄2年(1689)	久遠寺（身延町）	後期展示
5	○	不動明王像 横田汝圭筆	1幅	紙本着色			縦453.0 横328.5	江戸時代 文化4年(1807)	大善寺（甲州市）	前期展示
6	○	聖観音立像	1軀	木造漆箔彩色			像高169.0	平安時代 12世紀	大福寺（中央市）	
7	○	勝軍地蔵騎馬像 附宮殿組物 狛犬 康清作	1軀	木造彩色玉眼	1	勝軍地蔵騎馬像	生高18.7	桃山時代 16世紀	清水寺（山梨市）	
			2組	木造彩色	2	組物①	最大張21.7 高さ4.3			
						組物②	最大張20.9 高さ4.4			
			2軀	木造漆箔	3	狛犬①（阿形） 狛犬②（吽形）	像高22.8 像高22.0			
8	○	刺繍釈迦三尊像	1幅	絹、刺繍			縦79.5 横40.5	鎌倉～南北朝時代 14世紀	久遠寺（身延町）	前期展示
9	○	一宮神社信仰資料	1面	銅製	1	十一面観音立像 御正体	鏡板径43.6	南北朝時代 14世紀	一宮神社（上野原市）	
			1基	木製	2	厨子	高68.0 幅77.7	江戸時代 嘉永4年(1857)		
10	○	不動明王像御正体 和泉守光吉作	1面	銅製			鏡板径31.6	室町時代 文明14年(1482)	ふじさんミュージアム （富士吉田市）	
11	○	鰐口	1口	銅製			面径23.1	室町時代 明德4年(1393)	慈照寺（身延町）	
12	○	日枝神社大般若経	20巻	紙本墨書折本			縦27.0 横12.4	室町～桃山時代 15～16世紀	日枝神社（甲府市）	
13	○	常在寺文書一括	3点	紙本墨書	1	「円極実儀抄」下	縦30.0 横19.0	室町時代 14世紀	常在寺（富士河口湖町）	
					2	敬白起請文之事 （常在寺衆中連 署起請文）	縦30.9 横89.9	戦国時代 天正2年(1574)		
					3	定法度 （光長寺法度）	縦30.3 横76.8	江戸時代 慶長11年(1606)		
14	○	市河家文書	1通	紙本墨書		武田晴信書状	縦28.0 横40.8	戦国時代 弘治3年(1557)	山梨県立博物館	
15	◎	酒呑場遺跡出土品	4点	土製	1	把手付深鉢形土器	高77.2 幅44.2	縄文時代中期	山梨県立考古博物館	
					2	把手付深鉢形土器	高58.0 幅39.4			
					3	把手付深鉢形土器	高60.0 幅37.6			
					4	把手付深鉢形土器	高51.6 幅31.6			
16	○	安道寺遺跡出土品	1点	土製		深鉢型土器	高37.0 幅32.0	縄文時代中期	山梨県立考古博物館	
17	○	上中丸遺跡 埋納遺構出土品一括	1点	土製	1	注口土器	高10.9 幅17.7	縄文時代中期	ふじさんミュージアム （富士吉田市） ※展示は複製品 （山梨県立考古博物館）	
			1点	石製	2	黒曜石原石	長7.1 幅9.9			
			8点	石製	3	磨製石斧①	長12.4 幅1.4			
						磨製石斧②	長11.1 幅5.1			
						磨製石斧③	長10.2 幅4.6			
						磨製石斧④	長9.7 幅4.0			
						磨製石斧⑤	長9.2 幅4.1			
						磨製石斧⑥	長7.7 幅3.9			
						磨製石斧⑦	長5.7 幅2.1			
						磨製石斧⑧	長7.7 幅4.5			
18	○	鏡子塚古墳出土木製祭祀具	3点	木製	1	棒状木製品① 棒状木製品② 棒状木製品③	長54.0 幅2.7 長47.0 幅2.7 長39.3 幅2.8	古墳時代前期	山梨県立考古博物館 ※No.18-2、3の展示は 複製品	
			1点		2	円盤形木製品	径19.2 厚1.7			
			1点		3	蕨手形木製品	長28.0 幅2.7			
					参考	木製祭祀具復元 模型				

19	○	上窪遺跡 墓跡出土品一括	42点	木製	1	斎串	長41.6～75.7	平安時代 9～10世紀	中央市教育委員会	
			2点	木製	2	櫛① 櫛②	長4.0 幅7.1 長4.0 幅4.7			
			2点	木製	3	下駄① 下駄②	長20.0 幅8.1 長18.5 幅9.3			
			6点	人骨	4	歯				
20	○	小井川遺跡出土 五輪塔部材	2点	石製	1	五輪塔（地輪）	高25.7 幅30.4	鎌倉時代 14世紀	山梨県立考古博物館	
					2	五輪塔（地輪）	高43.0 幅28.0			
21	○	甲府城跡出土飾瓦	3点	土製	1	桐紋瓦	長37.0 幅36.2	桃山時代 16世紀	山梨県立考古博物館	
					2	遼鷹羽紋瓦	長27.5 幅38.0	桃山時代 16世紀		
					3	花菱紋瓦	長22.1 幅44.1	江戸時代 18世紀		
22	○	甲府城跡出土遺物	2点	銅製		輪宝① 輪宝②	長17.5 幅17.5 長17.5 幅17.5	江戸時代 17世紀	山梨県立考古博物館	
23	○	八王子神祈願図絵馬	1面	木造彩色			縦34.0 横61.7 厚2.5	桃山時代 慶長4年(1599)	神戸自治会（甲斐市）	
第二章 新収蔵品 ～博物館に託された甲斐の国のたからもの～										
24	○	熊野曼荼羅	1幅	絹本著色			縦107.7 横65.0	鎌倉時代 14世紀	南北八代熊野神社 (笛吹市)	前期展示
25	○	大門禪師像	1幅	絹本著色			縦78.5 横37.7	室町時代 明徳4年(1393)	松泉寺（甲州市）	後期展示
26		親鸞聖人像	1幅	絹本著色			縦102.0 横51.2	室町時代 16世紀	福源寺（富士吉田市）	後期展示
27		八字名号	1幅	絹本著色			縦82.0 横37.0	室町時代 15～16世紀	福源寺（富士吉田市）	前期展示
28		聖徳太子黒駒登岳図	1幅	紙本著色			縦107.5 横39.8	室町時代 16世紀	山梨県立博物館	
29		三国第一山之図 歌川貞秀筆	3枚 統	木版多色摺			縦37.2 横74.8	江戸時代 嘉永2年(1849)	山梨県立博物館	前期展示
30		三国第一山之図 歌川貞秀筆	3枚 統	木版多色摺			縦36.2 横74.3	江戸時代 嘉永2年(1849)頃	山梨県立博物館	後期展示
31		富士曼荼羅図 春木南溟筆	1幅	絹本著色			縦44.7 横64.3	江戸時代 19世紀	山梨県立博物館	
32		武田信玄像 菊川英山筆	1幅	紙本著色			縦130.5 横44.0	江戸時代 19世紀	山梨県立博物館	
33		甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を 狙ふ 月岡芳年筆	1張	麻布著色			縦195.0 横900.0	江戸時代 元治元年(1864)頃	山梨県立博物館	
34		三宝荒神立像	1軀	木造彩色玉眼			像高50.2	江戸時代 17世紀	清水寺（山梨市）	
35	○	『元亨釈書』	4冊	紙本墨書	1	写本	縦25.6 横20.7	室町時代 大永4年(1524)	松泉寺（甲州市）	
			2冊	紙本墨刷	2	版本	縦25.6 横20.7	南北朝時代 永和3年(1377)		
36		武田信玄書状	1通	紙本墨書			縦25.8 横18.2	戦国時代 永祿12年(1569)	山梨県立博物館	
37		上杉謙信書状	1通	紙本墨書			縦32.5 横17.7	戦国時代 元亀3年(1572)	山梨県立博物館	
38		武田勝頼書状	1通	紙本墨書			縦16.2 横45.5	戦国時代 16世紀	山梨県立博物館	
39		六字名号 木喰筆	1幅	紙本墨書			縦35.0 横9.5	江戸時代 文化4年(1807)	個人	
40		ガラス小玉（柏尾経塚出土）	1点	ガラス製			直径0.6	平安時代 康和5年(1103)	山梨県立博物館	
41	○	短頸壺	1点	陶製			器高54.5 胴径47.2	平安時代 12世紀	個人	
42		甲州金	2点	金製	1	蛭藻金	長辺約5.0 短辺約2.4 厚約0.08	戦国時代 16世紀	山梨県立博物館	
			18点		2	碁石金	最大長辺長約2.4 最大短辺長約1.9			
43		甲府道祖神祭礼関連資料 小山正作	2点	木造素地 （一部彩色）	1	昇り龍	長113.0 幅32.0	江戸時代 文久元～慶応元年(1861～65)	山梨県立博物館	
					2	降り龍	長113.0 幅32.0			
44		シャトーメルシャン甲州	1点	ガラス、コルク、 紙、ワイン			高29.8 幅7.5	昭和時代 昭和46年(1971)	山梨県立博物館	
第三章 これがオススメ！～ぜひとも見たい、甲斐の国のたからもの～										
45		曾我物語図屏風	6曲 1双	紙本著色	1	右隻	縦154.0 横364.4	江戸時代 17世紀	山梨県立博物館	
					2	左隻	縦154.0 横364.4			
46		武田信玄・上杉謙信像 土佐光起筆	2幅	紙本著色	1	武田信玄像	縦83.0 横38.2	江戸時代 貞享5年(元禄元年、1688)	山梨県立博物館	
					2	上杉謙信像	縦83.0 横38.2			
47		武田二十四将図	1幅	紙本著色			縦84.5 横52.5	江戸時代 17世紀	山梨県立博物館	
48		富嶽三十六景 葛飾北斎筆	6点	木版多色摺	1	神奈川沖浪裏	縦25.6 横37.7	江戸時代 文政13～天保4年(1830～33) 頃	山梨県立博物館	前期展示
					2	凱風快晴	縦25.6 横37.7			後期展示
					3	山下白雨	縦26.3 横37.8			前期展示
					4	甲州伊沢暁	縦25.6 横37.9			後期展示
					5	身延川裏不二	縦25.5 横37.7			後期展示
					6	諸人登山	縦26.0 横38.8			前期展示
49		富士三十六景 歌川広重筆	6点	木版多色摺	1	甲斐大月の原	縦36.0 横24.9	江戸時代 安政5～6年(1858～9)	山梨県立博物館	前期展示
					2	甲斐犬目峠	縦36.1 横24.4			後期展示
					3	駿河鎌ヶ谷海上	縦36.0 横25.0			前期展示
					4	東海堂左り不二	縦36.1 横25.0			後期展示
					5	信濃塩尻峠	縦36.0 横24.9			前期展示
					6	甲斐御坂峠	縦36.0 横24.9			後期展示
50		甲陽猿橋之図 歌川広重筆	2枚 統	木版多色摺			縦72.5 横23.4	江戸時代 天保12～13年(1841～42)頃	山梨県立博物館	
51	○	蔵王権現立像	1軀	木造			像高83.7	平安時代 12世紀	山梨県立博物館	
52		弘法大師像 木喰作	1軀	木造			総高54.5 （台座・光背含む）	江戸時代 享和元年(1801)	山梨県立博物館	
53		小坂草威置・兜・大袖付（復元品）	1領	金属、皮、布 等			胴高31.1 草摺高30.5 兜鉢高14.3	平成時代 平成17年(2005)	山梨県立博物館	
54		「暴鴉病流行日記」	1冊	紙本墨書			縦24.5 横17.0	江戸時代 安政5年(1858)	山梨県立博物館	
55		「おふどう」バッジ	1式	金属製			直径1.6	昭和時代 20世紀	山梨県立博物館	

【展示平面図】



②シンボル展

ii 強請祈願とやまなしの雨乞い

【会 期】 令和3年1月2日(土)～2月23日(火・祝)

会期日数53日間、展示日数42日間

【主 催】 山梨県立博物館

【会 場】 企画展示室

【入場者数】 1,954人

【担 当】 学芸員 丸尾依子、小畑茂雄

【概 要】

古くからの願掛けの方法ひとつに「強請祈願」という方法がある。山梨においては、その方法は雨乞に際して行われることが多かったとみえ、県内各地に残る水に漬けられたり、火であぶられたりした痕跡のある神仏像が、水の恵みに対する荒々しいまでに切実な祈りを物語る。展覧会では、山梨市市川の清水寺に伝えられた雨乞いの仏像と、昭和40年頃に記録された雨乞いの儀式の貴重な記録映像を中心として紹介し、山梨県内各地で行われてきた雨乞いのさまを探った。

【関連イベント】

■ギャラリートーク

日時：1月2日(土)、1月31日(日)、2月23日(火・祝) 14:00から1時間程度

会場：企画展示室

■あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば

「雨乞いの仏像を作ろう」

日時：1月17日(日) 11:00から30分程度

会場：ロビー

定員：6名(先着順)



展覧会ちらし

「雨乞いをしてみよう」

日時：2月7日（日）11:00から30分程度

会場：ロビー

定員：6名（先着順）

※いずれも申込不要（先着順）、参加無料。

■ゆかりの地ツアー「小瀬周辺の水にまつわる土地を歩く」

開催日 2月6日（土）

【第1部 小瀬周辺を歩く】

9:30出発、12:00解散 参加費500円

【第2部 ギャラリートーク】

14:00から1時間程度

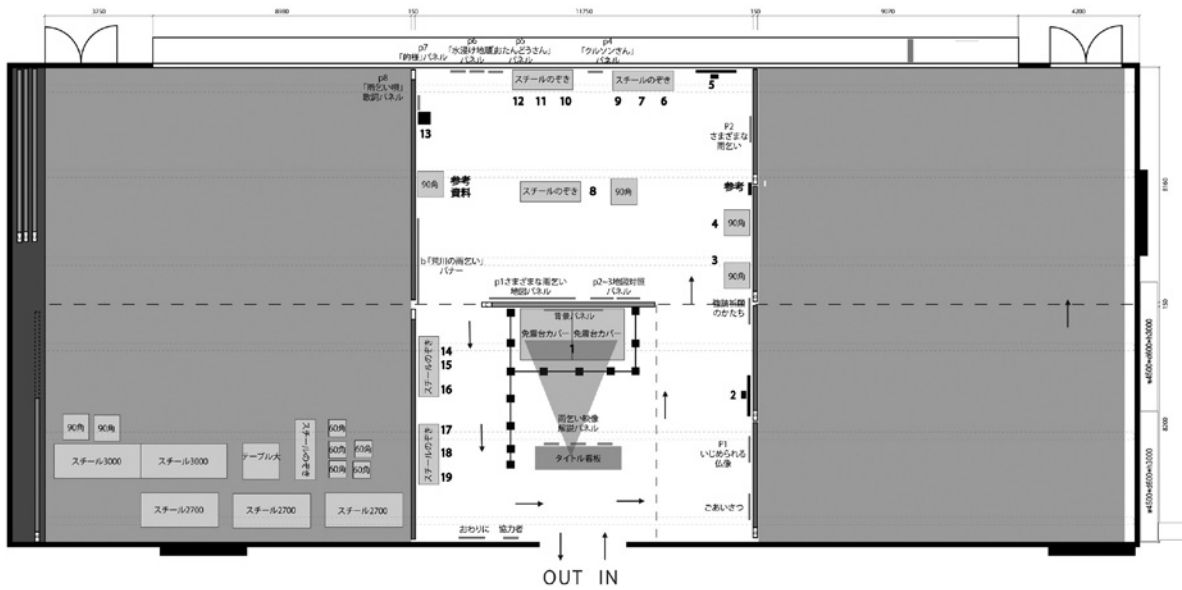


展示風景

【出品資料一覧】

いじめられる仏像-清水寺の雨乞い-					
No.	資料名	地域	所蔵者	時代	資料番号
1	雨乞い記録映像	山梨市市川	山梨市個人	昭和40年頃	(1965頃)
2	アマゴイサン	山梨市市川	清水寺	平安時代か	
強請祈願のかたち					
No.	資料名	地域	所蔵者	時代	資料番号
3	ダルマ（五味家資料）	南アルプス市藤田	当館	昭和時代	
4	オカタブチの棒（小沢桑三氏収集資料）	早川町奈良田	当館	昭和時代	
参考	てるてる坊主		当館	現代	
さまざまな雨乞い					
No.	資料名	地域	所蔵者	時代	資料番号
5-1	諏訪神社の雨乞い写真	甲斐市牛匂	当館	平成25年	(2013)
5-2	雨乞いに使用された石棒	甲斐市牛匂	牛匂地区	昭和時代以前	
6	早魃の為稲植付能に付注進（甲州文庫）	南アルプス市大師	当館	明治7年	(1874)
7	降雨にて植付完了に付注進（甲州文庫）	西郡村々	当館	江戸時代以降	2005-003-009900
8	二之宮落水の際杵役不埒の儀尋につき上申書（坂内家資料）	笛吹市御坂町二之宮	当館	宝暦2年6月	(1752)
9	小物成山へ水神勧請願一札（甲州文庫）	山梨市山根、矢坪	当館	文化4年	(1807)
10	雨の行者	中央市大鳥居	大福寺	平安時代か	
参考	『甲斐の落葉』より「荒川の雨乞い」挿絵	甲府市相生		大正15年	(1926)
11	雨乞い祈願和歌写（太田家文書）	市川三郷町上野	当館	文化14年	(1817)
12	雨乞 雨晴祈願の祓詞（頼生文庫）		当館	江戸時代以降	2005-008-000124
13	雨乞い唄（山梨県民謡緊急調査録音テープ）	北杜市須玉町小尾、富士川町柳川	当館	昭和58年頃	(1983頃)
参考	蕎麦塚のおたんどうさん写真	笛吹市御坂町蕎麦塚			
参考	四尾連湖の雨乞い	市川三郷町			
参考	西湖の竜宮の水	富士河口湖町			
参考	櫛形山の雨乞い（『山梨日日新聞』掲載記事）	富士川町最勝寺		昭和53年	(1978)
参考	獅子頭（武藤家資料）	甲州市塩山藤木	当館	江戸時代以降	
14	四方津村四ヶ村組合牛雨乞に付諸入用扣（甲州文庫）	上野原市四方津	当館	天保10年	(1839)
15	大早魃に付牛雨乞の四ヶ村議定書（甲州文庫）	上野原市四方津	当館	天保10年	(1839)
16	妙光院より雨乞祈禱に付書簡（五味家文書）	南アルプス市上今井	当館	江戸時代以降	2005-018-000616
17	石尊入用帳（篠原家文書）	笛吹市石和町東油川	当館	文久2年	(1862)
18	石尊花火勸化帳（篠原家資料）	笛吹市石和町東油川	当館	文久2年	(1862)
19	関所通手形（甲州文庫）	韮崎市大草町下条西割	当館	慶応4年	(1868)
豊かな水、貴き水～おわりに～					

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

	名 称	発刊日	体裁
1	開館15周年記念特別展「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの ～新指定文化財・収蔵品展～」展示図録	令和2年10月24日	A4版、112頁
2	開館15周年記念特別展「生誕500年 武田信玄の生涯」展示図録	令和3年3月13日	A4変形版、154頁
3	シンボル展「強請祈願とやまなしの雨乞い」リーフレット	令和3年1月2日	A4版、4頁



1



2



3

第5章 企画交流事業

(1) 生涯学習サービス事業

①講演会・講座・シンポジウム等

■講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和2年10月31日	平川南名誉館長・守屋正彦館長	「開館15周年記念 歴代館長によるトークショー」	県立博物館	44人
令和2年11月15日	笹本正治（長野県立歴史館館長）	「甲斐の国のたからもの一ふるさとの未来をつくるために」	県立博物館	58人
令和3年3月27日	平山優（武田氏研究会副会長）	「武田信虎と信玄」	県立博物館	38人

■講座

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から「館長によるトーク」、「古文書講座」、「古文書相談日」は中止とした。

■かいじあむ講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和3年3月21日	海老沼真治（当館学芸員）	基礎から学ぶ武田信玄	県立博物館	45人
講演会・講座等参加者数合計				185人

②体験プログラム

日時	内容	開催場所	参加者(人)
令和2年6月20日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5人
令和2年7月18日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10人
令和2年8月15日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	17人
令和2年9月19日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	11人
令和2年11月21日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7人
令和2年12月19日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	4人
令和3年1月16日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	9人
令和3年2月20日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7人
令和3年3月20日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	9人
令和2年8月2日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「つつんでみよう!!」	県立博物館	5人
令和2年8月9日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「ヨゲンノトリの下敷を作ろう」	県立博物館	10人
令和2年8月16日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「武田信虎物語」	県立博物館	17人
令和2年8月23日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「やまなしの縄文時代」	県立博物館	4人
令和2年8月30日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「かいじあむから聞こえる“音”をさがしてみよう」	県立博物館	6人
令和2年9月6日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「青い目の人形」	県立博物館	6人
令和2年9月13日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「猫のストラップを作ろう」	県立博物館	18人
令和2年9月20日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「タビーの大冒険」	県立博物館	10人
令和2年9月27日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「常設展示室で空想動物をさがそう」	県立博物館	7人
令和2年10月4日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「水害から逃げる動物たちを作ろう」	県立博物館	1人
令和2年10月11日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「ひとりあやとりに挑戦！」	県立博物館	3人
令和2年10月18日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「けん玉で遊ぼう」	県立博物館	20人

令和2年10月25日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 紙芝居「お月さまいくつ」	県立博物館	1人
令和2年11月1日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 連続大河紙芝居「武田信玄～風の如く、火の如く～第1部」	県立博物館	13人
令和2年11月8日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 連続大河紙芝居「武田信玄～風の如く、火の如く～第2部」	県立博物館	20人
令和2年11月15日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 連続大河紙芝居「武田信玄～風の如く、火の如く～第3部」	県立博物館	15人
令和2年11月22日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「竜のストラップを作ろう」	県立博物館	8人
令和2年11月29日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「判じ絵に挑もう！」	県立博物館	1人
令和2年12月6日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「日本の吉祥模様を知ろう」	県立博物館	9人
令和2年12月13日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「どんぐりやじろべえを作ろう」	県立博物館	9人
令和2年12月20日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「幕絵を学ぼう」	県立博物館	6人
令和3年1月2日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「十二支のはじまり」	県立博物館	18人
令和3年1月3日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「十二支のはじまり」	県立博物館	7人
令和3年1月10日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「おこんぶくろを作ろう」	県立博物館	3人
令和3年1月17日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「雨乞いの仏像を作ろう」	県立博物館	7人
令和3年1月24日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「「四神」のストラップを作ろう」	県立博物館	8人
令和3年1月31日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「鬼のお面を作ろう」	県立博物館	7人
令和3年2月7日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「雨乞いをしてみよう」	県立博物館	8人
令和3年2月14日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「青い目の人形」	県立博物館	10人
令和3年2月21日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「浮世絵のオリジナル塗り絵に挑戦しよう」	県立博物館	10人
令和3年2月28日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「紙コップでひな人形を作ろう」	県立博物館	8人
令和3年3月7日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「桜のちぎり絵カードを作ろう」	県立博物館	6人
令和3年3月14日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「和綴じ本を作ろう」	県立博物館	13人
令和3年3月21日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば 「「盾無鑑」の秘密」	県立博物館	6人
令和3年3月28日	あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「武田信虎物語」	県立博物館	30人
令和2年8月8日	かいじあむ子ども工房「砂絵で富士山をかこう」	県立博物館	11人
令和2年9月12日	かいじあむ子ども工房「竹ぼっくりをつくろう」	県立博物館	16人
令和2年10月10日	かいじあむ子ども工房「ブドウの皮で草木染めをしよう」	県立博物館	15人
令和2年11月14日	かいじあむ子ども工房「ウッドバーニングでヨゲンノトリのストラップを作ろう」	県立博物館	17人
令和2年12月20日	綿から糸へ	県立博物館	16人
令和3年1月9日	かいじあむ子ども工房「小正月のいろいろなダンゴを作ろう」	県立博物館	9人
令和3年2月13日	かいじあむ子ども工房「まゆ玉クラフトでおひなさまをつくろう」	県立博物館	6人
令和3年3月13日	かいじあむ子ども工房「花菱のハンコをつくろう」	県立博物館	8人
令和2年12月5日	歴史ウォーク	県立博物館	12人

体験プログラム参加者数合計

519人

③その他

展示交流員が常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」を毎週土曜日に実施した。

（２）博学連携

①かいじあむティーチャーズクラブ

i 会員の状況

各学校の教員にティーチャーズクラブを周知するために、研究会や研修会の際に趣旨の説明と加入依頼を行った。また、学校見学における引率者については、ティーチャーズクラブ加入を勧める対応をおこなった。

ii 会員数（令和３年３月31日現在）

校種	会員数（人）
小学校	1,211
中学校	547
高等学校・特別支援学校	931
教育庁	60
総合教育センター	35
教育事務所等	5
総計	2,789

iii 活動実績

- ・第１回研究会 ※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止
- ・夏季研修会「博物館を活用した授業づくり研修会」（教育センター・博物館の共催研修）
※参加者欠席のため中止
- ・令和３年２月22日（月） 第１回研究会 実践発表 等

iv 教員視察人数（ティーチャーズクラブ以外の視察も含む）

令和２年度 教員視察人数

（令和３年３月31日現在）

1 ティーチャーズクラブ視察人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展等
4月	0	0	0	
5月	2	0	2	
6月	3	0	3	
7月	5	0	5	かいじあむ＋展
8月	15	0	15	かいじあむ＋展
9月	17	0	17	かいじあむ＋展
10月	28	10	38	たからもの展
11月	15	25	40	たからもの展
12月	1	9	10	たからもの展
1月	14	0	14	シンボル展（雨乞い展）
2月	3	0	3	シンボル展（雨乞い展）
3月	7	11	18	信玄展
合計	110	55	165	①

※１・２月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

2 教育センター視察人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展等
4月	0	0	0	
5月	5	0	5	
6月	20	0	20	
7月	23	0	23	かいじあむ+展
8月	25	0	25	かいじあむ+展
9月	0	0	0	かいじあむ+展
10月	10	3	13	たからもの展
11月	0	2	2	たからもの展
12月	1	0	1	たからもの展
1月	0	0	0	シンボル展（雨乞い展）
2月	1	0	1	シンボル展（雨乞い展）
3月	2	3	5	信玄展
合計	87	8	95	②

※1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

3 校外学習の下見人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展等
4月	0	0	0	
5月	0	0	0	
6月	0	0	0	
7月	7	0	7	かいじあむ+展
8月	74	0	74	かいじあむ+展
9月	11	0	11	かいじあむ+展
10月	9	2	11	たからもの展
11月	7	7	14	たからもの展
12月	6	0	6	たからもの展
1月	6	0	6	シンボル展（雨乞い展）
2月	4	0	4	シンボル展（雨乞い展）
3月	3	3	6	信玄展
合計	127	12	139	③

※1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

4 教員の研修

名 称	常設	企画	計
第1回ティーチャーズクラブ研究会	9	0	9
合 計	9	0	9

④

5 その他の視察

内 訳	常設	企画	計
山梨県教育会一宮支部【11/19】	3	9	12
合 計	3	9	12

⑤

①+②+③+④+⑤	420
-----------	-----

②授業の一環としての博物館利用

	来館日	学校名	人数（人）	
			児童・生徒	引率
1	8月31日（月）	春日居小学校	63	4
2	9月2日（水）	貢川小学校	66	5
3	9月2日（水）	富沢小学校	14	2
4	9月4日（金）	吉田西小学校	54	5
5	9月9日（水）	大国小学校	82	6
6	9月25日（金）	甲府東小学校	56	5
7	9月30日（水）	大石小学校	19	4
8	10月1日（木）	石和北小学校	27	2
9	10月1日（木）	秋山小学校	10	3
10	10月1日（木）	小菅小学校	16	4
11	10月2日（金）	下吉田東小学校	45	3
12	10月7日（水）	玉諸小学校	111	6
13	10月7日（水）	甲運小学校	53	4
14	10月8日（木）	石和西小学校	58	4
15	10月8日（木）	初狩小学校	7	2
16	10月8日（木）	八代小学校	75	4
17	10月9日（金）	甘利小学校	68	4
18	10月9日（金）	国母小学校	58	5
19	10月9日（金）	増穂小学校	101	7
20	10月14日（水）	南部中学校	47	5
21	10月14日（水）	善誘館小学校	25	2
22	10月14日（水）	鯉沢中学校	29	4
23	10月15日（木）	中道南小学校	8	2
24	10月16日（金）	石田小学校	39	5
25	10月19日（月）	山城小学校	149	7
26	10月21日（水）	押原中学校	20	2
27	10月22日（木）	竜王東小学校	44	4
28	10月23日（金）	竜王西小学校	60	4
29	10月23日（金）	六郷中学校	21	5
30	10月28日（水）	大里小学校	93	6

	来館日	学校名	人数（人）	
			児童・生徒	引率
31	10月28日（水）	秋山中学校	7	3
32	10月29日（木）	双葉東小学校	119	8
33	10月30日（金）	御坂西小学校	25	2
34	11月2日（月）	御坂西小学校	25	2
35	11月5日（木）	甲西中学校	104	7
36	11月5日（木）	駿台甲府小学校	77	4
37	11月6日（金）	笛吹高校	244	13
38	11月11日（水）	御坂西小学校	26	2
39	11月11日（水）	日川高校	38	2
40	11月11日（水）	猿橋中学校	30	3
41	11月12日（木）	御殿場市立原里中学校	118	9
42	11月13日（金）	若草中学校	27	2
43	11月20日（金）	下野市立国分寺小学校	122	9
44	11月27日（金）	上野原小学校	73	6
45	11月27日（金）	白根源小学校	16	5
46	12月4日（金）	八田中学校	6	0
47	12月10日（木）	白根百田小学校	59	3
48	12月14日（月）	塩山北小学校	38	5
49	12月17日（木）	下山小学校	17	2
50	12月18日（金）	白根御勅使中学校	15	1
51	1月22日（金）	玉穂南小学校	51	5
52	1月28日（木）	芦川小学校	7	6
53	2月19日（金）	ろう学校	6	4
54	2月22日（月）	竜王小学校	82	5
55	2月25日（木）	わかば保育園	20	3
56	2月26日（金）	長坂小学校	53	4
57	3月3日（水）	身延小学校	18	2
58	3月4日（木）	石和東こども園	25	2
小計			2966	244
総計			3210	

③出前授業

■出前授業実施一覧

	実施日	主催	会場	内容	担当職員	人数
1	令和2年9月24日（木）	富士吉田市教育協議会	富士吉田市立下吉田第二小学校	山梨にも戦争があった	村田裕紀	7
2	令和2年10月5日（月）	笛吹市立春日居小学校	笛吹市立春日居小学校	地域で受けつがれてきたもの「山梨阿神社の太々神楽」	丸尾依子・村田裕紀	63
3	令和2年10月5日（月）	県立日川高等学校	県立日川高等学校	職業人と語る（富士山分野）	森原明廣・村田裕紀	21
4	令和2年10月21日（水）	県立富士河口湖高等学校	県立富士河口湖高等学校	山梨の自然と人の関わり	森原明廣・村田裕紀	181
5	令和2年10月22日（木）	甲州市立勝沼中学校	甲州市立勝沼中学校	職業講話	西願麻以	60
6	令和2年10月29日（木）	山梨学院短期大学	山梨学院短期大学	山梨甲府の歴史を学ぶ	中野賢治・村田裕紀	233
7	令和2年11月9日（月）	甲府市立玉諸小学校	甲府市立玉諸小学校	修学旅行事前学習（鎌倉）	海老沼真治・村田裕紀	100
8	令和2年11月13日（金）	北杜市立明野小学校	北杜市立明野小学校	信玄堤	中野賢治・村田裕紀	32
9	令和2年11月25日（水）	中央市立玉穂中学校	中央市立玉穂中学校	県内巡り事前学習	望月大・村田裕紀	146
10	令和2年11月26日（木）	甲州市立神金小学校	甲州市立神金小学校	信玄堤	中野賢治・村田裕紀	6
11	令和2年11月26日（木）	甲斐市立敷島中学校	甲斐市立敷島中学校	職業講話	松田美沙子・村田裕紀	30
12	令和2年11月27日（金）	甲府市立池田小学校	甲府市立池田小学校	地域で受けつがれてきたもの「天津司の舞」	天津司の舞保存会会長 山本正二氏・丸尾依子・村田裕紀	84

	実施日	主催	会場	内容	担当職員	人数
13	令和2年12月21日(月)	身延町立身延中学校	身延町立身延中学校	木簡が語る人々の暮らし	望月大	58
14	令和3年1月21日(木)	市川三郷町立市川小学校	市川三郷町立市川小学校	昔の道具とくらし	丸尾依子・村田裕紀	38
15	令和3年1月28日(木)	山梨市立加納岩小学校	山梨市立加納岩小学校	昔の道具とくらし	丸尾依子・望月大・村田裕紀	43
16	令和3年1月29日(金)	韭崎市立韭崎小学校	韭崎市立韭崎小学校	修学旅行事前学習(鎌倉)	村田裕紀	48
17	令和3年2月1日(月)	富士川町立増穂南小学校	富士川町立増穂南小学校	昔の道具とくらし	丸尾依子・村田裕紀	6
18	令和3年2月1日(月)	南アルプス市立白根御勅使中学校	南アルプス市立白根御勅使中学校	県内巡り事前学習	村田裕紀	69
19	令和3年2月4日(木)	甲府市立羽黒小学校	甲府市立羽黒小学校	昔の道具とくらし	丸尾依子・村田裕紀	70
20	令和3年2月8日(月)	甲斐市立敷島南小学校	甲斐市立敷島南小学校	昔の道具とくらし	丸尾依子・村田裕紀	83
21	令和3年2月10日(水)	都留市立谷村第二小学校	都留市立谷村第二小学校	昔の道具とくらし	丸尾依子・村田裕紀	16
22	令和3年2月15日(月)	笛吹市立境川小学校	笛吹市立境川小学校	修学旅行事前学習(鎌倉)	村田裕紀	29
23	令和3年2月15日(月)	県立日川高等学校	県立日川高等学校	職業人に語る(富士山分野)	村田裕紀	21
24	令和3年3月4日(木)	甲府市立相川小学校	甲府市立相川小学校	昔の道具とくらし	丸尾依子・望月大・村田裕紀	47
25	令和3年3月5日(金)	甲州市立井尻小学校	甲州市立井尻小学校	修学旅行事前学習(鎌倉)	望月大・村田裕紀	22
26	令和3年3月8日(月)	山梨市立笛川小学校	山梨市立笛川小学校	昔の道具とくらし	丸尾依子・望月大・村田裕紀	26
27	令和3年3月10日(水)	笛吹市立石和東小学校	笛吹市立石和東小学校	昔の道具とくらし	丸尾依子・望月大	26

出前授業利用人数 1565人

④教育センター・その他の団体との連携

■実施一覧

	実施日	主催	会場	内容	担当職員	人数
1	令和2年11月19日(木)	山梨県教育会一宮支部	山梨県立博物館	たからもの展	近藤暁子	9
2	令和3年2月22日(月)	ティーチャーズクラブ	山梨県立博物館	第2回ティーチャーズクラブ研究会	望月大・村田裕紀	9

18人

⑤職場体験

■職場体験実施一覧

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施せず。

⑥「山梨の未来を描こう」募集

	応募学校数(校)	応募人数(人)
小学校	37	243
中学校	2	46
合計	39	289

⑦子ども学芸員事業

	日 付	曜	学 校 名	学年	人数	常設展	企画展	備 考
1	6月3日	水	甲府市立相川小学校	4	70			出前授業
2	10月5日	月	笛吹市立春日居小学校	4	63	○	○	
3	10月9日	金	甲府市立大国小学校	4	82	○		
4	10月9日	金	富士吉田市立吉田西小学校	3	54	○		
5	10月30日	金	韮崎市立甘利小学校	6	69	○	○	
6	11月6日	金	甲府市立石田小学校	4	41	○	○	
7	11月6日	金	甲府市立大里小学校	3	97	○	○	
8	11月11日	水	甲斐市立双葉東小学校	3	121	○	○	
9	11月30日	月	県立富士河口湖高校	1	181			出前授業
10	11月30日	月	駿台甲府小学校	4	77	○	○	
11	12月4日	金	甲州市立神金小学校	4	6			出前授業
12	1月4日	月	南アルプス市立白根百田小学校	5	60	○		
13	1月20日	水	甲斐市立敷島中学校	2	30			出前授業
14	2月1日	月	県立笛吹高等学校	1	259	○	○	
15	2月10日	水	甲府市立羽黒小学校	3	70	○		出前授業
16	3月1日	月	南アルプス市立甲西中学校	2	112	○	○	
17	3月15日	月	県立ろう学校	3,4	6	○	○	
18	3月22日	月	甲府市立相川小学校	3	47			出前授業
19	3月22日	月	甲斐市立敷島南小学校	3	83			出前授業
20	3月22日	月	身延町立身延小学校	4	18	○		
21	3月25日	木	笛吹市立石和東小学校	3	26			出前授業
22	3月25日	木	山梨市立加納岩小学校	3	43			出前授業
23	3月26日	金	北杜市立長坂小学校	5	56	○		
認 定 数					1,671			

⑧貸出教材（ミュージアム・キット）

	借用期間	学 校 名 等	キット名	備考
1	令和2年7月11日～7月25日	上野原西小学校	授業用パワーポイントデータ (修学旅行事前学習)	6年：社会科
2	令和2年10月4日～10月21日	甲西中学校	木簡セット かいじあむ歴史紙芝居	1年：社会科
3	令和2年10月9日～10月19日	早川中学校	木簡セット	1年：社会科
4	令和3年1月30日～2月4日	石和南小学校	昔の暮らし電子 写真集DVD	3年：社会科
5	令和3年2月3日～2月10日	石和西小学校	昔の暮らし電子 写真集DVD	3年：社会科
6	令和3年2月3日～2年11日	笛川小学校	昔の暮らし電子 写真集DVD	3年：社会科
小 計（小・中学校）				6
小 計（高等学校・特別支援学校）				0
小 計（その他）				0
総 計				6

⑨大学教育との連携

i 学芸員実習

【期 間】 令和2年8月9日（日）から同年8月17日（月）まで（計8日間）

【受け入れ人数】 6人（男2人、女4人）

【実習生所属大学】

・都留文科大学 多摩美術大学 東京工芸大学 日本大学 明星大学 立正大学

【主な実習内容】

- ・県立博物館の概要と役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員が行う調査・研究、展示、資料保存など各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業について講義及び実習
- ・展示実務実習
- ・県立博物館職員との意見交換

ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大学名（科目）	期 間
中野 賢治	山梨県立大学（日本の歴史Ⅰ）	令和2年4月11日（土）～令和2年8月15日（土）
中野 賢治	都留文科大学（博物館資料論）	令和2年9月28日（月）～令和3年3月31日（水）
海老沼真治	身延山大学（博物館情報メディア論、博物館経営論）	令和2年10月1日（木）～令和3年3月31日（水）
小畑 茂雄	山梨大学（博物館展示論）	令和2年10月1日（木）～令和3年3月31日（水）
丸尾 依子	成城大学（博物館実習〈民俗〉）	令和2年4月1日（水）～令和3年3月31日（水）
近藤 暁子	中央大学（博物館実習、日本美術史）	令和2年4月1日（水）～令和3年9月20日（月・祝）

（3）博物館同士のネットワーク

①ミュージアム甲斐・ネットワーク

i ミュージアム甲斐・ネットワーク会議

■博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

【合同プレゼンテーション】

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

【ミニブック配布】

配布及びホームページでのダウンロード期間：令和2年7月23日（木・祝）～8月31日（月）

参加館数：46館

■総会・講習会

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止

■新型コロナウイルス感染症についてのアンケート

調査期間：令和3年2月12日（金）～3月7日（日）

調査対象：ミュージアム甲斐・ネットワーク参加館

回答館数：48館

②縄文王国山梨

■やまなし縄文まつりJomon FES online ～じょもんスローライフすごろく～ YouTube Live Streaming

日 時：令和3年3月7日（日）17時30分～19時30分

視聴者数：533名

内 容：YouTubeの縄文王国山梨チャンネルにて、すごろくを用いて縄文ライフについて生配信を実施した。

（４）広報

年３回の「かいじあむ通信 Kai（交い）」の発行や、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、県政たより「ふれあい」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送、SNS等の各種媒体を用いて広報に努めた。

■かいじあむ通信 Kai（交い）一覧

誌名	発行年月日
かいじあむ通信 Kai（交い）夏休み特別号	令和２年６月23日
かいじあむ通信 Kai（交い）第52号	令和２年９月11日
かいじあむ通信 Kai（交い）第53号	令和３年２月12日

第6章 施設の整備・管理

(1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めることを目的に、職員を対象に訓練を実施している。

・防災訓練

回 数	開 催 日	内 容
第1回	令和2年9月18日（金）	・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練 ・避難経路・消防設備等の確認

(2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から生涯学習室は9月末、交流室は6月末まで貸出を休止した。

年 月	生涯学習室		交 流 室	
	利用人数 人	利用金額 円	利用人数 人	利用金額 円
令和2年4月	0	0	0	0
5月	0	0	0	0
6月	0	0	0	480
7月	0	0	13	1,320
8月	0	0	12	2,280
9月	0	7,200	18	480
10月	108	2,970	0	840
11月	19	4,050	15	480
12月	32	2,640	0	0
令和3年1月	16	2,640	0	0
2月	16	10,360	0	480
3月	37	4,140	6	480
計	228	34,000	64	6,840

※利用人数は「利用月」、利用金額は「収入手続を行った月」で集計している。

第7章 情報の発信と公開

（1）資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示をとおして利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集・整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

■利用時間

午前9時から午後5時まで

（書庫内資料の請求、複写申込は午後4時30分まで）

（即日閲覧資料の請求は、午後3時まで）

入室は無料

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、9月30日（水）まで閉室し、10月1日（木）より予約制を導入し開室した。

■資料検索

資料閲覧室内の利用者端末（2台）により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。

ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

■資料閲覧

- ・図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類、主な歴史分野の図書、逐次刊行物、『山梨県史』や県内市町村史誌類など郷土研究に関する資料等、約3,000冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・収蔵資料のうち、県立図書館から移管した古文書・古記録等の一部は即日閲覧可能である。
- ・「甲州文庫」の画像データや古文書のマイクロフィルムは資料閲覧室内の端末で即日閲覧できる。
- ・即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧できる。

■資料撮影

原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

■レファレンスサービス

質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。

専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査・研究の成果に基づき回答している。

■コピーサービス（有料）

著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、「甲州文庫」等のデジタル化・マイクロ化資料の複写サービスを行っている。

■展示関連図書紹介

当館で開催する企画展・シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連図書の紹介コーナーを設けている。

■キッズライブラリー

山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史関係や自然観察の図書、幼児のための絵本などを揃えている。※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、利用中止とした。

■ビデオライブラリー

山梨発見エリア内のビデオブース（3台）では、歴史・文化財に関するビデオ・DVDなどを視聴することができる。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用中止とした。

令和2年度資料閲覧室利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
入	室 者	0人	0人	0人	0人	0人	0人	9人	20人	11人	3人	12人	12人	67人
ビ	デ オ 利 用	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件	0件
レファレンス	レファレンス	1件	1件	1件	7件	2件	2件	6件	4件	1件	3件	5件	1件	34件
	利 用 相 談	0件	0件	0件	0件	0件	0件	4件	6件	1件	0件	2件	1件	14件
	小 計	1件	1件	1件	7件	2件	2件	10件	10件	2件	3件	7件	2件	48件
複 写	件 数	3件	0件	0件	2件	1件	0件	8件	13件	4件	3件	10件	10件	54件
	電 子 式	5枚	0枚	0枚	0枚	11枚	0枚	157枚	96枚	4枚	15枚	52枚	48枚	388枚
	マイクロ、デジタル	447枚	0枚	0枚	69枚	0枚	0枚	767枚	179枚	301枚	2枚	123枚	792枚	2,680枚
	小 計	452枚	0枚	0枚	69枚	11枚	0枚	924枚	275枚	305枚	17枚	175枚	840枚	3,068枚
キッズライブラリー利用		0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から令和2年2月28日(金)より9月30日(水)まで閉室したため、その間は郵送等に対応した数値。

(2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。平成29年度にシステムの入替を行い、平成30年3月1日に本稼働させた。このシステムは、以下の3つのシステムから構成される。

■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料・図書資料等に関する各種情報を一元的に管理、検索、閲覧するためのシステムである。資料の目録情報、受入情報、付随する画像情報、レファレンス情報、地域情報、また閲覧・撮影・展示業務の情報管理も行っている。

■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、利用者の必要に応じて加工し、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報の検索端末の設置、地域インデックスにおける地域情報端末での各種県内情報の発信をしている。館外では、博物館ホームページにおける収蔵資料・図書情報・レファレンス情報などの提供を行っている。

■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内各システムをネットワークで相互に接続し、情報の連携を図っている。

(3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日より、ホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等各種情報を公開し、随時更新している。

■ホームページの主な更新履歴

令和2年5月18日 累計アクセス数130万件を突破。

■「収蔵資料案内」ページの更新

収蔵資料・図書・レファレンスの検索を行うことができるページを、随時更新している。

■検索可能件数（令和3年3月31日現在）

- ・歴史資料等 85,193件
- ・図書類 51,741件
- ・レファレンス事例 509件

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

公式ツイッター：kaiseum_ypm



■アクセス件数（アクセスカウンタによる数値）

年 月	件数/月	1日平均	昨年度件数
令和2年4月	8,108	260	9,121
5月	15,148	461	8,712
6月	9,440	328	8,118
7月	10,116	321	13,774
8月	9,308	301	18,217
9月	8,742	302	8,208
10月	8,970	295	7,856
11月	8,200	279	7,751
12月	4,891	190	3,878
令和3年1月	7,102	202	7,748
2月	7,721	277	8,791
3月	12,972	428	8,729
合 計	110,718	304	110,903

ツイッターフォロワー数 (令和3年3月末日現在)	3,727
-----------------------------	-------

第8章 県民参画

(1) NPOとの連携

令和2年度、県立博物館では前年度に引き続き、NPO法人との協働による県民参画事業として、「かいじあむ検定」及び「通信簿ツアー」を実施した。

「かいじあむ検定」は、企画展・シンボル展の開催に合わせて実施し、第1部を展示資料や展覧会テーマゆかりの地を歩くツアー、第2部をギャラリートークとして、展示のテーマを題材に地域と博物館を結びつけることを目指した事業が定着している。令和2年度は、秋の開館15周年記念特別展「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの ～新指定文化財・収蔵品展～」及び冬のシンボル展「強請祈願とやまなしの雨乞い」展について、地域を訪ねるツアーと展示室や生涯学習室でのギャラリートークを実施した。

また、開催中の企画展や常設展の魅力を広く紹介し、博物館に足を運んでいただくきっかけづくりとするため、山梨県立図書館の会場を使用して、展示内容をパネルで紹介するミニ展示を実施した。

なお、「通信簿ツアー」の詳細は第Ⅰ編第2章を参照されたい。

①かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
令和2年10月28日(水) ～11月11日(水)	常設展ジオラマ紹介「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの ～新指定文化財・収蔵品展～」紹介ミニ展示	山梨県立図書館	257人
令和2年11月28日(土)	「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの ～新指定文化財・収蔵品展～」ゆかりの地ツアー	県立博物館 中央市豊富地区	15人
令和3年1月20日(水) ～2月3日(水)	常設展ジオラマ紹介「強請祈願とやまなしの雨乞い」展紹介ミニ展示	山梨県立図書館	134人
令和3年2月6日(土)	「強請祈願とやまなしの雨乞い」展ゆかりの地ツアー	県立博物館 甲府市小瀬町	15人

参加者数合計 421人

②通信簿ツアー

実施日	事業名	開催場所	参加者数(人)
令和2年10月25日(日) ～11月14日(土)	通信簿ツアー	県立博物館	278人

参加者数合計 278人

※委託先のNPOについては、令和2年7月27日(月)に県民参画(NPO委託)事業審査会を開催し、その結果、両事業ともNPO法人「つなぐ」に委託することとなった。



令和2年11月28日(土)実施の「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの ～新指定文化財・収蔵品展～」ゆかりの地ツアーの様子。平成29年に県の有形文化財に指定された「木造聖観音及び諸尊像」を有する中央市大福寺境内や大福寺のある浅利郷に拠点を置いた浅利与一義成公の墓などを見学した。



令和3年1月20日(水)から2月3日(水)まで実施したミニ展示の様子。県立博物館の常設展示のうち展示コーナー「城下町の賑わい」を彩る江戸時代の人々を象ったジオラマ上のフィギュア人形たちを、県立図書館に出張して紹介した。

(2) 博物館協力会（ボランティア）との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館会の協力員によるものである。会員数は若干の変動はあるが50名ほどであり、館の主催する様々な活動を支援してきた。

県立博物館協力会の主たる活動は次の通りである。

- ・ミュージアムショップの運営
- ・館が行うイベントなどの補助や畠など野外施設の管理
- ・広報物発送の補助
- ・来館者への展示ガイド
- ・館蔵の資料の整理（今年度不実施）

■令和2年度の協力会の主な活動

- 令和2年6月14日(日) 第1回 運営委員会
協力会総会（令和元年度事業・決算の報告、令和2年度事業・予算の決定）
新型コロナウイルス感染拡大対策のため書面にて実施
- 9月13日(日) 第2回 運営委員会
- 11月8日(日) 研修（釈迦堂遺跡博物館など）
- 12月5日(土) 歴史ウォーキング（国衙付近→金川の森→博物館周辺）
- 令和3年1月24日(日) 第3回 運営委員会
協力会研修「ボランティア活動について」
講師 植原 彰（山梨県立博物館 元教育主事）



釈迦堂遺跡博物館への研修旅行「釈迦堂遺跡博物館」にて（令和2年11月8日(日)）



国衙付近を巡る歴史ウォーキング（令和2年12月5日(土)）

第9章 組織・人員

（１）職員の資質向上

展示交流員研修一覧

日 時	内 容
令和2年9月18日（金）	自衛防災訓練に関する研修・ガイド研修

（２）第三者委員会

①山梨県立博物館運営委員会

i 委員名簿（50音順、敬称略）

氏 名	勤務先・役職等
小澤 龍一	（財）やまなし文化学習協会山梨県生涯学習推進センター元所長 みんなでつくる博物館協議会委員長
清雲 俊元	山梨郷土研究会理事長
笹本 正治	長野県立歴史館館長
佐藤 浩美	元県立高等学校教諭
末木 健	山梨県考古学協会会長
中山 誠二	南アルプス市ふるさと文化伝承館館長 帝京大学客員教授

ii 運営委員会の検討状況

■第46回運営委員会

日 時：令和2年7月31日（月）

検討内容：令和3年度の展覧会開催計画について

令和3年度の研究計画について

■第47回運営委員会

日 時：令和2年11月27日（金）

検討内容：令和3年度の企画展・シンボル展および令和4年度の企画展計画について

②山梨県立博物館資料・情報委員会

第Ⅱ編第3章で詳述。

③みんなでつくる博物館協議会

i みんなつくる委員名簿（五十音順、敬称略）

氏 名	勤務先・役職等
浅川 初美	元山梨放送アナウンサー
足達 郁也	山梨県農業協同中央会専務理事
小澤 龍一	（財）やまなし文化学習協会山梨県生涯学習推進センター元所長
末木 健	中央市豊富郷土資料館館長
丹沢 良二	（株）タンザワ会長
辻 茂	甲府市立甲府南中学校元校長
出澤 忠利	（株）印傳屋上原勇七総務部長
戸田 達昭	シナプテック（株）代表
長澤 宏昌	石和温泉活性化研究会副理事長
畑 大介	山梨郷土研究会事務局長
初鹿 紀子	身延町立下山小学校元教頭
八田 知子	ホテル八田代表
古屋 久昭	山梨県詩人の会会長、やまなし県民文化祭文学部門専門委員
渡辺 昭夫	前富士河口湖旅館組合組合長・現相談役

ii みんなつくる検討状況

■令和2年度第1回みんなつくる協議会 第1回全体会議

日 時：令和2年10月2日（金）

検討内容：第Ⅳ期評価制度における利用者評価の変更について

■令和2年度第2回みんなつくる協議会 第2回全体会議（書面）

日 時：令和3年3月

検討内容：第Ⅳ期評価制度における利用者評価の変更について

- ・「通信簿ツアー」の設問案について
- ・意見聴取会の開催方法について

第10章 外部支援と連携

(1) 外部支援

■外部資金で得た調査・研究

第Ⅱ編第2章(1)で詳述

■委員等の受託

担当職員	役 職	主 管	委嘱期間
森原 明廣 近藤 暁子 丸尾 依子 海老沼真治 中野 賢治 松田美沙子	山梨県富士山総合学術調査研究委員会調査員	山梨県富士山世界遺産センター	令和2年4月1日～令和4年3月31日
近藤 暁子	甲州市文化財審議会委員	甲州市教育委員会	令和2年4月1日～令和3年3月31日
近藤 暁子	韮崎市文化財審議会委員	韮崎市教育委員会	令和2年4月1日～令和4年3月31日
近藤 暁子	富士河口湖町史編纂委員会委員	富士河口湖町教育委員会	令和2年11月27日～令和4年3月31日
丸尾 依子	甲府市文化財審議員	甲府市教育委員会	令和2年4月1日～令和5年3月31日
丸尾 依子	南アルプス市文化財審議員	南アルプス市教育委員会	令和2年4月1日～令和5年3月31日
丸尾 依子	天津司舞保存修理検討委員会委員	甲府市教育委員会	令和1年4月1日～令和3年3月31日
小畑 茂雄	南アルプス市ふるさと人物室 第9回展示運営アドバイザー	南アルプス市教育委員会 南アルプス市立図書館	令和2年11月5日～令和3年9月12日
中野 賢治	富士山世界遺産センター展示解説検討委員会委員	山梨県富士山世界遺産センター	令和2年6月1日～令和4年3月31日
中野 賢治	富士川町歴史文化施設資料館検討委員会委員	富士川町教育委員会	令和3年3月29日～令和4年3月31日

(2) 外部との連携

平成24年度に有形無形の文化財資源の保存と活用に努めるという共通の目的を持ち、博物館の相互の交流と連携を図ることを実践の貫徹を目指すため、「全国歴史民俗系博物館協議会」が設立された。

今年度は、8月18日(火)～31日(月)に令和2年度総会が書面にて開催された。

(3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの展示協力

平成27年度に開館した山梨近代人物館及び平成28年度に開館した富士山世界遺産センターの展示等に当たっては、資料貸出や当館学芸員による展示作業、講座等で全面的に協力している。

■山梨近代人物館での展示事業

・第11回展示「地域をひらいた先駆者たち」

令和2年4月1日(水)から9月27日(日)まで開催予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年2月28日(金)から5月22日(金)まで臨時休館。5月23日(土)から9月27日(日)までは土曜・日曜・祝日のみ展示公開。

・第12回展示「郷土山梨の文化の発展に貢献した人々」県立博物館開館15周年一

令和2年10月3日(土)から令和3年3月28日(日)まで開催予定のところ(10月1日(木)、2日(金)は平日の臨時休館措置)、10月11日(日)まで土曜・日曜のみ展示公開。10月12日(月)から通常開館。



山梨近代人物館第11回展示において、コロナ禍による選抜高校野球の中止を受けて、戦後に再開された高校野球の際にポール・ラッシュ博士から球児に寄贈された硬式球(ポール・ラッシュ記念館蔵)を展示した。

第11章 新型コロナウイルス感染症と博物館活動

令和2年（2020）の新型コロナウイルスのパンデミックは、博物館活動に大きな影響を与えており、その流行拡大状況の終息や、コロナ禍における博物館活動に関する方法論の確立については、いまだ解決の糸口がみえていない状況である。

全国への緊急事態宣言が発出された第1波（令和元年度末から同2年度初頭）において顕著となったのは、博物館経営上の問題である。当館においては、令和2年2月28日（金）から5月21日（木）までの約3ヶ月の実質的休館（最初の緊急事態宣言の発出までは展示・閲覧業務等の休止扱い）を余儀なくされた。この時期に開催予定、あるいは開催準備期間となっていた3つの展覧会は中止となり、博物館事業の根幹となる展覧会事業を実施できない、見通しが立てられない事態となったのである。

経営面としては、展覧会事業の中止や延期による歳入の大幅減少のほか、消毒用アルコール類やサーモグラフィなどの消耗品や関連設備費、換気の強化のための空調のランニングコストの増大など、運営費の圧迫も顕著となった。

同年初夏以降は、夏頃に第2波を迎えたものの、感染拡大防止対策をしたうえで集客施設もオープンさせていく社会的状況のなかで、当館も展示室の公開や企画展の実施に踏み切った。しかし、感染リスクのあるなかでの展示公開は、接触感染のリスク回避対策を必要とし、特に「交流」や「体験」を重視した当館の展示において、従来の展示のあり方を否定ないし限定せざるを得ない状況を明確にしたといえる。接触感染対策として、タッチパネル端末、引き出し型展示ケースを使用中止にしたほか、体験型展示は全体を閉鎖する措置を採り、再開の目途は立っていない。こうしてコロナ禍における展示活動の再開は、従来の展示手法や望ましい展示利用のあり方を否定することで可能となっており、いわば今後の博物館展示のあり方について再考を迫るものとなっている。

展示のほか、コロナ禍は普及活動全般に大きな影響を与えており、第1波の頃はすべての事業を中止したほか、子ども・夏・秋・正月の「祭り」及び夏休み自由研究プロジェクトの合同プレゼンは開催せず、その他イベントは参加人数を限定したり、古文書講座は「おうちで」できる自習用教材を公開する対応を採った。利用者の多くに高齢者が含まれることや、他県からの利用者も見込まれる集客施設であることなど、普及事業の再開は一律に進めることができない事情も多いが、十二分の安全対策と、規模と集客管理の適正化、リモートの活用など、利用状況と相談しながらの、コロナ禍における普及活動、ひいては学習機会の確保が求められる。

調査・研究活動においては、第1波の長期休館時には資料整理が進展する副産物がもたらされたが、コロナ禍による移動や面会の不自由が大きな制約となっている。リモートの活用促進も重要な一方で、博物館資料を取り扱う関係上、「実見」が不可欠な業態でもあることから、移動や調査時における感染防止対策の徹底管理のほか、調査上のガイドラインや新たな方法論を模索する必要があると思われる。

コロナ禍はまだ終息の見通しはつかないが、コロナ関係資料の収集など、この時期にしか出来ない博物館活動について注意するとともに、ポスト・コロナの博物館活動のあり方について模索し、当館なりの方針やスタイルを確立していかなければならない。そのためには、職員の心身の安全に十二分な配慮をしながら、コロナ禍での博物館活動を極力止めず、大きな転機にあることの問題意識を持ちつつ、着実に取り組んでいくことが必要であろうと思われる。

（１）感染症対策日誌

令和元年度から令和２年度にかけての、新型コロナウイルス感染拡大防止に係る主な動きについて時系列で掲載する。

令和２年２月21日（金）

当面の間、常設展スルーガイド、かいじあむ寺子屋ひろばなどのイベントを中止することを公表。

令和２年２月27日（木）

常設展等の観覧、資料閲覧などの業務を令和２年２月28日（金）から３月20日（金）まで休止することを公表。

開館15周年記念特別展「北斎漫画 ー驚異の眼・驚異の筆ー」の一般公開を延期することを公表（４月８日（水）に中止を公表）。

令和２年３月６日（金）

山梨県内１例目の新型コロナウイルス感染者の報告。

令和２年３月19日（木）

常設展等の観覧、資料閲覧等の業務を当面の間、休止することを公表。

令和２年４月７日（火）

東京都など７都道府県に緊急事態宣言が発出。

令和２年４月８日（水）

貸室業務も含む全ての業務を休止し、５月末日まで臨時休館することを公表。

令和２年４月16日（木）

山梨県を含む全都道府県に緊急事態宣言が発出（～５月14日（木）まで）。

令和２年５月15日（金）

常設展示室の一般公開を５月22日（金）から再開することを公表。

令和２年５月19日（火）

シンボル展「生誕200年 若尾逸平」の開催中止を公表（後に、令和３年度に延期することが決定）。

令和２年５月22日（金）

常設展示室の一般公開を一部再開。

令和２年６月10日（水）

開館15周年記念特別展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」の中止を公表（後に、令和３年度に延期することが決定）。

令和２年６月17日（水）

常設展拡大展示「かいじあむ+（ぷらす）」の一般公開を開始。

令和２年７月１日（水）

貸室業務の一部を再開。

令和２年10月１日（木）

資料閲覧業務の一部を再開。

（２）施設の整備と来館者対応

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和２年２月28日（金）から休止していた常設展の展示公開は、令和２年５月22日（金）から一部を再開した。ここでは、再開時に行った感染症対策について紹介する。

まず、来館者の健康チェックを確実に実施するため、出入口をサブエントランスに限定した。当館の場合、メインエントランスまで距離があり、車椅子利用者の利便性も考慮してこのような措置をとった。

併せて、来館者に対して非接触型の検温機による検温を実施した。当初はガンタイプを準備し職員により実施していたが、10月以降、サーモグラフィーを導入し職員の負担軽減を図った。

加えて、来館者に対してはホームページ上や出入口付近で感染症対策への協力を呼びかけるとともに、体調確認のためチェックシート記入への協力を求めることとした。チェックシートの情報は、当館で新型コロナウイルス感染症発症の疑いが生じた場合に、保健所など医療機関への情報提供や、濃厚接触者と疑われる者への連絡に使用する。

さらに、チケット販売受付や改札など頻繁に対面対応が発生する場所には、飛沫防止用のアクリル板を設置した。受付や改札付近の足下へのライン表示、ロビーや展示室内の椅子やソファの撤去など密集・密接を回避するための措置を実施した。

その他、館内各所にアルコール消毒液を設置し、トイレにハンドソープを増設して接触感染の防止に努めるとともに、館内各所に注意喚起の掲示を行っている。展示室においては密集を回避するため、展示室面積や空調設備の毎時総換気量を参考に、展示室ごとに定員を設けている。



アクリル板等が設置された総合案内



サブエントランスでの検温の様子

こうした対策を行いながらも、令和２年度は一部シンボル展が延期、企画展が中止されたこともあり、総観覧者数は約３万３千人と令和元年度の約10万２千人に対して６万９千人の減少、率にして約32%に留まった。秋頃には、「GO TOキャンペーン」の効果もあり、前年度を上回る月もあったが、その後は、首都圏を中心とした再度の緊急事態宣言発出の影響もあり、総観覧者数は伸び悩んだ。常設展示の観覧者については前年度の約40%、特別展については約20%程度であった。しかし令和３年３月は、企画展「生誕500年 武田信玄の生涯」が極めて好調であったことから、観覧者数は平成31年同月比で175%となっており、今後、感染症の状況が観覧者数にどう影響するかが注視される。

（３）情報発信と収蔵資料の活用・資料収集

①ヨゲンノトリの情報発信と関連資料の収集について

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるいだした令和２年２月下旬から３月頃、インターネットでは感染症の終息を祈るため、京都大学附属図書館所蔵の『肥後国海中の怪』に描かれた「アマビエ」への注目が高まっていた。「疫病が流行れば私の姿を写して人々に見せよ」と言ったという「アマビエ」

は話題を呼び、社会現象とも言えるほどの盛り上がりを見せた。「アマビエ」の流行を受けて、令和2年4月3日（金）に当館Twitterで同様の疫病除けの霊獣として「ヨゲンノトリ」を紹介した。ヨゲンノトリの画像を添えて、「【ヨゲンノトリ】当館蔵の「暴瀉病流行日記（ぼうしゃびょうりゅうこうにつき）」には、安政4年（1857）12月、加賀国白山にあらわれた「ヨゲンノトリ」が描かれています。頭が2つの不思議な鳥が、翌年に流行するコレラを予言し、「私の姿を朝夕に拝めば難を逃れることができるぞ」と言ったとされています。#アマビエ #ヨゲンノトリ」という内容を投稿した。ツイート直後からリツイートやいいねの評価が相次ぎ、リツイート9,361件、いいね評価131,211件、インプレッション数（ユーザーがこのツイートを見た回数）は1,394,133回を記録した（令和3年2月時点）。その後、4月10日（金）付けの山梨日日新聞を皮切りに、新聞掲載や地元テレビ局の取材が相次ぎ、4月23日（木）には全国ネットのワイドショーにも取り上げられた。Twitterでの反響を受けて、4月10日（金）に当館ホームページに「疫病退散！ヨゲンノトリコーナー」と題したヨゲンノトリを紹介するページを作成し公開した。ヨゲンノトリの紹介のほか、ヨゲンノトリが描かれた資料「暴瀉病流行日記」の紹介や、他の伝染病に関わる資料を紹介した。ヨゲンノトリへの関心が高まるにつれ、ヨゲンノトリの画像の利用申請の問い合わせが増えた。4月27日（月）には、県内の事業者を対象に、画像の使用料を免除とした。令和2年度の画像の申請件数は168件であった。

また、ツイート後、Twitterやネット上でたくさんの方々がヨゲンノトリのイラストやグッズを投稿している様子が見られた。一部の方に、グッズやイラストを送付いただいたことをきっかけに、5月22日（金）からヨゲンノトリのグッズとイラストの募集を始めた。応募いただいたものと当館で収集したものをあわせて、グッズ約150件、イラスト約30件を収集している（令和3年2月時点）。また、収集したグッズやイラストの一部をロビーで展示した。



博物館に届けられたヨゲンノトリグッズ



グッズ展示の様子

新型コロナウイルス感染症に関する執筆

氏 名	名 称	掲 載 誌 名	学会（発行者）	発行年月日
森原 明廣	江戸時代の古文書に再注目：コロナの時代とヨゲンノトリ	『博物館研究』第630号	日本博物館協会	令和2年10月25日
森原 明廣	新型コロナウイルスに負けない博物館を目指したー2020年を将来に活かすためにー	『ミュゼ』Vol.126	(株)アム・プロモーション	令和2年12月25日
松田美沙子	新型コロナウイルスと美術館・博物館	『浮世絵芸術』第181号	国際浮世絵学会	令和3年1月20日
小畑 茂雄	災害・パンデミックに関する資料収集に向けてー新型コロナウイルス感染拡大と緊急事態に際してー	『山梨県立博物館研究紀要』第15集	山梨県立博物館	令和3年3月31日
中野 賢治	甲斐国における安政のコレラ流行と「ヨゲンノトリ」	『山梨県立博物館研究紀要』第15集	山梨県立博物館	令和3年3月31日

②新型コロナウイルス関係資料の収集について

新型コロナウイルス関係資料の収集は令和2年2月から始めた。新聞をはじめとした広報物や、行政などによる教育・啓発資料（県からのお知らせなど）、学校教育機関の通知類、マスクなどの関連器具、対策事業や施策に関する商品・紙資料・メディア類などを中心に収集を行った。新聞の取材をきっかけに一般の方から資料が送付されてくることもあった。収集された資料は約200点となった。収集資料の一部を、6月17日（水）から9月7日（月）までの間、常設展拡大展示「かいじあむ+（ぷらす）」で展示した。



収集した新型コロナウイルス感染症関係資料

（４）展示・公開

①展示・公開

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、常設展示の観覧は前年度令和2年2月28日（金）より3月20日（金）まで休止、また、3月14日（土）より一般公開を予定していた開館15周年記念特別展「北斎漫画 一驚異の眼・驚異の筆」も開催を3月21日（土）以降に延期することとした。その後、3月19日（木）に常設展観覧ならびに特別展「北斎漫画」の公開が再度延期されることとなり、4月8日（水）には5月末日までの臨時休館が決定するとともに、特別展「北斎漫画」の一般公開中止が決定した。なお、特別展「北斎漫画」の延期・中止を受けて、ホームページ上で展示を体感できる「おうちで『北斎漫画』」や、YouTubeで動画を公開した。

その後、5月22日（金）からは鑑賞学習型展示の接触型展示部分や体験型展示の一部は閉鎖した上で、常設展示の一部について感染予防対策を講じた上で再開したが、シンボル展「生誕200年 若尾逸平」（5月23日（土）～6月29日（月）予定）、開館15周年記念特別展「特撮のDNA ～ゴジラ、富士山にあらわる～」(7月11日（土）～9月7日（月）予定)については、多くの来館者が訪れる可能性に配慮して中止とし、令和3年度に開催を延期することになった。

なお、常設展示が一部しか公開されないことに対応して、6月17日（水）から9月7日（月）までの間、館蔵品を中心とした常設展拡大展示「かいじあむ+（ぷらす）」を企画展示室の一部を使用して実施した。

10月24日（土）より開催の開館15周年記念特別展「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの ～新指定文化財・収蔵品展～」(～12月7日（月）)は、オープニングセレモニーならびに内覧会もあわせて予定通り実施、令和3年1月2日（土）より開催のシンボル展「強請祈願とやまなしの雨乞い」(～2月23日（火・祝）)も予定通り実施した。なお、同年3月13日より開催の開館15周年記念特別展「生誕500年 武田信玄の生涯」(～5月10日（月）)も予定通り実施されたが、オープニングセレモニーおよび内覧会は感染拡大防止のため中止となった。

②閲覧業務

前年度令和2年2月28日（金）からの常設展示の観覧休止とあわせて、資料閲覧室を閉室し、図書および資料閲覧サービスを休止した。また、キッズスペースにあった子ども向けの開架図書も撤収した。閲覧室閉室期間中は、図書や資料のコピー、およびデジタルデータを送付するサービスを積極的に提供した。10月1日（木）より、予約制を導入し、資料閲覧サービスを一部再開した。席数を通常時の約半分に減らし、閲覧室利用時間を1時間に制限し、電話による事前予約制とした。予約の際にあらかじめレファレンスを行い、図書や資料を事前に用意しておくことで、職員と利用者の対面時間や、利用者の滞在時間を減らすように努めた。利用者には、閲覧室入室時と退室時に手の消毒をしてもらい、閲覧済の図書や資料は、3日間別置してから本棚に戻すようにした。

（５）博学連携

①かいじあむティーチャーズクラブ

例年６月と２月に研究会を実施しているが、６月の研究会については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。２月については、コロナ禍における博物館を利用した活動について、小学校２校・中学校２校・高等学校１校より実践報告をいただいた。

②学校見学

２学期より学校見学の受け入れを再開したが、人数制限や体験型展示の閉鎖に対応する形で実施した。オリエンテーションを簡略化した上で、児童・生徒を少人数のグループに分けて、展覧会を見学する班、生涯学習室で映像資料を視聴する班、庭でワークショップを行う班など、館内で分散させ学校見学を実施した。

利用数については、２学期以降は例年と同程度の利用校数であり、１２月以降は行事が延期された関係で例年よりも利用が多かった。なお、中学生は公共交通を利用して来館する生徒が例年多く見られたのに対し、今年度は大型バスを利用して来館する学校が目立った。

③出前授業

「昔の道具」の出前授業については、接触感染を防ぐため、石臼・天秤棒などの使用体験を伴う形での実施は中止とした。しかしながら、ただ道具を見せるだけでなく、少しでも児童たちに体験による学習の機会を提供するため、「灯りの歴史をたどってみよう」と題し、暗くした室内で様々な灯火の明かりを目視によって体験する内容を実施した。また、基本的に接触するものがない出前授業については、学芸員が各校に赴き、感染拡大防止対策を行った上で実施した。



「灯りの歴史をたどってみよう」実施風景

④貸出教材（ミュージアム・キット）

２学期になるまで、「授業用パワーポイントデータ」「昔の暮らし電子写真集DVD」以外のミュージアム・キットについては貸し出しを休止した。２学期以降はすべてのキットの貸し出しを再開したが、返却後、次の使用まで間を空けるなど感染拡大防止対策を行った。

⑤職場体験

インターンシップ、職場体験共に利用はなかった。

⑥「山梨の未来を描こう」

学校現場で授業時数の確保のため夏休みが短縮されることを考慮し、募集の締め切りを９月末までとして応募を実施した。

⑦学芸員実習

学芸員実習は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底するなかで実施した。

⑧その他

総合教育センターの研修については、「授業の作り方研修会」は希望者２名が欠席となったため実施をせず、初任者研修については、来館せずに教育センターで講義のみを行った。ことぶき勸学院の見学につ

いてはすべてキャンセルとなったほか、教育協議会の視察も実施されなかった。なお、子ども学芸員事業については例年とおりに実施した。

（６）県民参画（NPO・協力会）

①NPO「ゆかりの地ツアー」

開館15周年記念特別展「未来へ伝えたい 甲斐の国のたからもの ～新指定文化財・収蔵品展～」関連イベントとして、「ゆかりの地ツアー」を中央市豊富地区で実施した際は、密を避けるため定員を15人と限定し、参加者を募集した（15名の参加）。感染拡大防止対策を実施しながら関連するゆかりの地を歩いたあと、博物館の生涯学習室において学芸員による特別展の解説を行った。

シンボル展「強請祈願とやまなしの雨乞い」でも、甲府市小瀬町を歩く「ゆかりの地ツアー」を実施した。本ツアーも、定員を15人と限定して応募を実施し（15名の参加）、本ツアーもゆかりの地を歩いたあと、博物館において学芸員によるシンボル展の解説を行った。

②NPO「通信簿ツアー」

令和2年10月25日（日）～11月14日（土）の期間に、「通信簿ツアー」を実施した。例年のように、年2日実施するのではなく、秋期特別展期間中に実施期間を長く設けた上での実施とした。なお、接触感染のリスクを少なくするため、こちらから通信簿等を手渡しするのではなく、参加者自らに取ってもらう形とした。また、使用した鉛筆も、使用后参加者各自でお持ち帰りいただいた。

③協力会

協力会の活動は、新型コロナウイルスが蔓延するなかで、従来通りの活動を十分に行うことができなかった。まず総会について、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面実施とした。運営委員会は生涯学習室に会場を移して十分なスペースを確保したうえで、例年通り3回実施した。日常の活動に関しては、ミュージアムショップの運営、畠での作業、刊行物の発送準備および発送作業については、十分に対策を取ったうえで通常通り実施したが、資料整理および子ども工房の作業補助については、感染拡大防止の観点から今年度の実施は見合わせた。学習会については、浮世絵版画の摺りに関する学習会およびお茶の学習会を、感染対策を行ったうえで実施したほか、展示替え説明会にもご参加いただいた。ボランティアについての研修会も、十分な感染拡大防止対策を取ったうえで生涯学習室にて実施した。研修旅行については、バスでの移動は感染リスクがあることから現地集合とし、釈迦堂遺跡博物館周辺の散策を行ったほか、歴史ウォークについては定員を設けた上で感染拡大防止対策を行いながら実施した。

協力員の皆様からは、博物館における協力会の活動に参加したい気持ちがあるが、感染のリスクを考えると躊躇してしまうというお声を多く頂戴した。

（７）イベント

①講演会・講座・シンポジウム

令和2年度の「古文書講座」「館長トーク」「古文書相談日」については、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となったが、「古文書講座」については「おうちで古文書講座」と題し、資料を当館ホームページからダウンロードして自習できるようにした。

展覧会の各イベントは、定員を設け、感染拡大防止対策を取りながら開催した。開館15周年記念特別展「未来へ伝えたい 甲斐国のたからもの ～新指定文化財・収蔵品展～」については、歴代館長によるトークショーを定員50名、記念講演会を30名として、事前に往復ハガキで申し込みを受け付け、抽選にて参加者を決定して実施した。ギャラリートークは先着定員30名として、生涯学習室のスクリーンに展示資

料画像を投影する形で実施した。開館15周年記念特別展「生誕500年 武田信玄の生涯」においても、記念講演会の定員を40名とし、同様に往復ハガキで事前に申し込みを受け、抽選にて参加者を決定して実施した。かいじあむ講座、ギャラリートークについては当日整理券を配布したうえで定員30名とし、どちらも生涯学習室にて実施した。シンボル展「強請祈願とやまなしの雨乞い」については、ギャラリートークを先着10名定員とし、ソーシャルディスタンスを確保するなかで、展示室内で実施した。

②体験プログラム

お庭ガイドは、臨時休館中は中止していたが、6月より先着定員10名で再開した。寺子屋ひろばは、展示交流員がお客様に接触せずに実施できる内容としたうえで、会場を常設展示室内の寺子屋ひろばからエントランスロビーに移し、8月より先着定員6名で再開した。子ども工房は、事前電話予約制を取り、日に数回に分けての実施とし、回ごとに定員を設けて同じく8月より再開した。会場は定員と体験内容により、生涯学習室、ウッドデッキ、エントランスロビー、体験学習室と各所での実施とした。職員とお客様が直接接触しないよう配慮した他、使用した道具類は、各回終了時にアルコール消毒を行った。



机の距離を取った上で実施した子ども工房

子どもの日（5月）・夏（8月）・秋（11月）・正月（1月）の「祭り」の実施は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から見合わせたが、正月は同様に来館者サービスとして羽子板キットや農産物を配布し、感染防止の対策を取ったうえでおみくじなども実施した。

③その他

展示交流員によるスルーガイドは先着定員10名とし、8月より再開した。交流員はマスクを着用のうえ、十分に来館者と距離を取り感染拡大防止対策を行ったうえでの実施とした。



マスク、フェイスシールド等を着用の上実施したスルーガイド

（8）その他

①ミュージアム甲斐・ネットワーク

ミュージアム甲斐・ネットワークで例年実施している「博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト」であるが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、例年アイメッセ山梨で実施していた合同プレゼンテーションは中止とした。なお、ミニブックの作成は行い、自宅にいてもミニブックが入手できるよう、当館ホームページから作成館全館分のミニブックデータをダウンロードできるようにした（ダウンロード期間：令和2年7月23日（木・祝）～8月31日（月））。

年2回行っていた総会は、感染拡大防止の観点から中止とした。その代わり、「新型コロナウイルス感染症についてのアンケート」（調査期間：令和3年2月12日（金）～3月7日（日））を実施し、ミュージアム甲斐・ネットワーク参加館112館中、48館より回答を得た。アンケート結果は事務局で内容を取りまとめのうえ、ミュージアム甲斐・ネットワーク参加館に配布した。

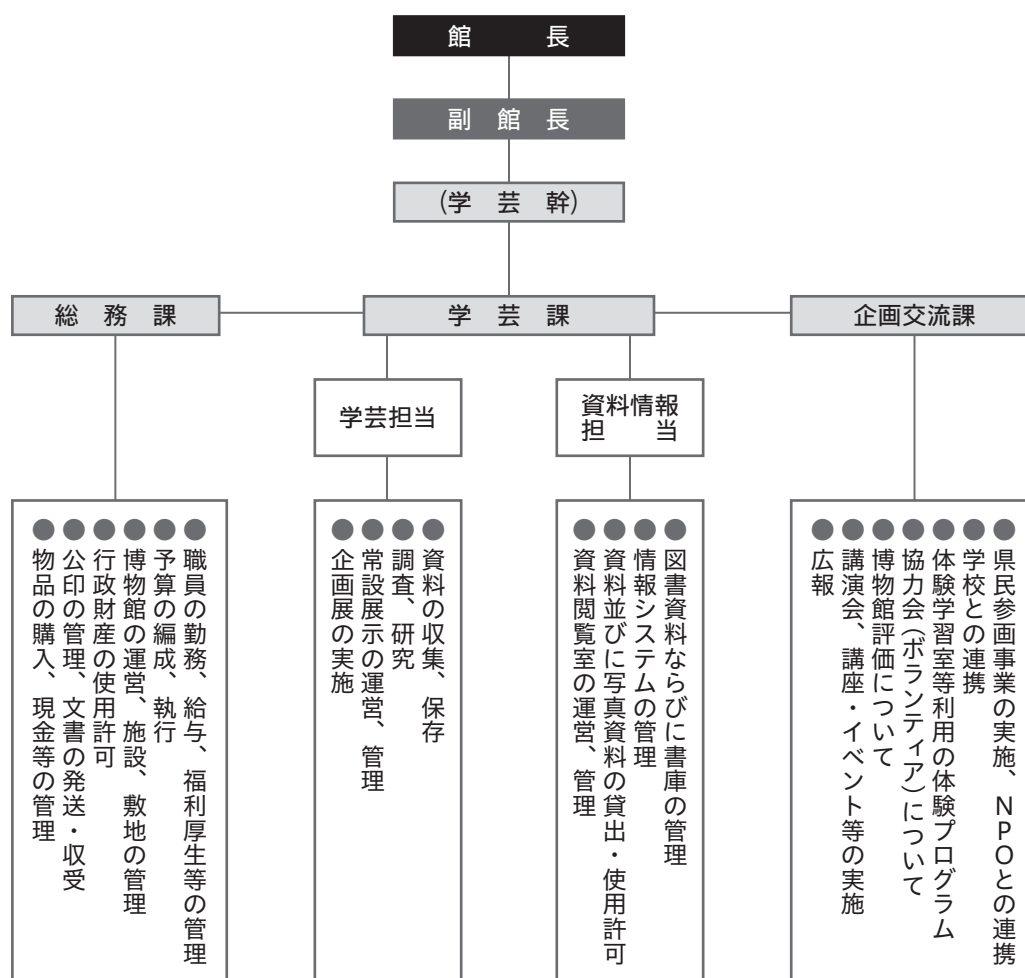
②縄文王国山梨

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「やまなし縄文まつり Jomon FES online ～じょーもんスローライフすごろく～」と題し、縄文王国山梨チャンネルで、Jomon FESを生配信した（令和3年3月7日（日）17時30分から19時30分）。視聴者数は533人であった。

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿

■組織図



■関係委員会

・運営委員会

- 博物館運営全般の専門的指導
- 企画展テーマ等に関する協議
- 共同調査、研究テーマ等に関する協議

・資料・情報委員会

- 資料収集の適否の審議
- 資料・情報の収集方針の検討
- 資料・情報の活用計画検討

・みんなでつくる博物館協議会

- 利用者の立場からの博物館運営の検討
- 博物館評価制度の検討

■関係委員及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章 (2) 参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章 (1) 参照

●みんなでつくる博物館協議会委員

第Ⅱ編第9章 (2) 参照

●博物館職員（R3.3.31現在）

[illegible]

2 令和2年度予算額

単位：千円

事業名	予算額	事業内容
博物館事業費	64,619千円	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	13,561千円	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	216,154千円	施設管理、常設展示機器管理、会計年度任用職員等人件費
合計	294,334千円	

※職員給与費を除く

3 年間日誌

■主な出来事（新聞記事から抄）

令和2年4月9日(木)	展示会 中止・延期相次ぐ ～来月末まで 県5施設全面休館～ (令和2年4月9日付「読売新聞」)
令和2年4月10日(金)	「ヨゲンノトリ」拝んで疫病退散 ～県立博物館の投稿反響～ (令和2年4月10日付「山梨日日新聞」)
令和2年4月16日(木)	ヨゲンノトリに1万「いいね」 ～江戸コレラ予言？ 県立博物館が発信～ (令和2年4月16日付「朝日新聞」)
令和2年5月6日(水・祝)	疫病よけ「ヨゲンノトリ」話題 ～県立博物館HPで公開 幕末の絵 携帯待ち受けや商品にも～ (令和2年5月6日付「朝日新聞」)
令和2年5月6日(水・祝)	古文書の解説 おうちで学習 ～県立博物館 休館中の講座HPで～ (令和2年5月6日付「山梨日日新聞」)
令和2年5月8日(金)	家で文化・芸術に触れて！ ～北斎やミレー バーチャル展示 県立博物館や美術館など～ (令和2年5月8日付「山梨日日新聞」)
令和2年5月22日(金)	人気です！ ヨゲンノトリ関連グッズ ～「コロナ退散願い」清酒や御朱印、スタンプセットなど～ (令和2年5月22日付「山梨新報」)
令和2年5月22日(金)	県施設3ヶ月ぶり再開 ～博物館など 検温や消毒 対策徹底～ (令和2年5月23日付「山梨日日新聞」)
令和2年6月1日(月)	「ヨゲンノトリ」関連商品が拡大 ～県内外65社開発 スタンプ、マスク、ほうとう麺… ～ (令和2年6月1日付「山梨新報」)
令和2年6月11日(木)	コロナ禍の暮らし「記録」 ～県立博物館や自治体資料館 配布マスク、消毒代用品を収集～ (令和2年6月11日付「山梨日日新聞」)

- 令和2年6月18日(木) 歴史文化 新たな切り口から
～県立博物館が常設展拡大～
(令和2年6月18日付「山梨日日新聞」)
- 令和2年7月1日(水) 美術館や博物館 半額に
～きょうから 山梨、静岡の9施設～
(令和2年7月1日付「山梨日日新聞」)
- 令和2年7月17日(金) ヨゲンノトリ 経済の救世主
～関連商品売り上げ増 県、挿絵利用無料に～
(令和2年7月17日付「読売新聞」)
- 令和2年8月25日(火) コロナ関係の資料を収集 山梨県立博物館
～歴史に残すためマスクや消毒薬～
(令和2年8月25日付「朝日小学生新聞」)
- 令和2年10月23日(金) 甲斐の宝見つめ直す 新指定文化財や新収蔵品55件を公開
～県立博物館ですから 甲府彩った幕絵 ヨゲンノトリも～
(令和2年10月23日付「山梨日日新聞」)
- 令和2年10月31日(土) 県立博物館将来像探る
～歴代館長2氏がトーク～
(令和2年11月1日付「山梨日日新聞」)
- 令和2年11月1日(日) 1500人目の入館者に記念品
～県立博物館特別展～
(令和2年11月2日付「山梨日日新聞」)
- 令和2年11月15日(日) 美しい風土と歴史 山梨の宝
～笹本正治さん(長野県立歴史館長) 県立博物館で講演～
(令和2年11月16日付「山梨日日新聞」)
- 令和2年11月19日(木) ヨゲンノトリ多彩な展開
～ラベル、バッジ、オリジナルイラスト…県立博物館に展示コーナー～
(令和2年11月19日付「山梨日日新聞」)
- 令和2年12月26日(土) 雨乞いの呪術 様相を探る
～強請祈願を紹介 来月2日から県立博物館～
(令和2年12月26日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年1月4日(月) 強請祈願と雨乞い
～シンボル展で紹介 県立博物館～
(令和3年1月4日付「山梨日日新聞」)
- 令和3年2月6日(土) 水にまつわる文化財を巡る
～NPOと県立博物館～
(令和3年2月11日(木)付「山梨日日新聞」)
- 令和3年2月7日(日) 雨乞いの儀式 小学生ら体験
～笛吹の県立博物館～
(令和3年2月7日(日)付「山梨日日新聞」)
- 令和3年3月12日(金) 信玄53年の生涯たどる
～県立博物館 あすから生誕500年展 古文書や仏像150点～
(令和3年3月12日(金)付「山梨日日新聞」)

令和3年3月19日（金） 1521人目の入館者に記念品
 ～県立博物館 信玄生誕年にちなみ～
 （令和3年3月20日（土）付「山梨日日新聞」）



令和2年11月1日、「未来へ伝えたい 甲斐国のたからもの
 ～新指定文化財・収蔵品展～」の入館1500人目の観覧者となっ
 たお客様へ、守屋館長から記念品を贈呈。



令和3年3月19日、「生誕500年 武田信玄の生涯」の入館1521
 人目の観覧者となったお客様へ、三井副館長から記念品を贈呈。

令和2年度 山梨県立博物館年報

発行日 2022年1月31日
編集・発行 山梨県立博物館
〒406-0801
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055 (261) 2631
印刷 株式会社 島田プロセス

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum

